

— 令和3（2021）年度 温泉に関するアンケート調査 —

結 果 報 告 書

【自由記載編】

令和4年4月

横 手 市

目 次

1	横手地域	1
2	増田地域	5 1
3	平鹿地域	6 1
4	雄物川地域	7 9
5	大森地域	9 0
6	十文字地域	1 0 1
7	山内地域	1 1 8
8	大雄地域	1 2 6
9	地域名無回答	1 3 4

自由記載欄

自由記載欄へは、全回答者の約 35%に当たる 1,000 人の方から温泉施設への思いや市の取り組みに対するご指摘、ご提案など多くのご意見が寄せられました。

記載の内容は下記となります（順不同。原文のまま）

【注】個人や民間施設が特定され誤解を与える可能性がある表現、特定の個人や団体を誹謗中傷する恐れのある意見等については、一部または全部を公開しておりません

◇… 横 手 …◇

- ・横手市はゆっくりと集う場所が少ないので、交流親睦打合せ等に利用できる場として必要ではないでしょうか。私の周りでも温泉施設が休館になり困っている方々も少なくない。たとえば
 - 1.自宅の風呂代わりに回数券を求めて毎日利用していた。
 - 2.息子の休日に送ってもらい、一日いっぱい温泉につかり、食事を取り、友達とおしゃべりをして楽しんでいたのに（週 1～2 回）
 - 3.会社の同僚と月 1 回息抜きに温泉を利用していたのに
- ・世の中はコロナ禍で、状況はどんどん変化している。温泉施設の利用者は減少する一方だと思われる。昔のような「交流の場」としても、今は役目を持っていないように思う。設備の維持に多額が必要であり、それに見合った収益を得ることはこの先のない可能性が高い。今まで温泉施設を頻回に利用していた人の話を聞くと、「利用できず不便だが仕方ない」という声が多く、生活に直結して困る、という程の人はいないように思う。廃止または集約？でも良いのではと考える
- ・赤字額を補填してまで施設を運営しなくても良いのでは?! 温泉は健康のために利用する人は少々入浴料が高くても行きますが、赤字経営となれば清潔感が落ち、色々な所に手が届かず、マイナス面が出てきますから、行く人がなくなりますます赤字になるのでは…人口も減る一方なので黒字になる可能性はないのであれば、廃止せざるを得ないと考えます
- ・現状がよくわからない。施設はあった方がいいと思うが、無理なのであれば利用目的を変えてみる。（例）介護施設、賃貸住宅、施設を利用しやすいように運営方針を考える。維持管理が困難であれば早めに廃止撤去が望ましいと思います
- ・大広間など気軽に休憩できる場所があると利用しやすいと思います

- ・市の温泉施設が多すぎると思う。人口減少の中で維持困難になるのは明白です。温泉施設のみでなく、合併に伴う負の遺産は（地域局、図書館他）速やかに整理集中しないと将来に必要な事が出来なくなると思う。目先の施策にとらわれず、市としてのあり方を明確にして、勇気をもって断行してもらいたい。合併の意義と効果が薄れてしまっている
- ・鶴ヶ池荘は若い頃から良く行ってました。市が所有している温泉は、安いのが一番の魅力でしたが、全部無くなると寂しい限りで楽しみがありません。税金で補助しても一部は再開して欲しいと願うばかり。経費節減のため、料金は少し下げる。食べ物や他のお店を入れテナント料を取る。備品などは（シャンプーとか）持ち込みに統一など、やれることは全部して欲しい
- ・温泉は心と身体を癒やしてくれる大切な場であります。それと同時にコミュニケーションの場でもあります。全部とは言いませんが、人気投票でも行って、数ヶ所の温泉が復活してくれたらなあと思っていますが
- ・コロナ前は、仕事が休みの日にサウナに行っていました。だんだん横手で行ける場所が少なくなり残念です。行くとしたら最近が一番近い仙南の方に行ってます。横手市内で入れるところ増やして欲しいです
- ・市の財政は逼迫していることから、温泉施設のリストラは当然考えなければなりません。ただ、横手市は雪国でもあることから、温泉好きな方が多数いることも承知しています。よって横手市が保有する温泉施設は1～2が妥当と考えます。難しければ全廃止もやむなし。個人的には共林荘（南郷温泉）を気に入っております。民間温泉施設への補助を充実していけばよいのではないかと
- ・せっかく良い施設であり、民間人の含めて連携で運営すれば良い方向が見えてくると思う。是非廃止にしないで頑張ってもらいたい!!
- ・地域の温泉は市民の楽しみであり、もっとも税金の使い方としては一番大切な行政の支出だと思います。市の広報の発信や郷土愛を育む最適な場所だと思います。温泉は横手の宝です。ただし、いろいろな企画運営が必要です。町づくりのモデルケースになれると思います
- ・収益を検討し、民営化するか廃止する。民間であれば収支を検討し廃止する。取り組みがあまりないのでないでしょうか

- ・全国的に温泉が減少しており寂しく思いますが、コロナウイルスの出現や燃料費高騰など維持が難しくなっている事は想像できます。私は他県出身ですが、秋田県のイメージとして、米、自然、雪、温泉はセットです。アフターコロナでは、テレワークなどで大都市圏よりも地方でゆっくりと仕事をするワークスタイルに変化します。移住を計画する際、横手を選択肢に入れるために温泉は一つのアピールポイントになると思います。地域住民のための温泉施設と考えるとパイが小さくなりますが、全国住民のための温泉施設と考えれば、今は難しくても2～3年後には需要の増加に見込みが出ますし、インバウンドの効果も出てきます。継続施設を減らし、官民協力して維持できれば良いのではないのでしょうか？
- ・コロナ以前は週1回程度は行っていました。ここ1～2年は回数は控えています。心身のリフレッシュや交流の場でもある温泉施設は地域に一つずつあって欲しいと思います。が、市の財政事情を考えると、子育てや福祉事業も大切だと思いますので、温泉施設への助成が負担になるのも困ることと思います。利益までは求めなくても、トントン位で運営できるような体制ができないか、地域のみんなで知恵を絞っていけたらと思います。声をかけられる事があれば、ボランティアでの業務補助という協力をしたいと思っています。(他の方にもボランティアを依頼される場合は、いくらかの有料とするのが望ましいと思います)
- ・温泉施設は必要であると思うが、全て公共施設である必要はないと思う。公共となれば採算を度外視での運営となり、利用者は便利で割安感を得られると思うが、割安というのは長期的にみれば施設の経営体力を奪っていることになり、利用者はこの事にも全く気づかない。市内には民間の施設もあり、この施設の存続も必要であるから、民業圧迫を避ける観点から横手市としては、温泉関係から手を引くべきである。利用度の低い施設は早期の更地化が必要。このままでは、行政の失政の遺跡となるばかりだ。返還を受けた施設には譲渡後も市で金銭補助をし、その後返還されたが、この件について口頭での謝罪はあったが、金銭的に市に対しての謝罪はしないのかな。市長自身は？
- ・高齢者が多い横手市内において、温泉施設はコミュニケーションの場として重要であると考えます。また、自宅の風呂掃除が大変という理由で温泉に来る人も多いと聞く。引きこもり防止になると思う。地域住民同士が交流する機会も減っている今、温泉施設を経営することには社会的意義があると思う
- ・温泉ごとに、個性のある施設になっていくと、利用する側としては、あちこちに通い、比べてお気に入りの施設を探す楽しみもできます。温泉や立地の特色を反映した施設が多くなっていくことを期待したいと思います

- ・地域に住んでいる人は毎日でもなく近くにあるからと温泉に行きたいと思います。特にお年寄りには考えてあげたいですね。利用料は少し高めにしてもよろしいかもね
- ・娯楽の少ない横手市において、温泉施設は大切な存在だと考えます。しかし、赤字経営を続け、その赤字を市が補填するという形は継続すべきではないと思います。経営改善への取り組みがないことも、このデータを見れば明白だと感じました
- ・自分はまだ車で鶴の湯など有名温泉に行ける年代ですが、いずれは運転できなくなり、近くに温泉がなくなるのはやはり寂しいと思います。せめて、休みの時に行ける1ヶ所か2ヶ所残して頂けると有り難いですが。そのために税金があがれば…温泉施設に送迎があればもっと高齢者が行きやすくなるかと思います。せめて1ヶ所か2ヶ所でも…
- ・高齢化が加速している今、やはり公共施設の温泉はその役割が大きいと思います。大変なこととは思いますが、行事等の見直し、販売についても何かあるような感じがします
- ・温泉（施設）は農業地域の横手市にとって、市民の体の疲れや心の「癒やし」の場だと思います。昔のようなサービスを重視など不要だと思いますので、ただ入浴ができ、家族でちょっと休憩できる「いこい」の場を提供してくれるだけで十分なのではと思います。（但し清潔感は必須です）。日帰り温泉廻りができるとか…（宿泊施設はあえていない）等。それと市が所有という形よりも、市が助成していく形はどうか…全く業者に委託するのではなく、割合を決め助成制度があれば業者も運営してくれるのではと…
- ・あれば便利、なければ不便、温泉ブームの時は良かったですね。今の施設で経営して行くとなれば古いし、汚いので人気がないと思われます。投入金額、多額ですね。温泉施設を1～2にし、普通のサウナ付き温泉施設タウンを横手市の中心部となる場所（6施設の中で）に作ってみればと思います。日帰り施設として。宿泊施設だと管理費等設備投資も大変かとすぐあきらめてしまうから
- ・素朴な疑問。数百m位近くに同じような温泉施設があるまま、数年間この課題に取り組まないのは、市のトップの無能か行政マンの”事なかれ主義”（お役所仕事）か。だまっけても改善しなくても給料がもらえる意識を変えることが最重要

- ・これからは高齢者向けだけでなく、子供たちにも向けた施設を（温泉）増やせばもっともっと利用者が多くなるのではないかと思います
- ・今までは鶴ヶ池荘に入浴しておりました。休館の知らせがありまして、とても残念に思った次第です。また入浴ができること願います
- ・1億創生で各地に温泉を掘り、温泉めぐりを楽しんだ時代は終わった。公的資金を投入してまで赤字経営を続けることは考えられない。すべて廃棄すべきです。地域の人たちが温泉として守りたいならば、地域の人たちで銭湯として使えば良い（自分たちの資金で）。少しの入湯税を取り、市から除雪などやってもらえば良い。宿泊部門やレストラン、売店等を持つ施設は、その分赤字経営になることを心すべし
- ・近くにあった温泉が休館になり行けるところが無くなった。残念です
- ・宿泊者が来た時や、身体が特に疲れている時、お風呂の故障時に利用している。近場にあると便利ですし、金額には少し差があるけど
- ・銭湯感覚で気軽に利用できる温泉資源は、地域の大切な財産です。ホテルなどとは比べ物になりません。家族親戚、友人、グループで宿泊の利用も数々経験済みです。復活を楽しみにしています。税金を投入しても誰も文句は言いません。全部とは言いません。1つや2つは有ってもよろしいじゃありませんか。福利厚生費として堂々と計上して予算執行をお願いします。老い先短い年寄のささやかな願いを何卒お聞き届け下さるよう、伏してお願い申し上げます
- ・添付された資料に、どのような客層（県内在住者なのか、県内・県外の旅行者なのか、県内・県外の労働者なのか、など）どの程度利用しているのか、どの層からの収益が多いのか、などの資料があると、よく考え判断しやすいかと思いました。また、市営にするにも民間にするにも「温泉」に限定した利用しか考えていないのでしょうか？地熱発電や駅、線路が近いのであれば「もやし」などの生産拠点として機能させたり、「温泉」に限定した方法で収益を上げるのは少々厳しいように思います
- ・施設の維持管理に経費がかかり、田中角栄時代の1市町村1温泉時代は幕を閉じるべきであり、整理統合は仕方ないのではないか。効能、利用度、地域の観光名産等併せて、付加価値の高い施設は残すべきであり。市民の要望を生かしてもいいのではないか

- ・譲渡した物件が横手市に返還されているとは思っていませんでした。譲渡先で最後まで責任を持って処理（廃止）するものと思っていました
- ・温泉施設を徐々に民間に譲渡し、赤字が続くようだったら全施設譲渡か廃止してもよいと思う
- ・市が関与する温泉は必要です。採算ばかり考えず、市民の健康やふれあいの場所が必要です
- ・さくら荘の温泉が好きです。温泉だけではなく、まわりにコテージやスポーツをする場や、公園などがあり、家族や友人と楽しめるので。市民に多く利用してもらうために、いろいろな施設があるというのも便利ですが、市営の温泉施設をしぼり、充実させていただければ、若い世代の利用も増えるのではないのでしょうか。自然ゆたかな横手市。温泉に泊まるのも良いですが、キャンプ場などが近くにあれば利用したいです。各地に残すのであれば、日帰り入浴のみの施設利用でも良いのではないのでしょうか
- ・コロナ禍で県外からの利用者がだいぶ減っている状況だとは思いますが、コロナが落ち着き県外の利用者（県内在住者も）が増えてきた時に、横手市で温泉がある宿泊施設が全然ないので、宿泊ができる施設がもっとあればなあと思います。横手市が全部の施設を管理するのが難しければ、宿泊施設をメインで運営して欲しいと思っています。（さわらび、鶴ヶ池荘など）
- ・コロナとかいろいろありますが、温泉はあった方が良くないのでしょうか？ 飲食はできなくても、その場所に行くだけでもいつもと違う何かを感じて来こともできます
- ・わかっている赤字温泉にこれからも税金を投入する事は反対です
- ・現在、休業している鶴ヶ池荘は地元の人に愛されている温泉なので、私自身もたびたび利用していました。どんな形であっても再び営業できるようになって欲しいと願っております
- ・温度が足りなくて沸かすような温泉はいらないし、純粹に入って温まって帰ればそれでいいので、プレハブの小屋でも良いのでは？ それほど良質の温泉が市内にあるのなら、存続させても良いと思う。たとえば、湯の平温泉はもったいなかったと思うし、それ以外に良いと思える温泉が横手にあると思えない

- ・年金生活者にとって温泉が長生きの楽しみ。譲渡したのに、市が金を出して返還された。なぜ先々の安全性の担保が取れなかったのか。現在 65 才ですが、ゆとりおん大雄にはこれまで 100 万以上の入浴料を支出しておりますが、必要な健康支出です。今後も同様です
- ・鶴ヶ池荘、ゆっふる、ゆとりおん大雄などは市営で営業し、赤字部分の見直しをし、スリムな経営を心がけたらどうでしょうか。入浴料金を値上げすればお客は来なくなります。維持または値下げにより、一時的には人は増えるかもしれませんが、その後の事を考えていてもらいたい。温泉としてどの施設も素晴らしい物ですので、無くすのは惜しい
- ・コロナ禍の中で、利用者数の減は致し方ないと思うが、市民の健康増進、また交流の場として、出会いの場ともなる温泉施設が休館になっていることは残念です。鶴ヶ池荘の営業再開を待っています。高齢者の多い横手地区にとって温泉施設は宝物です
- ・コロナ禍で利用の懸念
- ・温泉施設がどんどんなくなり、寂しい思いをしております。それでも自家用車などがある場合は、近場でなくても何とか行くことが出来るので今はそれでも良いと思っております。人口も減り税金の収入も減ってきているので、それをそちらの方にどんどん投入というのはいかがとは思いますが、簡単に自己中心的には考えられないことと思っております
- ・高齢者にとって温泉施設は憩いの場で必要と思えます
- ・60 才、やっと友人と温泉めぐりができると思っていたのにコロナ。どんどん行けてた温泉がなくなり、残念でしかたありません。もうそろそろ遠くへも行けなくなりそうなので、淋しいかぎりです。でも建物も老朽化しますから、直すのも大変ですし、どうしたものか？ さわらびの建物ももったいないけど。遠すぎるし道もせまい。作る時なんでもっと考えなかったのか？ 秋田の温泉文化なくしたくないです
- ・今現在、温泉施設が市の財政を圧迫している事は理解できましたが、高齢者（だけではありませんが）の方々にとって温泉は、かけがえのない楽しみの方だと思います。市営の（安い）温泉はぜひ残して頂きたいです。赤字を補う案として、温泉の宅配はどうでしょうか？実際にやっている所もあるようです

- ・現状の施設のあり方のままだと、マイナス経営しかできないのでプラス経営をできるアイデアはないのでしょうか。横手市はふるさと村やまんが館の娯楽施設はあるものの、活気がなく今後温泉施設と変わらなくなるのではないかと不安です。後世のことを考えると、横手のために活躍してくれる若者に魅力を感じてもらえるような、進歩的な町づくりをしてほしいと思います。まんが館があるのであれば、まんがの専門学校を建てるアイデアや、温泉においてもどこの県にもない温泉づくりをすること。市役所の方の考え方の改善、あまり硬い考えをしているのでいいアイデアを出せるわけないです。横手の発展のために、情熱を感じさせてくれる職員の教育を逆に民間人から教わるくらいの気持ちを持って接して欲しいと思います
- ・全国から集客できるノウハウを持っていたり、他施設にはないサービスを提供できる企業への譲渡（今まで通り市民サービスもできる企業）は賛成ですが、そうでない企業への譲渡はお互いにリスクがありすぎると思います。それが難しい場合は、できるだけ市で運営して頂けたら助かります。どうしても運営できなくなる施設も今後出てくるのは致し方ないとは思いますが、市に頑張ってもらいたいです。私も月1～2回しか利用できていませんが、子育てが一段落して、時間とお金に余裕ができればもっと利用したいです。今も特定の施設ではなく、その日その時間、シチュエーションに合わせて施設を選んで利用しているので、選択肢が多い横手の温泉は素晴らしいと思っておりました
- ・鶴ヶ池荘を愛浴していたので、休館してから温泉に行く機会がかなり減りました。再開されることを楽しみに待っています。よろしくお願いします
- ・性別年齢にかかわらず、多くの方が憩いの場として小額なおこづかいで得られるコミュニケーションや静養の場であると思います。温泉施設に行って聞かれるのが、一人暮らしの方が手間や経済的にも、何より人と話せるのが楽しみで、自宅の風呂は使わず毎日来ている。それに万一転んでも他人がいるので安心だとの話ができます。また横手で休業中の温泉が多く、致し方なく巣郷まで来ているという方がけっこう多く、駐車場に秋田ナンバーの車ばかりな事に気づきました。少ない施設でも良いので、小額で毎日行ける公共の温泉を再開頂きたいです
- ・地域の人に限り割引などあればいいと思います
- ・譲渡した2施設⇒返還。最高責任者として「責任を強く感じている」「市民や議会と協議を重ねることで責任を果たす」。タダであげたものを簡単に返してもらおう⇒OK。こんな責任者なら誰でもできます。現市政には何も期待していません

- ・近場に安価な温泉は地域として必要と思います。市営・民間にこだわらずに、各地域に1ヶ所は必要ですので、考慮して下さい
- ・コロナ禍における休業、返還では適切に評価することができないので、既存の集客不調な施設も施設整理という単位ではなく、各施設の床面積縮小や施設内の一部スペースも民間利用するなどして、一つの用途以外にも活用を広げるなど、弾力的に縮小・転用、維持の方法を検討すべきと考えています。図書館機能や集会機能、生涯学習機能などの市営の他施設を統合して、床面積を圧縮しつつ、市民が日常的に過ごしやすい拠点となるような方法もあり得ると思います
- ・人口減、コロナ禍と取り組みにあたり、厳しい環境下にあります。自分も温泉施設をもっと利用したい希望がありましたが、大雪だったり、コロナ禍だったり、機会が少なくなって利用してませんでした。温泉に入って体も心もゆっくりして、日常生活したいと今でも思ってます。どうか温泉施設のプロの方に、再度募集して頂き、再度再建してもらいたいです。いずれコロナ感染症が収束し、雪も普通通りになる時が来ます
- ・高齢者に割引券があるので安く入浴することが出来とても良いリラックスが出来ました
- ・コロナの為なかなか行けない
- ・民間の入浴料と比べ、あまりにも安く設定しすぎ。経営意識がない中での運営は赤字になり税金が投入されるのは納得できない。もちろん、市の福祉サービスの一環として1つや2つあることは反対しない。しかし、旧市町村に1つずつある必要はありますか？その施設に歩いて行っている人はいるのでしょうか？皆さん車であれば横手市内にどこでも行けるのではないですか？民間が自助努力で工夫を重ねているのに比べ、公共温泉の運営は赤字は税金で補填されるからと甘い考えに見えます。譲渡を受けた民間がしっかりと運営していくのならそれでいいですが、譲渡が決まらなかった施設全てを残す必要はないと思うし、一度譲渡された物であれば、返還を認めるのはどうかと思います。せめて、更地にして戻すとか。事業開始時の投資は低額で済んでいるわけですから、それぐらいの決意をもって譲渡運営してほしいです
- ・鶴ヶ池荘とホテルテトラリゾート秋田横手温泉が休業しているのはもったいないと思いました。温泉だけでも再開してくれるとうれしいです

- ・雇用にはならないかもしれないが、500円くらいで利用できる日帰りだけの施設で良いのではないのでしょうか。それで入浴施設として運営維持していくことすらできなければ、廃止せざるを得ないと思われます。温泉地として向かないということだろうと思います。水道料金が安すぎるのだらうと思います。今の3倍くらいでも安いくらいです。家で風呂に入るのが馬鹿馬鹿しいと思えるようになれば、住民の利用が増すでしょう。世の中、単身世帯化が進んでいるので、公衆浴場はとて見直される可能性を秘めていると思われます。公衆浴場でコロナクラスターが発生した話ありませんし、理解は得やすいかと思われます
- ・子供が小さい頃は、良く温泉に通っていました。娯楽の場であり、憩いの場でもありました。これだけの赤字を補填してまで存続をすべきか、迷うところではありますが、気軽に行ける市民の憩いの場として、1施設でも残して頂けたらと思われます。入浴者数の減少が施設の運営にあるのか、利用者にあるのか、その原因がこれからも改善できないものであれば廃止も致し方ないかもしれません
- ・コロナ以前は1回/月程度は利用させていただいていました。残念ではありますが、人口減少を考えると、集約することはやむを得ないと思われます
- ・感染症などもあり、他人と温泉に入るのは苦手なので温泉施設はいりません
- ・温泉施設は設備の管理と経費が多くかかり、古くなるほど増します。休館中も経費がかかり再開するのにまた経費がかかります。税金のムダです。全て解体して、かけ流し温泉だけの小さな温泉を3Dプリンター技術で作る。簡易的施設で各地域に一つ作れば良いのでは？ 例として「ホット湯田」程度でOKと思われます
- ・保養施設としてずーと残して頂きたいし、これからは老人が増えてくるのでくつろぐ場として提供して頂ければありがたいと思われます
- ・老人の私達にとって、公共温泉施設は大変楽しい憩いの場です。横手にはこれといった娯楽施設もなく、近年温泉施設までもが1つ1つ消えていって大変さびしく、残念に思っておりました。是非、是非存続していただきたい
- ・1.施設の配置バランスは重要と考える。※同様の施設が近隣にあれば利用客は偏るのではないか。
2.泉質、周辺環境(いやし効果)、施設の特性(たとえば、えがおの丘→温水プールあり=現在は民営化)等を考慮して存廃を決定すべきでないか

- ・公民は問わず地域に一ヶ所は残しておいて貰いたい。地震など不測の事態を考慮すると、サービスと言うより保険ではないだろうか。譲渡契約成立した後、返還されたというのが意味が分からない。適法な契約だったのか、物件にどんな瑕疵があったのか不思議です。温泉で倒れる高齢者を2度見ました。すぐ手当され大丈夫だったと聞きましたが、独り暮らしの身にしては他者の目もあって安心して入浴できる場です。※「温泉に関するデータ」のグラフを見て思ったのですが、H23年度市営温泉施設に市が投入した金額が突出していますが、市内全温泉施設入浴者数の推移からみて（しかも10→9に減）なぜかなと思いました
- ・私達の納入した税を、温泉施設に投入するのではなく、本当に恵まれない方やその支援に携わる方へ税金を使ってほしいと思います
- ・家の近くというので、ホテルウェルネス横手路（ホールサムイン時代より）を利用（週に1, 2回）していたが、休館になった為、鶴ヶ池荘を利用（週に1回）、そこも休館になった為、今は駅前のゆうゆうプラザ（月1回）を利用しています。現在の状況で、民間への譲渡は行政の大失敗と考えます。安易な譲渡による利用者市民への不利益をもたらしているという事を真剣に考えて頂きたい。※誰も責任を明確にせず、知らんぷりを決め込んでいる！ 強く憤りを覚えます。市長、議員、職員に対して、もっと住民目線での対応を求めます
- ・明るく大きなサウナがあると良いと思います
- ・温泉は健康増進の為の必要な施設の一部であり、赤字でも市が所有しがんばってほしい
- ・早くどの温泉施設を開業して貰いたい
- ・健康維持増進施設としての機能も備えた温泉施設を望みます
- ・コロナの世情により、利用回数は減少致しましたが、今後の状況変化に期待し、温泉施設はいくらか有った方が良いと思います。経営は厳しいと感じていますが、税金の用途を含め検討課題にして頂きたい
- ・施設内でゆっくり過ごす場所があり、遊べる場所（卓球台、ユーフォーキャッチャーなどの遊ぶもの）等があると、お年寄りでも楽しく過ごすことが出来ると思います。田舎は都会と違って楽しむ場所が少なく、皆んな（家族、友人等）と集える場所となると、温泉に入るだけでなく、人々がもっと集まると思います

- ・高齢者にとっては温泉施設は大きな娯楽の場であり、交流の場になっております。当然、施設運営に対しては、市財政の負担が多く、投入資金（税負担）も厳しい現状は分かりますが、温泉施設利用者は自分の健康管理にも気を使い、病院利用（医療費負担）も少ないものと考えます。財政負担の削減案としてのひとつの考え方として、市の施設利用補助などの廃止、入浴料金の改訂等と考えながら運営継続を望んでおります。施設従業員の方々の業務改善（従業員の人数など）も必要ではないかと考えております
- ・高齢者が多い中で近くに温泉施設があれば良いと思う
- ・横手市民誰もが利用してみたい、魅力ある公共温泉施設を存続できるよう、知恵を絞っていただきたい
- ・民間への譲渡し、一定の資金も投入したにもかかわらず返還された経緯や契約上の問題が良く解らない。この件で市政のおそまつさあるし、誰も責任を取っていない。（議会で決議しても拘束力のないもの）。温泉施設を入浴に特化するのも方法で、宿泊もとなると経費は大変になる。温泉入浴だけでも再開するべきと思う。民間経営を行政も勉強すべき。机上のプランだけではそれ以上の策は出てこないです
- ・温泉は好きなので以前は良く行っていました。鶴ヶ池荘など休館しており大変残念でなりません。しかし、公共の温泉が多く、維持にかなりの税金が使われており、そのままの状態ではやっていけなかったと思います。民営化してもそもそもの温泉の数が多すぎるので、全部が今のままの形での運営は無理があります。身近な場所に安く気軽に入れる日帰り温泉のようものと、宿泊滞在型のもの、計画的に棲み分けた上で譲渡という事も必要だったのでは…と今となっては思います
- ・温泉は家族団らんでありました。県外に就職した子供達も帰って来た時には、皆んなで行く楽しみがありました。ぜひ残してほしいと思います。これから続く子供達に思い出を作してほしいです
- ・赤字をたれながすのは良くないと思います。見込みがなければ、更地にすることもありだと思います。市の財源の使い方は考えなければいけないと思います。残念ではありますが、温泉を市で所有することが、税収をあげたり（若い人、子供を増やして大人になり、横手を支えて税金をきちんと納める人たちを増やすということ）、することにはつながらないと思います

- ・公共温泉施設は、市として大事な施設だと思うが、市民の税金を使っているのなら少しは考えます。人口もあまりいない、温泉施設もあまり利用されていないのであればなおさらです
- ・毎日の雪でヘトヘトになっている日々、温泉に行くとスッキリ!! とっても元気になれます。私は鶴ヶ池荘が大好きでした。初孫との思い出の温泉です。水風呂のヒエヒエが最高でした。また孫たちと一緒に大笑いして、露天風呂に入りたいです。どうかガンバって継続して下さい
- ・市民の人はほぼ全員実現してほしいと思います。1人住まいの人や、また寒い横手市に住んでいて、温泉のない地域は恥と思います。温泉を必ず実現下さい。お願いします
- ・それぞれの地域に温泉は必要であると思うが、継続していく上で、多額の費用がかかりムダです。すべての施設を民営化、ダメなら解体する。世代の交代により、利用する年齢も高齢化になり足が止まっている。過去のデータは現状と違っている。議論するよりも、今の状況に目を向けて早く解決することを望みます。温泉施設が無ければ、それはそれで良いと思います。温泉代も高いです。温泉施設の継続を皆んな、望んでいません
- ・市内の温泉が休みの場合、あったか山、仏沢、仙南を利用。いずれも美郷町。接客対応も非常に良いしきれいだ
- ・近場の温泉施設が減り、一つに多くの人が集まるので、行きづらいと感じることがある（コロナの関係で）。その点が悲しい…
- ・温泉はすごく好きですが、いざ行こうとした際に休業している施設が多くあり、選択肢の幅が狭まった。子供（0才、4才）がいるので、家族風呂等が沢山あれば良いのになと思う
- ・高齢者は遠くに行くことが困難ですから近場にあると良いです
- ・地域の宝物のような温泉（ゆ〜らく）。医者いらずの体にいい湯っこ。地域の活性化がなくなって村がさびれてしまいました。川にすてるなら村人を助けて下さい。！老人だけの村に湯っこがあるだけでにぎやかでした。今は人っ子一人いませんよ。雪だけいっぱいで見事です。石山町長さんだったら温泉やってたと思います。やっとなら温泉掘っていただいたのに残念です！

- ・前から馴染み親しんでいた施設でした。高齢になると友人たちと温泉に入り、会話するのが唯一の楽しみです。距離的にも鶴ヶ池荘は近くもなく遠くもない丁度よい場所でした。休館になりとても残念です
- ・人口減少やコロナ禍が続く現在、入浴者の増加は見込めないと考えます。税収も減っていくと思われ、税の使いみちが問われていると思います。個人的には温泉施設よりも、今冬の大雪による除雪費など、生活に密着したことに税金を使ってほしいと思います
- ・市の財政が苦しいのであれば、無理にやる必要はないと思う。でも心のよりどころかなー今コロナで増して行けない事もあると思う
- ・「えがおの丘」週1回の利用は、スイミング講座の帰りの温泉利用です。やはり、温泉施設だけでなく、プールやジムやカフェ等、プラスアルファな面を取り入れて、市民が利用したくなるような施設に変えてほしいです
- ・温泉の経営を少しにし、冬の除雪の方に予算を使ってほしい。空き土地には皆家が建ち、雪の捨場がなく困っています。その点もどうかよろしくたのみます
- ・個人としては使うことがないが、風呂のボイラーが壊れた時とかは必要になってくる施設だと思うので、市も経営に加わり、残していかなければならないと思う
- ・可能性を追求して、広く全国からアイデアを募集してはどうかと思う。例として、地熱を利用した作物や電気等、温泉イコール入浴ではなく、養殖等採算がとれるよう市がサポートをある程度する必要があるのではないか。ダメならやめではなくどうやったら良いのかを考える必要があると思う
- ・必要かどうか聞けば必要と答えるに決まっている。仮に必要として、利用料を倍にしてもあなたは利用しますか、という聞き方をしないと何回も調査が必要になる。やるなら踏み込んだ質問をしてほしい。最初から答えが見える質問をされても意味が少ない
- ・残したいと思うのはわかるが、残すのであれば規模を縮小し有志自分たちで経営する、地域で守る等努力が必要。時代が変化していて、合併前町村時代にできた各地の温泉は、多すぎるかもしれない。全国の地域の温泉は、地域民でやっている所が沢山あるので、私も機会があれば清掃等でボランティアで役に立てたい

- ・民間での温泉施設の運営も厳しいものがあると思います。市がそのまま運営し、ただの温泉施設ではなく、老人ホームとして利用する等、やり方はあると思います。他の用途を考えてみてはいかがでしょうか？
- ・コロナあり、温泉施設への需要が減った中で、市からの負担を増やしての継続は不要。ゆっぷるは以前、小学校の娘と行きましたが、同じくらいの入浴料で、あの施設であれば美郷の湯とびあの方が良いねと、同意見でした。様々な物が値上がり、コロナにより制限される事も多く、自粛せざるを得ないこともある。→収入も減る中で、正直この温泉に関するアンケートはどうでも良かった。真面目に答えましたが、もっと市民が心配している事などをアンケートしてくれた方が今後の為かと思います。横手市の温泉施設が無くなっても私は困りません。行きたい時は宿泊できる少しいい所へ行きたいと思っています
- ・温泉を維持していくことで、赤字がどんどん膨らみ税金が高くなるのは厳しい（困る）。温泉施設と公民館活動をタイアップできないか。サークル活動や生涯学習、講演会等の会場として温泉施設を利用してはどうか
- ・日帰り温泉でもよいので、いくつかは公共温泉施設を存続していただきたい。コロナの影響で観光客がこの先も見込めない中、大型の宿泊施設は廃止してもよいと思う
- ・市営している 6 施設の年間や近年の利用者数等を見て、今後は市営温泉施設を減らす等の対応が必要だと思う。コロナ禍によって外出する機会が減り、利用者も減少傾向にあると思うので
- ・横手市が介入するのであれば、その施設は利益を出さなければならないと思う。赤字経営であれば続けていく理由が分からない。温泉のみならず、娯楽施設の長期赤字補てんは必要ないと思う。温泉等に多額の補填をしていると聞くと、不公平さや、お金の使い方に疑問を持つ人もいると思う。補填なしで経営できるような施設を作ってほしい
- ・温泉は市民並びに県民にとっても、本当に大事な場所です。一度失ってしまえば再び戻ることは困難です。私は老人の一人ですが、最近はコロナのこともあり利用していません。しかしこれまで四季を通して利用しておりました。残された人生でまた、利用させていただきたいという希望を持っております。新しい施設ももちろん大切ですが、どうか再生させて下さるようお願いいたします

- ・市内に温泉があるとゆっくり体を休める所、人が集まる所で、団らんの場でもあります。コロナ禍のこともありまた、今まで利用していた方々が高齢化してきて、好きな時に行けない。行くとしたら近場になってしまいます。それも無くなったら残念に思うし、他県から遊びに来た孫たちは温泉に行きたがるので、楽しみが半減してしまいます。維持費、人件費も大変な事と思いますが、横手は温泉がある街でPRできないもののでしょうか？観光にするPR、温泉めぐりツアーでどこのお湯が良かったか、接待やお店はどうだったか？食事はどうだったか？なんて歩き回れる計画を他県から募るのも一目瞭然のように思います。今はスマホですぐ出来る事があるので、若い人は素晴らしいと思います。乱文申し訳ありません。ご苦労さまです
- ・市の施設が民間を圧迫している事実は前からありました。市の施設だけでなく、県の施設もそうです。民間のそういった声も聞かず、市民のいこいの場、安く入れる温泉ということで、負の財産を受け取るようになってしまった結果、又々続けて、何億もの市の財務より投入し続けることが、果たして良いものかどうか。私も市民ではありますが、過去のことを反省し、思い切った事をしなければずるずるとたれ流し状況になるのは、わかりきっていることと思います。税金がこんなことで使われるのは心外です。前に鶴ヶ池荘に勤めていた方は、とても給料も良く、民間程必死さもなく、どうしたものかと思いました。ご決断を急いで下さい。ところで調査票ですが、どうして大曲の業者さんなのかちょっと不思議に思いました。横手市なら内容がわかると困るからでしょうか
- ・さくら荘、鶴ヶ池荘は必要かと思います。理由 好きだから!!
- ・なんで請負者に任せるのですか。職員が私事として進めるのが本来の姿で、通り一辺なアンケートでは実態が把握できないと思う。身を削る姿勢が見えず情けなし。些細な事でも懸命に取り組むべき。発展しない横手の根源がここにあるかもしれず。意図見えず
- ・山内出身です。鶴ヶ池荘は長い歴史があり、同窓会もやっていました。今はありません。とても残念に思っています。ぜひ再開を願っております
- ・今はコロナのこわさで、なかなか地元の温泉施設にはいけてません。せっかく秋田という東北で遠くに行かないと温泉に入れないということは、とてもさびしく思います。ぜひ、地元の温泉をにぎわいにして、市の活性化につながればいいといつも願っています。大変でしょうが、前向きにコミュニティの場所を復活させて下さい

- ・テトラリゾート（旧かんぼ）、鶴ヶ池荘は良く、また利用したいと思うところで
す。是非、また営業開始を望みます。よろしくお願いします
- ・美郷町の温泉では大広間つきで横手市より安いです。よくやっているものです。
横手でもできるのでないですか
- ・きれいで安く利用できる温泉施設が近くにあれば良いと思うし、利用する
- ・温泉大好きです。現状の温泉施設は少ないと思います。最近、巢郷温泉やあつ
たか山に行くことが多いです。湯質がいい温泉は最高です。宿泊できなくても日
帰りで十分だと思います
- ・以前は母と2人でウェルネス横手路に月20日前後通っていました。その後、別
の施設へ通い、回数券も購入したがコロナで休業→再開せずで券もムダになり、
鶴ヶ池荘に通うも休館。温泉に通う理由として、家のお風呂に入浴剤を入れるの
と同じで、近場の温泉利用目的には、レストランやホテル事業は必要ないと思
います。備品のシャンプー・リンスなどもほとんどの人は自分の物を持ち込んで
いるので、必要な人にはトライアルセットを販売するで良いと思う。食事をした
い人には近くの店を紹介し、温泉の半券があれば10%OFFとか、専用のランチ
があるとか、飲み物、デザートが付くとか店との連携も良いのでは？ 温泉施設
はロビーと少しの休憩所で、自販の物以外の飲食禁止にすれば、職員の負担も減
るのではないかと。どうしても温泉施設の復活を願っているの、思いつくこと
を書かせてもらいました。よろしくお願いします。"
- ・近くに在るのは便利が良いが、横手内に多すぎ!! 客の取り合いになり、今後も
利益に繋がるとも思えないので減らすべき!?
- ・民間事業者に譲渡した施設、なぜ返還に応じたのか、議会の答弁では返還に応じ
た合理的な説明がされていないと感じる。いずれにしても収益を上げるような施
設にはなり得ないので、市としては経営に携わらず、他の利用目的を模索してほ
しいです
- ・クラウドファンディングではないが、出資してその人が年間パスポートのような
ものがあれば、もっと気軽に利用できる。民間の風呂だと、ちょっと二の足を踏
むことがある。料金と手間で。クォードインのように、トレーニングルームと風
呂で会員になると、民間の風呂よりすぐ元が取れる格安感やお得感があり、毎日
すごく混雑している

- ・温泉施設の運営を民間シフトに向けて取り組むことは、良い事だと思いましたが、一部施設が、市に返還されたことが少し違うと思います。運営、経営がむずかしいのは誰でも分かっていたことです。それをできないから返します。では、誰も納得しません。せつかく、お金を使って民間に受け渡しやすい状況にしたのに、責任をもって経営していただかなければ、無駄金だと思います。コロナで温泉施設の利用が少なくなったのも分かりますが、それ以前に、横手、秋田の人口もかなり少なくなっています。地元には何もないからです。温泉もなければ、帰省してきた人の行く所もなくなります。温泉がなくなるのは寂しいことです。しかし、民間にゆずる場合は、もっと、契約をしっかりと決めた上で取り組んで頂きたいです
- ・温泉施設はなるべく早く完全な譲渡か廃止するべきと思います
- ・魅力ある温泉施設運営を期待します。(食事、入浴、名産品の充実、バリアフリーの充実、シャトルバスの利用、低料金 500 円前後)
- ・資料を見て、具体的な金額を知ると、施設の市維持は難しいと感じた。旧市町村のころからの施設もあり、住民にとっては少し残念なところもあるだろうが、施設削減もいたし方ないのでは
- ・コロナの状況では、当分客足が遠のくのは当然だと思います。でもいつか収束することを願って！ その時は運営している温泉地には足を運んでリフレッシュしたいと思っている人達も多いはずですよ。今もコロナで行く人はいます。何を求めて健康維持のためですが、ストレスを溜めないことの 1 つとして選んで行っていると思います。ですから、全部をなくすなど考えてほしくないです。健康のバロメータは考え方次第で変化すると思うので。対策をしっかりとって、早く再開できることを願います
- ・私は高齢ですので、語らいの場として同じくらいの皆さんとお話するのが楽しみで行っております
- ・市民憩いの場としての温泉施設は必要だと思う。温泉施設だけ単体で存在するのではなく、美郷町のように、キャンプ施設が近くに在るだとか、大きな公園遊具施設を設けるだとかという、他業との抱合せで運営するといった工夫があっても良いと感じる。要は、温泉のみを目的とするのではなく、何かのついでに温泉を利用するといったように仕向けてはいかがなものでしょうか

- ・気軽に通える温泉が近くに残ってほしいですね

- ・人口減少、高齢化により、温泉を利用する人は少なくなって来ていると思います。複数の温泉を営業するよりは2~3ヶ所の温泉にしぼり、力を入れて利用しやすくしてほしいと思います。美郷町のように、3施設の温泉で使える入浴券を発行したりしてネ!! その時の気分によって利用できる施設を選択出来るようにするとかね! 老朽化の施設は思い切って廃止したほうが無難かと思います。修理に多額のお金を使う必要は無いと思います。庶民と行政の考え方は、必ずしも一致するとは限りませんからね

- ・温泉は出来るだけ住まいの近くにあるのが望ましいと思います。そのためには、温泉に目的を持たせるといいのではと思います。人口が減少しているので、施設の数多くない方がいいのではと思います。
 - ①水中ウォーキングができる
 - ②心疾患や高齢者に効果がある（クォードインのような炭酸泉）
 - ③サウナ（ほとんどの温泉にあるので継続）
 その他＝温泉施設に行くことで環境が変わり、気分転換したと思えるような施設があればいいと思います

- ・地域的にまたは、民営化施設の場所を考慮すれば、返還施設、市営施設のうち、市が運営の一部または、全部を行う施設としては、①鶴ヶ池荘、②ゆっふるの2施設が妥当と思う。

山内・横手（東部）	⇒鶴ヶ池荘
増田・平鹿・十文字・横手（南部）	⇒ゆっふる
雄物川・平鹿・十文字・大雄	⇒雄川荘、えがおの丘
大森・大雄・横手（西部）	⇒大森健康温泉

 ※横手（北西部）旧横手西中学校区・旧金沢中学校区⇒※美郷町ゆーとびあ
 鶴ヶ池荘、ゆっふるの宿泊施設は、あればありがたいが、運営費負担を考えれば無くなっても仕方がないと思う。温泉（入浴）施設のみでの運営だと負担は軽減できるのでは。さわらびはもったいないが、場所的に不便である。天下森スキー場と何かできれば良いのだが。厳しいですね

- ・温泉施設の民間シフトはありだと思うが、可能な限り施設を廃止しないように民間への働きかけや効率的な運営に向けての支援を行ってほしいと思う。個人的には、鶴ヶ池荘の廃止はもったいないと思う

- ・300円~400円で温泉に入れるようにしてほしい

- ・温泉施設は、高齢者の数少ない集い所でもあるため、高齢化が進んでいる今、温泉施設を減らすことは彼らの生きがいを減らしてしまうことでもある。また、一人暮らし高齢者については、生存確認の一つの手段でもある。しかし、市営・民営共に温泉施設を増やす、現状維持も経営状況によってかなり難しいことも分かる。そのため、利用者が多い施設または、交通手段の多い温泉施設に重点を置き、地域の高齢者を送迎するバス、タクシー等を無料（巡回バス等）にし、利用しやすい環境を作るのはどうか
- ・合併直後の市議会議員の数も異常だったが、この程度の人口で9～10ヶ所も公営の温泉施設があったのはおかしかったと思う。さらに高齢化が進み、人口も減少していく状況では、市営の温泉は2～3ヶ所が妥当なのかと思う。コロナ禍の現在は宴会が少ないが、忘年会、歓迎会等の飲み会はコロナが収束しても、民間では以前のように利用しない。（公務員が別かもしれないが）。ただ、現状横手市では市民が気軽にオールシーズン利用できる運動施設があまりない。プールがあるえがおの丘のような施設はできるだけ存続させてほしい。数十年先を見据えたなら、介護が必要な高齢者でなく、健康な高齢者を増やす必要があるため、市民が利用しやすい料金設定の運動設備は残してほしい
- ・民間施設が数社、自由競争して適切な金額で温泉を提供していただければ、民間だろうが公共（市営）だろうが、行く人は行きます。レジャーは多様化しているのでしょう。年寄りも減少し、若い方は温泉を好むわけではないのでしょう。利用者減少は当然の結果です。温泉に魅力があれば黒字になるでしょうし、そうでなければ民間・市営を問わず黒字になります。温泉を必要としている人口は明らかに減っています。市の役割は終わりました。民間の営業努力に任せましょう。民間でさえ赤字なら、温泉は必要とされていないことになります。そもそも、合併前の各自治体の調子に乗って始めた施設が多すぎたことが原因です。市営は必要ないと結論します
- ・公共温泉施設は、地域のいこいの場であり、交流の場でもあると思います。疲れを取るため、ストレスを解消するため、まだ施設に行くことに意味がある人もいます
- ・農村部に温泉があってもお年寄りの集まりだと思えます。悪いことだとは思いませんが、温泉がなくても今はいきいきサロンなど集まっているいろいろなようです。横手市の人口は少なくなっているのに住宅が建って密集してきました。若い世帯が町に出てきていると思います。赤字の所を再開しても同じことになると思います

- ・温泉施設をよく利用している友人に聞きました。施設の数が多かったのではないかと。私もそう思います。26日を「フロの日」とし、その日は半額とする施設もあるそうです。そうしたお客様の楽しみを誘う工夫など魅力的だと思います。1番は料金の安さだと力強く言っていました。利用して分かったのは、お客様の利用理由が様々だとのこと。友人は温泉につかり、サウナをして、休憩はせず帰るタイプ。入っては休憩又はひと眠り、また入ったりする人など。食事をする人には少々高めでも、忘れられないくらいの美味しいものも準備してあれば、なお良いと思います。職員の接客スキルは高いが、利用する人の満足度もリピーターに繋がると思います
- ・公共温泉施設は必要と考えます。地域住民の憩いの場。個人でできる健康管理の場。潜在顧客、休眠顧客対応すべし
- ・コロナの影響で前より温泉利用者が少なくなっていると思う。市でこの数ヶ所の施設を維持管理していくのは大変です。民間譲渡して、リニューアルオープンして欲しい。コロナが落ち着けば、また客は戻ると思う
- ・コロナ禍でかつ少子高齢化、秋田県人口減少と利用者数が年々減少していることと思います。旧横手市時代に各市町村で立ち上げた温泉施設は現在でみると確かに多く感じます。温泉施設の老朽化が目立つ施設もあります。「老舗」や「昔ながら」という謳い文句もあるとは思いますが、維持管理が行き届かない施設なら廃止すべきでないでしょうか。市民が近くて便利と思うのは分かりますが、カネがかかっているの、いたし方ない事だと思います。その分、子供への手当や遊び場、観光など別の事業にカネを当てていった方が横手の観光客や若い夫婦の増加（減少の歯止め）に続かると思います。また、最近のトレンドからみると、旅行（観光やレジャー等）からの宿泊というのが一日中遊べて人気のようです。温泉施設に関しての問題もそうですが、コロナ禍明けの観光やレジャーについて議論すべきではないかとも感じます
- ・子供連れでも行きやすかった。鶴ヶ池荘の復活を！！ 山内のいものこ祭りも鶴ヶ池荘があつてのものだと思う!! ぜひ♡
- ・市営温泉施設に投入した金額が、市の財政を圧迫している事実を考えると廃止はやむを得ないと思います。コロナウイルスの感染症の影響が拡大して利用者が減少しているという事は、温泉施設を利用しなくともそれなりに、自宅入浴で間に合うということではないかと思います。でもやっぱり温泉好きにはとても辛い事です

- ・コロナ禍で旅行客は減っているし、銭湯代わりに利用する地元の人も過疎化で減少していると思われる。民営化することで起こる利用料金の上昇や利用時間の短縮などのリスクもあるが、適切なサービスの見直しにつながれば良いと期待している
- ・公共温泉施設は私達にとって、かけがえのない物です。無くさないで下さい。ましてや、日帰り施設の廃止などをもってのほか。なぜそんなに簡単に切り捨てることができるのでしょうか？宿泊でなければ温泉に入れない事になれば、市外の施設に行ってしまう。ますます赤字が増えていくと思う。こんな大ざっぱなアンケートではあまりに粗末。もう少し細やかな物にしてほしい。温泉施設廃止に反対します
- ・規模を縮小するとか、何らかの工夫があるかと思います。今まで行政が携わってきたことで経営がどうの、このなく考えて欲しいです
- ・近くに温泉が無くなりさみしいです。家族で夜入りに行ったり、日中は母が1人で行ったりしていました。せつかく出ているお湯ももったいないと思います。ぜひ利用したいです
- ・温泉施設利用者を増やすため方策が必要。施設周辺のリゾート環境、スポーツ環境、野外施設等も合わせて考えていく市としての事業も必要と思う
- ・現在コロナウイルスの影響があり、温泉施設の利用は控えていますが、各地域にある施設はすばらしいものであり、住民の交流、癒やしの場となっていると思います。市にとってそのような施設は数少なく、貴重な施設は今後も維持してもらいたいと思う
- ・住民の健康を守る施策として重要に思う。
- ・コロナになってから、最近はあまり行かない様になっている。収束してきたらもつと行きたいとは思っている
- ・冬の雪国にあって、温泉施設は社交場としてとても大切な場所と思うが、公共の資金を使って、ましてやバク大な赤字になっているのに継続することは、公共の利益に反することだと思う。老人人口が増加して移動手段が不足する中で、横手市人口が少ない地域に依存する場所的にも問題がある。今後、横手市人口が減少することから、未来の為に税金を投資するべきだと思う

- ・人口も減少してきているので、支出を抑えた方が良い。民間に任せられるものは、任せ方が良いと思う。福祉関係で市として、別にやらなければならない事を考えてほしい
- ・私は鶴ヶ池荘が大好きでした。月に何度も行く訳ではありませんが、温泉に入りながら景色を見てゆっくりできました。休館しているのはとてもさみしいです。何とか再開して欲しいなど日々思っております
- ・一つの温泉のみだと飽きるので複数あった方がいい
- ・手段は問わないが温泉施設は残してほしい。施設が減った分、温泉に行く回数も減ったし、市外の温泉に行くようになった。維持管理自体大変だとは思いますが、施設周辺の魅力度を上げて集客を上げるとか、現状維持だけでは駄目何だろうと思う
- ・横手市の人口は年々減少し、一方では高齢者が増えている現実を踏まえ、温泉施設は市民にとって心身の癒し・ゆとりの場として必要です。施設の維持費も、グラフを見て大きな負担になっているのがわかりますが、市の協力がないと存続が難しいと思いますが、市民が遠くに出向かわなくてもいいように近くにあってほしい。全部の経営は無理だと思いますので、何か所かにしぼって市の援助も継続して存続してほしい。そして、近隣の方からも来たくなる様な個性をアピールして利用者を増やし、利用収入を少しでも増加できればいいかなと思います
- ・3児の未就学児の母です。以前は温泉施設をよく利用しておりましたが、子供が生まれてから利用することがなくなってしまいました。赤ちゃんや小さい子供たちが利用するには、温度が熱すぎたりキッズスペース・赤ちゃん用のバスタブ等がなく、不便を感じてしまうことが多々あります。温泉自体大好きなので行きたいと思っていますが、(子供たちを連れて行くとなると、子供向けの温泉がない為、結局利用しません。)もう少し子育て世帯が使いやすい温泉施設だと大変助かります
- ・高齢者の福祉対策。在宅で外出が思うようにできない人も多いと思う。マイクロバス等で迎えに行き、温泉を楽しんでもらう。(他人と会話したい人も多いと思う)。施設に入っている人でも月に一回とか見守り入浴とか出来たらうれしい高齢者もいると思う。来るのを待つだけでなく、送迎付きなら気分転換に利用して、ジュースの1本でも買うかもしれない。お客が減ったのは、住民が高齢化し利用する人が減ったからでしょうか？

・温泉利用者が減ったのは、コロナだけのせいだとも言い切れないのではないのでしょうか？10年ほど前になりますが、子供が小学校低学年の頃、よく「鶴ヶ池荘」の施設を利用していましたが、地元のお年寄りが多く我が物顔で利用しているため、本来入浴料を払っている子育て世代の利用者が、お年寄りに気を使って使わせてもらっているという感じでした。やがて親も子供達も温泉に行っても楽しくなくなり、足が遠ざかっていきました。利用者のモラルは必要だと思いますが、毎日のように通いフロに入っては休憩所でTVを見たり、ご近所さんと談話しては何回もフロに入り、何時間も居座るなどが横行される中で、利用者が減少するのは当たり前のことだと思います。にもかかわらず、施設ごとに民間譲渡した結果、わずか数年で返還される（赤字金を付けられたまま）など信じがたい事実です。このさい返還されたり譲渡できない温泉に関しては閉館すべきです。わずか数年で返還されるということは、譲渡先事業者の選別自体に問題があるということです。今後、同様に譲渡されたとしても、営業形態を変えるなどの方針転換がなされなければ温泉として営業を継続していくことは、赤字財政（市の）に追い打ちをかけるだけで「地域の貴重な財産」であったという過去のレガシーにとらわれ負の遺産にならぬよう、将来のことや今後かかる市の負担も考慮したうえで、温泉の運営事業を考える必要があると思う。何よりも高齢化が進む中で、市の財政に負担がかかる事業に携わるのはリスクがあり、休館を続ける間も税金がかかるようなことはすべからず、早めに解体して他の事業に転換することが望ましいと思います

・もっと税金が安くなると利用しやすいです

・温泉は好きだが、市内の温泉にはあまり魅力を感じない。若い方々は同じような考えの人が多と思う。ただ、普段の生活の一部として温泉施設を利用する方もいらっしやると思うので、全て譲渡する（民間に）とかではなく、使い分けができればと思った。（観光や時々自分へのごほうびに訪れるような場所と毎日のように利用する人のための場所と）。施設の管理等、大変お疲れ様です。コロナもあり、難儀化と思いますが、今後もよろしくお願いします

・PFIを活用した民間譲渡の方針は良いと思う。引き続き検討をお願いいたします

・温泉は観光資源になっているので、なくなってしまうのは勿体ないと思う。もちろん休業のまま維持管理していくのは大変だから、いつそのこときれいにリニューアルするとか。話題性のあるデザインを取り入れて県内外のたくさんの人に訪れてもらう

- ・横手市民に特別割引があればもっと利用したい
- ・娯楽の少ない地域なので、温泉充実するといいなと思います。秋田市の”こまち”、”華の湯”位の施設、ほしいです
- ・コロナが終息すれば利用客も増えると思います。観光も増えて来ると思うので、温泉だけのことではなく、横手市全体で外からのお客様を集められるような工夫が大切だと思います。温泉施設のスリム化を行うことは必要と考えます
- ・人口減少で利用する人も減ってくると思うので、公共温泉の必要はないと思います
- ・健康増進、いこいの場、近隣町村も利用、コロナ対策
- ・地元の温泉施設をもっと利用したいとは思いますが、老朽化が進み心地良く利用できないのも現実です。親と同居中ですが身体が不自由になっている事もあり、利用しやすい施設等考えると市内には無く、なるべく近くの横手市外への温泉施設へ出向いてしまいます。段差や温泉までの距離等、古い施設にはやはり問題が多いと思われます。現在では個室に温泉付きの施設が増えてきており、少し高価でも、宿泊にはそういった環境を選ぶようになってきました。日帰り温泉施設でも環境が良ければ、もっともっと横手市内の施設を利用したいと思います。近くにこんなに沢山の温泉があり、湯質も良いのにいつも残念に思っています。特に冬場は雪の為遠出できないので、市内の施設が充実してくれる事を切に願います。経営や収益の事は分かりませんが、わざわざ横手市外に行かず、市内でゆっくりすごせる施設があることを願います
- ・年齢的に温泉は利用しています。若い人達は楽しみ方が違ってきています。たとえばかつては家族全員で行っていましたが、今は一人とか時間の都合によつての温泉みたいです。参考になるかな？…
- ・ホテルウエルネス横手路（休館中）はイオンに近いので、開館中は毎日妻と一緒に行っていましたが、今はゆとりおんかゆっふるにほぼ毎日行っていますが横手駅に近いと助かります。市の温泉施設に、もっと多くの人、若い人から80才90才、いろんな人が使用して良かったよと言ってももらえる様な温泉施設に変えていくのはどうでしょうか？市外の方、県外の方が楽しんでもらえる様な日帰り温泉施設に変えるのはどうでしょうか？

- ・市内にはたくさんの温泉施設がありますが、それぞれが気軽に足を運べる場所は限られていると思います。利用者の減少と赤字経営の現実は、私達市民に手立てはありませんが、年齢を問わずに癒される場所でもありますので、継続していただける方向を願っています
- ・入浴料金がもう少し安ければ行ける回数が増えると思います
- ・コロナもあって、ここ2〜3年はあまり温泉に行っていないです
- ・高齢者にとっては、近くの温泉に行くしか楽しみが無くなってきている。公共温泉施設は必要である。健康施設や購買施設の充実を図ってほしい。遠くに離れている家族が帰省する時、大勢でゆっくり過ごすためにも運営してほしい。宿泊部は期間限定でもいいと思う。(年末年始、ゴールデンウイーク、お盆、春・秋の行楽時…等)
- ・温泉に入る事が楽しみでしたが、鶴ヶ池荘もなくなり、温泉に行っていません
- ・幼いころから温泉に行き、母との思い出が沢山あります。日頃の健康維持の為、又子供達と気軽に行きたいと思っていますが、コロナもあり全く行かなくなりました。ホテルの温泉には行く気にならないという思いもあります。鶴ヶ池荘に又行きたいと思っていますが、市の経済状況が悪いのに、採算がとれない事業に手を出す事はやめてほしいです。この先も観光客は見込めないと思うので、横手市民の豊かな生活を充実させ堅実な街づくりをしてほしいです。華美でなくとも、豊かな街は作れるはず。子供も大人も見ただけで幸せな気持ちになる街路樹や花、街並、立派な建物がなくても豊かな街は作れると思います
- ・旧市内在住で、山内地域の施設を利用していたが、民営化したことが休館につながったことは否めないと考え。Q8では1(6施設)と回答したが、4施設程度が妥当だと思う。山内地域には残してほしいと切に希望する。譲渡前は賑やかな施設だった
- ・利用者の減少、維持費の高さは理解していますが、せめて3か所だけでも残して欲しいです
- ・これからの温泉施設は、多機能型、又は行ってみたいと思わせるリピート型でないとい若い人たちは利用しないと思います。又、温泉施設を別の利用施設として、例えば老人ホーム等出来ないでしょうか

- ・高齢者で、自宅の風呂がこわれたり一人ぐらしで風呂を使ってない人で、市の温泉を利用しているという人も多いと思う。又、そこに行けば知り合いがいて会話できると通っている人も多いのでは。市税を投入していることは、市にとって大きすぎる負担だと思う。では、温泉を集約し、週一とかで各地域に無料バスを出して送迎するとか、市民の健康増進に何か方法がないかと思う
- ・娯楽が少ない横手で、朝に鶴ヶ池荘のお風呂に行くのは楽しみの一つでした。再開してほしいです
- ・公共で行う温泉施設事業経営で、利益を計上して行うことは困難ではないかと思う。地域において、オールシーズンの経営・利用者確保が困難。資料を見ると、経費・年間 2.5 億、そんなに多い金額ではないと思う。(市民の健康増進費、いこいの場提供経費としては?)。温泉事業は経費がかかる。まず湯の処理。湯湯設備のメンテナンス等
- ・ゆっふる、鶴ヶ池、無くならないでほしいです
- ・いこいの場がなく、とんだり遠くへ出かける事もあるが、横手にも一個位あっても良いのではと思う
- ・温泉は家庭の風呂より気分が良い。なんともうれしいことですが、自分の年齢も考えると、自分で運転し、この後何年往復できるか心配です。ましてや冬場は考えます。すべてコロナが影響して利用客が減少したのが要因だと思い残念です。また、建物の年数も経ち、再建するとなると、莫大な費用もかかる事と思います。それに人件費もかかる。あれこれ先々考えるときりがありません。市でかかえる問題、沢山あると思います。それにはお金がかかる事、東西南北に考えて、4施設でなくても3つでもいいです。宿泊設備もつかなくていい、日帰り温泉でもありがたいと思います。(グダグダ並べましてすみません。子育て、孫育て終わればこそ、温泉に行こうかという年齢になる。若い人はそれどころではないですよ。ね。) 近年では家庭に作った風呂の方がすばらしいです。オラの年令の風呂は、すきま風がヒューヒュー、タオルはカチカチです
- ・公共温泉は身近に利用できるからこそ公共であって、現在の姿は残念である(利用したくても利用できない)。そのため、行政で一元的に施設運営に携わるべきと思う。身の丈にあった施設運営で、サービス等、色々工夫して経費節減に努めて存続してもらいたい。廃止してしまえば、二度と復活はできないと思う。地域の魅力がどんどんなくなってしまう

- ・温泉は市民にとって、やすらぎの場所であるし、心も体もあたたまります。地域に利用者がある限り、たくさんの方が利用しやすいように、料金や衛生面（あまり古い建物は集客率が低いと思う）等を考えて経営してほしい。利用客を増やして経営難をのりきってほしいと思う
- ・施設が少ないと一か所に人が集まり、快適に利用できなくなる
- ・特に老人にとっては、温泉が生きがいという方が多いと思うので、なるべく多くの施設を存続する努力はしていただきたい。ただし市の負担により、財政が逼迫するとなると、何か収入増を考えていかなければと思う
- ・必ず宿泊施設とせず、仙南の湯とびあ雁の里のような施設としても良いのでは？スポーツ施設（体育館付）の温泉施設。例として田沢湖スポーツセンターみたいな。一般客 OK とか
- ・どんどん温泉施設がなくなり、とても残念に思います。観光目的や人口増加の意味でも、たくさん温泉があると売りになるとは思いますが、現状行ける場所もなくなり、他市町村へ流れてしまうと思います。ぜひ、市でバックアップし、復活してほしいです！！
- ・私たちの世代では（10代20代）温泉施設を利用する機会がないため、民営化した際のサービスの変化や利用者の声がわからない。温泉経営において、今後も困難であると予想されるのであれば、都市計画再開発に税金を使うべきだと思う。または温泉施設の差別化を図るべきだと思う。地元の温泉に魅力を感じず、他県や市街地の温泉施設の方が充実していると思うことがある
- ・地域の人々にとっては、大事な心の安らぎの場であり年配者のみならず、若い人達も温泉に入りリラックス出来る場所なので、赤字の少ない施設を半分くらい市で経営していくように、他の市の予算から少しずつ削っても維持してもらいたいと思います
- ・民間企業と同じ様に、黒字経営になる様な努力が必要だと考えます。私達の税金から投資しているのであればなおさらです
- ・今はコロナのため利用できない期間が続いていますが、収束したら以前のように温泉を楽しみたいと思っています。気軽に利用できるいいこいの場として、長く利用できる施設であってほしいと願います

- ・高齢なので車の運転もしなくなったので、あまり出歩かないようにしているので、温泉には行かなくなりました。それにコロナも恐ろしいから
- ・市では、建設時は市民の健康等を考え建設したと思うが、赤字になったから全て撤退する、又は廃止すると考える様だが、これは政策の一つと考えれば市の持出しはやむを得ないのではないかと思う。(当然、当初から持出しを考慮するべし)
- ・横手市の人口は減り続けており、高齢化もしています。これまでの温泉を全て維持するのは、客数の減少により難しいかと思います。営業が困難であれば、減らした方が良いでしょう。まず。増田地域に関しては、さわらびかゆーらくのどちらか一つを市の資金にて運営。大森地域は大森健康温泉があるので、さくら荘は休業。ゆっふるは平鹿地域唯一の温泉なので継続。雄物川地域はえがおの丘のみ継続(プールがあるので子供も利用すると思います)雄川荘は赤字なら休業でいいのではないのでしょうか。鶴ヶ池荘は休業。近くに共林荘もあるので、山内地域の方はそちらで足りるかと思います。ゆとりおん、継続。ひとつの地域にひとつ温泉があれば十分かと思います。温泉がなくなっていくのは少しさみしいですけどね。それではお仕事が頑張って下さい
- ・立地条件等集客力のある施設は、入浴・宿泊・宴会以外に、温泉施設を利用した介護関連事業などを取り入れ、しが公共施設として存続することを望む
- ・大広間が狭い所が多い！ 土日祝にイベントがあると、客足も増えるのでは？食堂で手頃の価格の品が数点あればうれしい！ 売店で農家さんの野菜・くだもの・漬物、沢山出してほしい。他の市町村の漬物・菓子なども取り入れてほしい。子供達も楽しめるアニメ・映画・遊具があれば家族で一日中温泉でくつろげるのではないかなあ
- ・毎日利用しているわけではありませんが、停電や災害時など必要がある時、あつて良かったなと思うことがありました。なくなるわけではないと思いますが、長く存続できるような対応を検討してもらえるとありがたいです
- ・公共温泉施設は、2施設ぐらいで充分です。他は維持費をかけなくてもいいと思います。特長を生かした温泉施設を作っていくべきです。例えば、値段が安い。泉質が良い。建物が立派でなくても清潔感がある。産直のお店がある。日帰りのみにする。値段が高くてもお飯がおいしい等々。厳選してほしいと思います
- ・若い人達も利用しやすい温泉があればいいなと思う。(Wi-Fiなどで)

- ・朝日が丘に住んでいます。町内の行事や、グループでの集まり、家族で行ったり、とても近くに有り行きやすい所でした。年齢も高くなるにつれ、車で行く所へは中々行くことが出来ません。ウェルネスがなくなってから、町内でもとても困っています。集会する所がありません。出来ましたら、又再開していただきたくお願いいたします
- ・市としては大変でしょうが、公共温泉が一つもないと、年齢とともに寂しく思います
- ・私は仕事が終わると「ゆっふる」を多く利用しています。朝、仕事をし朝風呂に入り、ゆっくりするのがストレス解消になります。その後の休憩所での素との景色、本当に大好きです。コロナで休止の時はほんとうに残念でした。どうかこれからも続けてもらいたいです。窓からのりんごの花、ほんとうにいやされます
- ・温泉は憩いの場であると同時に、農閑期などみんなが集まり、地域の情報交換でもありではないでしょうか？
- ・市で補助金を出すのは、企業の努力するという取り組みを駄目にする。競争があつての会社だと思ふし、赤字でも補助金が助けてくれるという思いにつながりかねない。最新の設備を市民に提供する事が大事であると思ふ。温泉施設を集約すべきだと思ふ
- ・温泉と老人施設の併用をするといいと思います。秋田県内の温泉あちこちに行き利用していますが、場所によっては対応の悪さが目立ちます。リピーターになるためには受付のスタッフの教育が必要だと思います。もっと利用してる方を大事にする事が必要だと思います。今はコロナ感染拡大して、利用者が減っているのかもしれませんが・・・リピーター目指して努力すべきだと思います
- ・健康増進。コミュニケーションの場。情報収集。大雄温泉は源泉 100%かけ流しで、近場になく温泉である。身の丈に合った施設数とは？市の独断の考えでは？
- ・温泉プラス、カフェ、スイーツ、ラーメン等目玉的な提案。ガレッジセールなどのイベント。温泉コンサート。残してほしい温泉、あいのの温泉。渡り廊下の時代から、家族で通っていましたし、祖母は毎年湯治に行っていました。温泉はとても効いて良かったです。花火も楽しみでした。コロナでなかなか思うように行動できなく、大変だとは思いますが…若い人を呼べる、インスタ映えですか、今はやりの

- ・温泉が大好きで、定期的にお気に入りの施設へ足を運んでいましたが、休業となり、他の温泉施設へ足を運ぶことも考えましたが、距離や料金、利用しやすさを悩んでしまい、お気に入りの施設が休業してからは他の施設へも行っていません。経営の事を言われると何とも出来ませんが、休業となってしまった温泉施設が復活してくれれば幸いです。どこも歴史のある温泉施設なので、完全に無くなってしまうのはとても悲しいです。コロナ禍でなければ休業にならなくても良かったのでは…と。他にも沢山の素晴らしい温泉施設はありますが、私個人は休業してしまった温泉施設が大好きだったので、何か良い対策が出来れば良いなと思います。温泉とサウナが大好きで行けるときは必ず行ってた自分に、温泉のアンケートが届いて正直嬉しかったです。休業してしまった温泉施設のファンだという事を伝えられて感謝しております
- ・大きなりんごがシンボル。県内でも馬鞍りんごは私個人的自慢なのですが、そして大好きなゆっふる。親子5世代に渡ってお世話になっているのです。しかし、コロナ禍においては仕方ありません。行きたくても行けません。娘達、親戚達は来れません。この時において、商工労働課で立派な資料を作って市民にアンケートとは、残念です。孫の大好きなりんごのシンボルゆっふるをなくしたりしないしてほしいです。コロナ禍、馬鞍りんごも1つも食べられず、送ることも出来ませんでした。コロナが終了したら、夏・冬一か月ずつ利用したいと思います。何とか頑張ってください。(市民入浴券作ってもらっていく様など、いろいろアイデアを出してがんばってください)
- ・横手市民としては、山内の施設を開いてほしいです
- ・市外から横手に引っ越して来た時、温泉がたくさんあるので利用するのが楽しみでした。(今は感染症のことであまり利用できていませんが)。温泉施設は古くても、きれいでもなくても魅力があります。お年寄りのくつろぐ姿やちびっこがはしゃぐ様子を見るのも、とても好きです。民間へのシフトが行われるにしても、経営難でなくなってしまうのはさびしいので、残ってほしいというのが希望です
- ・横手市民として、市が経営する努力が見えません。譲渡して赤字を少なくする事は必要かもしれませんが、その前に一般企業と同じ様に色々と経営のアイデアを募集・集客する事に頑張っている姿が見えない為…施設がなくなるのが残念です
- ・転勤族で市外より来たが、市内の温泉の情報が少なすぎる。市のHPでは情報が少なすぎる。民間で競争を激しくさせるか、利益が出ない所は廃止もやむを得ないと思う

- ・金を払ったからと、シャワーを出しっぱなしで 20 分以上も洗い場を使う老人が多い。さくら荘やゆとりおん大雄のように、シャワーが出しっぱなしになるカランは取り替えるべき。彼らにコストという意識はなく、最大限増長する。人口減がまぬがれない以上、ある意味ぜいたく品である温泉施設は切り捨てていくべき。大市長は問責可決の件で、何も責任を取っていない。やってることは、あいさつとお願いだけ。犬でもできる
- ・ゆっふるはよく利用しています。前はマッサージのお風呂があったのに、いまはなくなって、少し残念です。他の点はとてもいいと思います。ごはん はなまる。休憩 ◎。職員さん はなまる。トイレ ◎。おみやげ ○。宿泊 ◎。これからもよりよくなるよう、よろしく願います。大さん
- ・私達お年寄りにとっては一番の楽しみと言えど何より、公共温泉施設が無くなることは一番ショックなことです！！ 特にゆっふると鶴ヶ池荘が休業した時には、一番の不幸でした！！残念です。今はコロナコロナで、自由に外出も出来ない状態ですが、県外からのお友達とか、4～5年前に鶴ヶ池荘にお泊りしたり。県外からのお友達も初めて鶴ヶ池荘に泊まり、感動して喜んで帰ったのが今でも記憶に残って、頭から離れないです！！窓からの鶴ヶ池の眺望もきれいで、心もゆっくり落ち着けて、春には鶴ヶ池の周りの桜もきれいで見事でしたね！！鶴ヶ池荘が休業、残念でなりません
- ・子育てしている頃は、横手市内や山内や大雄等、身近な温泉に家族で度々行っておりました。値段も手頃で、仕事の疲れも取れ、精神的にもリフレッシュできました。今は息子達と住んでおり、6人家族です。孫達とも一緒に地元の温泉を楽しみたいと思っていますが、身近な所に手軽な温泉が減ってきている現状です。温泉は家族団らんのある場であると共に、地域の方々とのふれあいの場でもあります。身近な娯楽である温泉を、後世に残して欲しいと思います。温泉を活用して魅力のある横手作りを考えてはどうでしょうか。(移住の促進、若者の定住。産業、農業、観光等)
- ・①温泉施設については市民の健康やコミュニケーションの場として必ず必要であると思います。②各地区（増田・山内・雄物川・大森・平鹿・横手）6つは等しく公平に施設を分配、有効利用して欲しい！又、援助して欲しい。③旧横手市で考えると、今ある施設が遠い。なぜウェルネスや秋田横手温泉等で援助出来ないか ④旧横手市には現在（横手地域）市の温泉施設がないのでホテルウェルネス横手路かテトラリゾート秋田横手温泉を市営施設として利用出来ないものか？

- ・鶴ヶ池荘、よく利用していました。コロナで行けなくなりましたが、休館してしまいとても残念です。(山内の道の駅とセットで利用しやすかった) コロナが落ち着いたらまた行きたいので、再開してほしいです
- ・温泉施設は息抜きにもなります。他の方々との触れ合いの場にもなります。しかしコロナのため、その機会が無くなりつつあります。経営は大変だと思いますが、なんとか頑張ってもらいたいものです。またいつか気にせず行ける日を楽しみにしております
- ・温泉は好きなので、よく利用しておりました。しかし、コロナ感染が流行した後は一度も利用できずにおります。温泉をどうこうする前に、コロナ対策に力を入れるべきと思います
- ・私は数年前に由利本荘市から横手市へと引っ越してきました。地元でいた時から日帰り温泉に行くのが好きで、よく一人で行ったり、友達で行ったりしていました。市で経営している施設はもちろん、民間施設も…。引っ越して来てからも、ウェルネスや鶴ヶ池荘にもよく一人で行ったり、友達や義母等と行きます。ここ一年以上は足のケガで行けてませんが、雪がとけたら行きたいですね
- ・大変だとは思いますが、入湯料は 400 円か 450 円で頑張ってもらいたい
- ・温泉愛好家もたくさんいると聞いております。高齢化社会の現在では、これからの理想的な経営や利用者の増加は見込めないと思われれます。このまま手を拱いては、廃れる一方で、例えば現在運営されている施設で、比較的利用者が多く利便の良い施設を存続させていくなど、財政面も関係することではと思いますが、抜本的な改革が必要と思います
- ・市営温泉施設を 1 施設にして、そこへ運営継続出来る様にしてはどうでしょうか？
- ・3 施設の運営を廃止して、その分をこれからの若い世代に投資してほしい。農業する人の育成 農業体験施設とか。子育て世代が子育てしやすい環境作り。横手に住みたいと思わせる取り組みなど。若い世代が利用したいと思う施設。自然とふれあえる場所？キャンプ場と温泉？ コロナの茶番のせいで行動に制限をかけられ、おかしい世の中です。たくさんの矛盾に気付く人が増えるといいです
- ・行ったことがないのでわかりません

- ・たくさん温泉施設があるのに本当にもったいないといつも思います。利用者がもっと気軽に行けるよう、料金の見直しや利用者が求めているものがそれぞれあると思います。全て叶うわけではなく、そこに行きつくまでにはかなりの時間がかかるとは思いますが、市民に愛される温泉施設が増えれば横手市の新たな PR にもなるのでは？それを活かした活動もできるのではないかと思います。横手市の色々な取り組み、素晴らしいと思います。が、興味ある人しか集まらない（言い方悪いですが…）。温泉も好みはあるだろうけど、年齢問わず行ける場所、特別なサービスよりも料金が安く、加えて言えば安くておいしい、自宅で食べるような夕飯を済ませられるような施設があればと思う時があります。昔は子供を連れて、いつも利用してました。それが再現出来たなら、今度は孫を連れて利用したいと思います
- ・今では温泉もほとんどなくなり、昔行っていた頃がなつかしいです。今行くとしたらゆうゆうですが、それは横手市とは関係なくて、みんなが行くのはゆっふるみたいですね。横手のたのしみも温泉なので、いくらでも安く？温泉の場所がなくならないようにしてほしいです！
- ・税金は有効に公平に使ってもらいたい。温泉はもちろん、自宅での入浴も出来ない介護が必要な方へ支援するような取り組みをする方が良いと思う。平鹿町でも、ゆっふるまでは遠くて、行こうと思わないので一度しか行ったことがありません
- ・温泉の利用客の年々大幅な減少を見ても、市営温泉施設が全て赤字というのもうなずけます。再度、民間への施設の譲渡を目指しているようですが、何か所か譲渡出来た場合は、残った他の施設は廃止とし、6施設共譲渡出来なかった場合は、施設の立地条件・施設の充実度を勘案して1～2か所を存続し、その他の施設はやむなく廃止すべきだと思います。温泉好きの方には申し訳ないのですが、民営の施設もそこそこありますので…
- ・温泉施設があっても、きれいに保たれていなかったり、料金が高かったりすると行きたくてもなかなか足が向かない。施設の衛生面や料金なども利用しやすいよう考えてほしいです
- ・とても寂しい思いをしております。温泉は秋田横手の風物だと思っております。かんぽの湯の温泉が大好きでしたが、残念でなりません。もったいないです。なんとかしていただけないでしょうか。お願い致します

- ・ ゆうらくは、遠くても体調を整えによく行っていたが、休館していると聞き残念です。20代～30代はあまり温泉を利用しない気がします、気をつかわずゆっくと休むことができる場所はとても貴重です。温泉の質が良い所は、今後もあってほしいと思います
- ・ 譲渡したものを、無理なので返します～いいですよ。お金あるので～。民間では考えられません。異常です。子どもでも分かります。方針に基づくならば3施設は即廃止です。市民会館や体育館の建設、高所得者への子育て給付、温泉の件など、人として普通の考えとはとても思えません。恐ろしいです。市長には、心を入れ替えて一般市民に目を向けて、誠実に考え正しく行動してほしいと思います
- ・ 温泉はなくさないで下さい
- ・ 私は横手市に住んでおり、30代の子育て世代です。該当の温泉施設へはほとんど行ったことがありません。ですが、利用してみたいとは思いますが、市が負担している経費が大きすぎなければ、ある程度の施設は継続してもらいたいと思います。それは自分達ではなく、頻繁に利用をしているであろう高齢者であったり、生活に必要な方々の為です。10代～30代が利用したいと思える施設かなと考えると、そうではないのかなと現時点で思います。市が運営しようが、民間がしようが、魅力がなければまたいずれ同じような状況になってしまうのだらうなと思っています。客層が少ない年代にも焦点を当て、改善策を打ち出してくれる専門的知識のある方に聞く等…そもそも、これからも存続しなければ意味がないし、気軽に足を運べるように、名物を売りにしたり、足湯等で県外の観光者もターゲットにするなど、いずれにしても経営の仕方も共に考えるべきかと思っています
- ・ 入浴者が運営費を補てんするべき。市の税を使うべきでない。赤字なら必要ないということ。市民が必要なら使用して黒字になるはず。約42億円も投入し、これからもずう～っと続けるのですか？ほほう～
- ・ 経営・マネジメントに自信が持てないのであればやめるべきだ。苦勞して納付した税金は有効に使ってほしい
- ・ 市営施設と返還施設については、県外に売却する考えはないだろうか。市営として運営するための目的や必要性がないのであれば、市税を使ってやるよりも、手放した方がいいと思う
- ・ 市内の温泉施設の存続を強く望みます

- ・コロナのため、ここ2年くらいは温泉に行っていません。早くもとの生活に戻って、気楽に温泉を楽しめるようになってほしいと思います
- ・人口減少・高齢化が加速している中、各家庭に風呂があり膨大な経費をかけ、市で温泉施設を運営する必要がありません。民間の施設がいくつかあるので、希望する人はそちらを利用してもらえばいいと思います。費用対効果を考えれば、答えは歴然です
- ・温泉は大好きなので、地元の温泉施設が次々と休館となり残念でなりません。ただ、運営していくには大変な費用がかかり、赤字が増えると市の財政にも大きな負担になる事を考えると、無理をして存続させていくこともどうかと思います。コロナ終息後は、できれば再開してほしいですが、施設数は少なくとも市営では数をしぼって、その分集客が黒字にできるような経営努力をしてほしいかなと思います
- ・私は県北から嫁いできました。鶴ヶ池の温泉があった時にはよく利用させていただいていました。実家の母が横手にあそびに来た際も連れて行っていました。やはり、料金面でも利用しやすかったです。再開してほしいと願っています
- ・高齢者の割引券を頂き、とっても助かっています。この制度が継続して下さる様をお願いします
- ・鶴ヶ池は車でのアクセスもいいし、景観もいいところに建っていると思うので、廃墟になるのは勿体ないと思う。旅館としてではなく、シェアハウスみたいに一般住宅として住ませるとか、都会の人向けに見に別荘的に一部屋貸すとか。街から農業体験とか冬の除雪要員のための宿にしたり。どっかの自治体の林間・保養施設として、旅行・研修受け入れるとか。解体してキャンプ場とか。旅・移動が自由にできる時代ではないので、今すぐ黒字転換する方法は難しいと思うが
- ・最近ではコロナで行きたく、もっぱら自粛して行きませんでした。収束したら又、温泉に入り身も心もゆっくりしたいと思っています
- ・このご時世で、利用者が減って大変かとは思いますが、市民の皆様にとっても、私にとっても温泉施設は必要不可欠だと思っています。身も心も癒されます。今は子供が小さいのでなかなか行けずにいますが、おむつが外れたら一緒に行きたいと考えています。職員の皆様にとっても、市民の皆様にとっても、良い方向に進みますように

- ・温泉は身も心も暖まります。気軽に立ち寄れる日帰り温泉が身近にあるというのは、大変ありがたい存在でした。無くなってしまうのは、心もとないです。何とか、補助金を導入してでも存続させることはできないでしょうか。コロナが落ち着いたら、もっとひんぱんに利用したいです
- ・市に1つの温泉は残したい。市民のためにも、帰省する人たちのためにも。税金をかけても。プール、温泉、運動施設か娯楽施設が、コンパクトにまとまった場所にあるように運営した方が、市民、帰省客、観光客が利用しやすく、利益が出るのではないかと
- ・昔、利用した「湯ノ平温泉」の復活を望みます
- ・コロナを機に、秋田県内の色んな温泉施設に出向くことが多かった中で、リピーターになった所があります。お友達同士のクチコミやSNSのクチコミもポイントになりましたが、どちらにも共通した決め手は料理でした。高くてもおいしいものは当然でしょうが、2度3度と行きたくなるにはリーズナブルなお値段ということも大きなポイントになると思います。・象潟のさんねむ温泉・三種の森岳温泉ホテルです。どちらも温泉はそんなに大きくないのですが、夕食は素晴らしいです。特に森岳ホテルは、ほとんどのお客様が夕食は焼肉を選んでおり、これなら山間部の横手でも、喜んで頂ける場所になるのでは？と思ったものです。温泉は必要です。温泉+観光で元気な横手にして欲しい。しばらくの間だけでも、市で日帰り温泉だけでも復活させて欲しいです。阿仁合駅の様子にオーナー制にしてつのもいいでしょうし、どうにかしてやって頂きたいです
- ・地域の施設がなくなれば、さらに過疎化が進みます。まして温泉施設は地域の集りの場所です。民間の会社が経営して地域に人が集まるのは良いことだと思います
- ・今後、高齢化が進む中で、温泉施設は高齢者の憩いの場の1つと思います。高齢者の楽しみである温泉が減って行くことは残念に思っています
- ・私は温泉が大好きです。しかし、コロナ禍において、全くといって温泉施設には行けなくなってしまいました。いろいろな考えがあるとは思いますが、今ある施設数は少ないと思います。まして税金まで投入して、施設を維持する類のものではない気がします。周りには民間も含めて温泉がありますし、不便さを感じないと思います。市の財政としても、もっと別な所に予算をもってほしい場所がたくさんあると考えます

- ・そもそも赤字だから、民間譲渡と提案すること自体おかしい。例えるなら、腐ったものを加工すれば食べれると思うと言って、他人にあげますか？　そして赤字になったから返還できるなら赤字経営のまま大丈夫ですよね？　そこで働いてる人の事も考えての譲渡なのかも疑問です。働いてる人も市民です。市民の雇用を守らないで、譲渡に固執する理由は何なのか？　まずは安月給で働かされた自分だと考えるべき。譲渡より、市民をもっと減らさず増やせるように考えるのが先では？
- ・市営温泉について、財政的に厳しいのであれば、民間温泉施設に補助金を出し、利用しやすくするのはどうか？公共温泉は縮小する
- ・宿泊施設を旅行感覚で、定期的に移動できる老人ホームとして利用する。県内外の交換交流会で温泉めぐりがあると楽しみがあって良い。ご当地者の利用日時を仕切っても良い。近親高齢者へのバリアフリー化は、やがて自身への配慮だったことを、年と共に気付かされている。超高齢者の母、慣れない土地で暮らすことになった夫、寒い冬の唯一の楽しみの温泉。ランニングコストがかさまない為の増築ではない減築、営業を冬季に限定など、細くても長い存続の道を願う
- ・現在、比較的近場で利用しやすい温泉施設が旧市内において少なくなってしまう、1回入浴するのに1000円前後かかるとなれば、利用したくてもなかなか利用できません。公共施設の役割は、こうした一般低所得層のためにも、低料金で利用できることにあるはずです。かつて、市の文化・スポーツ環境は大変すばらしくて、市民の心を潤していた市民プール、スキー場などあって、とても賑わっていました。今回の温泉施設を含め、次々と消失していくのを見るにつけ、とても残念です。小さい子を持つ親たちは、遊ばせるために群市外まで足を延ばしているようです。(アンケート項目外ですが)真に文化豊かな市政がなされていくことを切に望みます
- ・公共温泉に高額な補助金が投入されている事におどろきました。たしかに温泉は良いものです。でも、利用する方も右下がり、行きたければ民間で良いのではないのでしょうか。設備費、改修費もかさむ事です。民間を利用した時に、クーポン券でも年令に応じて補助した方が賛成です。税金です。税金を一番支払っている若い世代に、又は除雪・水道等インフラに使ってもらいたいです
- ・魅力を高めて、交流人口増加につなげるべきだと思う。民営化で成功した例はなく、単なる財政負担削減策でしかない。市の魅力をこれらの施設を利用して、いかに高めるべきか、前向きな検討を行うべきだと思う

- 年輩になると、温泉だけが楽しみという人も少なくないと思う。こんなご時世(コロナ禍)なので皆控えてますが、地元の温泉に入りたいという人は沢山います。温泉施設が1つでも無くなると、淋しくなります。運営継続には金銭がからむので難しいだろうが、楽しみにしている人達をポジティブな考え方で行動していただけたら幸いです。あと、65才(?)以上の希望する市民に、半額券を配布下さることに感謝しています
- 昔から温泉が好きなので、子供も大好きなので、出来れば営業を続けられるよう努めてほしい
- 鶴ヶ池荘は、料金・設備も気に入って特に主人は、週1回は利用しておりました。利用できなくなってからは、ゆうゆうプラザに行きましたが、700円です。2人で行くと1400円。年金暮らしの私達は、たびたび行けなくなり、今は温泉行くのが遠のいております。いろいろ事情あるのは分かりますが、鶴ヶ池荘が又復活してくれたら嬉しいと、主人と話しております
- 全ての温泉は、なくしてもらいたくありません。温泉は癒しの場所と、心と体のいやし場所です。できるならばすべての温泉がなくなれば淋しいです。出来るならば稼働してもらいたいです。高齢になれば、行く場所がありませんし、特に冬場は大変困ります。凍結時は温泉に限りますし、あるだけで助かっています。今後共、頑張っけて続けて頂きたいです。お願いします
- 民間への譲渡を最優先にし、旧市町村単位に2施設ある場合はどちらか一方にする
- なんとか続ける方法を考えて続けてほしい。とまりはやめるとか。入浴料をあげるとか。日にちを短くするとか
- 現在、コロナで行ける回数は少ないですが、あまりにも温泉施設が少なすぎて残念です。活気がなく感じます。横手市の人口も減ってきているので、全部の施設の運営は厳しいと思いますが…
- Q6でも書きましたが、温泉事業・施設他を、今後どのようにしたいのかわからない。市・市長の無策、民間業者の計画の甘さ。これでは地域・市民の方々が振り回されるだけ。正直横手の温泉施設(公共・民間どちらも)に魅力がない!活気がない!これはコロナ前からです。公共の温泉施設は、「やる」なら「やる」、「やめる」なら「やめる」決断する時だと思えます

- ・市営でも民営でも良いが、もっと生き活きた場所になるよう、知恵をしぼり、再利用できると良い

案1) 入湯料を0円として、人を呼び込むことで活性化を図り、利益を生む方法があるのではないかと。例) 秋田ふるさと村のような…

案2) 1人暮らしのこの土地での今後の暮らしを考えた時、老人シェアハウスのような場所が欲しい。冬の雪寄せや雪降ろし、暖房費の高騰などの不安材料がなくなる場所を必要としている。新たに建築しなくても、今の温泉施設を利用してリノベーションできないだろうか。

温泉付、食事付、最高！！
- ・横手周辺の施設にいくら市で助成しても、限られた少ない人口の為、又、みんなが温泉に行く常習性があるわけでもないのに、いくら頑張って助成金を使っても、黒字経営にはならないと思います。…いくらお金をかけても無駄と？ 思います
- ・1つの地域で1つの温泉施設は絶対に残してほしいです。個人の希望なのですが、祖母はゆとりおん大雄を、毎週のように地域の仲間と一緒に使用しています。生きがいになっているため、ぜひ各地域に残してほしいです。よろしくお願ひいたします
- ・各地域に1か所は必要と考えます。温泉施設に行くと、10代20代の方も多く見られます。みなさん、リラックスできる場所を求めているのではないのでしょうか？
- ・横手市をふるさととする人が帰省などする際に、温泉施設に宿泊する機会があります。その際に、鶴ヶ池荘など、宿泊可能な施設は1つでもいいですから残してほしいと思います
- ・若い人は遠くにでも行くことができるが、高齢者の方は近くの温泉を利用するかもしれない。近すぎて知っている人に会うという思いがあり、利用しない。市外へ行くことが多い。高齢者を考えるとあった方がいいと思うが、どのくらい利用しているのか？ 人数がわからないので、少なければ2, 3の施設を無くしてもよいと思う
- ・気軽に行ける温泉が少なくなり、それにともない温泉自体に行くことが少なくなりました。本当は温泉に行きたいと思っています。気軽に行けるよう整備をととのえてほしいです

- ・①長期の無利子融資で支援の上、施設内外のリニューアルをし、入湯税・固定資産税を当面免除し、顧客の確保に努めるべき。②総ての施設が第三セクターと思われる。なんで経営不振になったのか？多方面からの意見を聞いて再検討すべき。③年功序列の時代ではない、努力してもしなくても決まった給料ではなく、頑張れば頑張っただけ給料・ボーナスが貰えると言える指導者・経営者が必要(欲しい)
- ・利用料金が少しでも下がるよう、市で補助してくれれば利用率が高まると思う
- ・Q8 について。経営上にて業績が黒字傾向であれば、半分もしくは 2/3, 経費の一部負担でも可能と考えており記載してます。◎市の判断によりと思います
- ・コロナ前は毎週夫婦で温泉に行くのが楽しみでした。近くに安くていろんな温泉があるのはうれしいことです。コロナがおちついたら又出かけたいたいと思っています
- ・入浴者数の推移、高齢化、市の財政等を考えると、民営化にむけて取り組んだ方が良いと思います。いろいろな意見があるとは思いますが、時代の流れを考えると、いたし方ないと思います
- ・横手市内に住んでいます。近場に安い料金で利用できる所があれば行きたいと思っています
- ・友達と話せる場所、くつろぐ場所がほしい。主人は農作業のあと疲れをとるため毎日のように行っています。同級生は冬になると足、腰がいたいので毎日利用しています。ゆとりおん大雄を主に利用しています
- ・確実に人口減になっている状況で、赤字経営が続いている施設に対する経費の負担は、市の財政に大きな損失を与えることになり、色々なサービス等に影響が出ると思われます。負担が大きい施設は休業することが望ましいと思います。
- ・どの公共温泉も「よいお湯」なので、残してほしいです。コロナ禍という事もあり、経営が難しいと思いますが、横手の観光の一つとして取り組んでいただきたいです。「よいお湯 (温泉)」がもったいないです
- ・コロナ前は毎日温泉を楽しんでいました。年よりの楽しみが無くなるのも淋しいですが、全てに何億円もかけられないとも思います

- ・温泉大好きです。コロナ禍でめっきり温泉に出かける回数が減りました。それ以前は、月に3～4回は行ってましたが…。ただ、年齢と生活水準が変わり、市営でも通う回数を減らさざるを得なくなり、合わせて人との接触を避けている昨今、市の投入が生活に直結する事を望むようになりました。大好きな温泉をがまんして少しでも生活費へ回したい。でも、たまには手頃な値段で入れる温泉で癒やされたい。…なので、少しは残して欲しいです。人口も減り、市の財政も大変だと存じます。温泉に行かない人にしてみれば、温泉は贅沢な施設に過ぎませんが、源泉は横手の宝だと思っております。何とかこの宝を有効活用できないものか…。青森県も温泉の宝庫で、公営浴場が多いそうですね。家のお風呂には入らず、毎日浴場に入っている人もいますか。家庭風呂で使う水道代と温泉の入浴代、温泉までの移動距離と移動手段等々、温泉がもっと身近なものであって欲しいと願う一市民のつぶやきでした
- ・一度売却したものを、再度市の負担で買い戻し、市が経営するのであれば最初から売却しなければ良かった。税金の二重払である。今後は源泉を活かして、移住者や起業する人を募集など、地元の企業はあてにしない方が良い。源泉の個人宅や介護施設等への宅配に活用できないか
- ・温泉に関するデータが見やすく分かりやすかった
- ・横手市は市民の税金が高く、必要な経費を抑えることが重要と考えます。むだな出費をせず市民が暮らしやすい市になるようにつとめる必要があると思う。又はどうしても必要ならば、中心地に大きく1ヶ所にレジャー施設としてまとめてもよいのでは？
- ・民営化しても黒字化は難しい
- ・私が子供の頃は両親が、祖父母と私達兄妹をよく、山内の温泉にドライブがてら連れて行ってくれました。温泉好きの祖父母のおかげで私自身も広い温泉に入り、汗を流すことが楽しみでした。大人になってからも温泉好きは変わらず、車にタオルなどを準備しておき、仕事帰りや休みの日は友達と市内の温泉に行っていました。以前はあんなに通っていたのに、結婚後はなかなか幼子を連れて行くことは難しくなり、だんだんと足が遠のいてしまいましたが…今回「温泉に関するデータ」を見て、利用者の減少や施設の維持費を知り、もっと別の方に税金を使うべきだと思いました。とは言え、温泉好きの私としては（子供達が自立した後）無くなってしまうのは大変残念ですので、できたら民間業者の方に引き継いでいただけたら…と切に願います

- ・施設をしぼり、サービスを考えるはどうでしょうか。マイクロバスで客数を増やしてはどうでしょうか。（高齢者は足がないので）
- ・全国的に、今コロナの影響で経済が落ち込んでいる今、市町村の行政の支援がかかせないと思います。早くコロナが収束することを願っています。活性化の為に！
- ・温泉施設は貴重であり、全て休館になるのは避けてほしい。利用する人が分散しないようにしたら良いと思う
- ・旧市内に温泉施設がないのは非常にさびしいです。スキー場もなくなり、横手公園も手入れがされてなくながっかり
- ・温泉にお金を使うことは反対です。今までの間、市がお金を投入しても良くなならない温泉は、自力で営業できる事業者にも買ってもらい、市としていちばん考えてもらいたいのは、子供、若い人たちに魅力的な町づくりとして、冬だったらスキー場とか、夏だったらプールとか、そういう中で子供を育てたら、地元に残ってくれる人が多くなると思います。孫たちが遊びに来ても何もないなあと思うし、これまであったスキー場、プールどうして止めたのですか。お金がかかるからですか？ 雪国にいて、スキーで遊べないなんて考えられません。横手中心地に何もないなんて、これは大変大きな問題だと感じます。お金の使い方を考えて下さい
- ・今はコロナ禍で自粛していますが、コロナが収束したら温泉が好きなのでまた利用したいと思っています。市民に定期的に割引券を配布してもらえれば嬉しいです
- ・休館中の温泉施設は早く再開するべきだと思う。横手市内外からも、休館中の温泉施設に来られてた方がたくさんいらっしゃったと思う。今まで、その温泉施設を楽しみに来てくれていた方たちが来なくなり、横手市には集客できる施設がなくなってしまった、ということは、どんどん来訪者が減りさびれていく一方だと思う。駅東口の開発も良いと思うが、既存の休館している温泉施設をもっと有効活用して頂きたい。民間事業者より返還された施設を市の方でなんとか再開できるよう考えて頂きたい。民営化だけが全てではないと思うので…
- ・同一地域に二ヶ所はいらない。古い方のゆーらくは廃止すべき。鶴ヶ池荘の泉質はいいので存続すべき。ただし、修繕は必要である

- ・前にあったものが無くなる。寂しいですね。利益の出ぬものは切る。雪国に住んで、気軽に身近な温泉を楽しむことが贅沢な時代になったのでしょうか？
- ・今はコロナ禍で温泉に行くのを我慢しておりますが、コロナが落ち着いたら温泉に行きたいと思います。近くの公共温泉がなくなってしまったら、たいへん困りますので、どうか継続をお願い致します
- ・近くの温泉でリラックスできる時間を持ちたいです
- ・近場の温泉は高齢者の楽しみです。市の温泉は安価で利用でき、年金生活者にとって必要ですので、どうぞよろしくお願い致します
- ・市が運営するしないよりも、その施設がその地域に必要なかどうかの見極めが重要なのでは？ ただ重要性が高くても、マイナス経営になる事までするようであれば、それは経営とは言えないと思う。どちらの見極め出来ないのであれば、もともと経営に向いてないと思うので、市が経営者きどりになる事はやめれば良いと思う
- ・全ての施設を日帰り温泉として継続すべき。健康増進の為であり、福利厚生予算措置で対処すべき
- ・少子高齢化という現状のなか、高齢者の憩いの場、コミュニケーションの場として温泉施設等があった方が癒やされると思うので、続けていく施設もあっていいと思いますし、やはり経済的に厳しいところはどう変えていくのか考えて、もっと高齢者の憩いの場を無くさないようお願い致します
- ・今ある施設が無くなることは望んでいません。人口減少、コロナ禍でもある今、地域を活性させるためにもあって欲しいです。地域の人を楽しむ施設が少なくなりすぎてしまうのも、今後横手市に残りたいと思う人も少なくなってしまうのではないのでしょうか？ ただ、民営化になった施設に行くのと民営化になってからの方が色々取り組んでいたり、以前より行くようになったのも事実です。接客の面でも市の施設の方が接客や取り組み面ではマイナスだと思います。特にゆっぷるは料金が少し高くなった分、何かで補った方がお客は増えると思います。高くなると行く回数はもちろん減りますし、若い人、子育て世代が行きやすくする（ポイントなど）、何かしら取り組むべきだと思います
- ・温泉付きマンションか更地にして売却する

- ・横手にもっともっと、自由気軽に入れる温泉が欲しいです。サウナも欲しいです。他町村にはたくさんあるのに～。みんな横手市外へ行ってしまう
- ・温泉施設は必要だと思います。家庭の風呂と違い広くて心が安まり、ゆっくり出来るしスチームなど家庭ではないですし、家の中ではあまり動かないし、温泉に入れば気分転換にもなるからです
- ・市が施設を運営するのであれば、利用度を高める工夫、効率を高める工夫、努力が必須だと思います
- ・採算面だけ考えるのではなく、広く高齢者の福祉という観点から考えてほしい。金がかかるから民間に丸投げしてしまうというのは、血の通わない行政だと思う
- ・コロナが流行しない時、3年前は週3回くらい、主に冬だけ温泉歩きでした。コロナで全然行ってないです
- ・縮小再生産の局面であり、施設の数減らしながら利益を上げる必要がある。横手市内に数ヶ所営業する施設を残し、遠隔地から集客するため、バス・タクシー代無料とすべきだ
- ・市が運営に携わることによって、経営する側にも甘えが出てしまうと思う。どんな会社、職業でも生き残るため、雇用を守るため経営者のみならず従業員も必死に働いている。市が携わることで経営する側の成長の妨げになってしまうことはないだろうかと思う
- ・市内に公共温泉施設数は多すぎると思う。各地域住民にとっては、存在するものを無くすることに反対意見はあるのが当然であるので、無くする場合はどのような代替えを提供できるかが問われる。老朽化した設備を民間に譲渡したところで、採算性がないと受け手がいないのは当然と思われる。市が採算を担保することが必要である。温泉廃湯を利用した熱エネルギーとしての活用案
 - ①公共施設等の暖房と融雪
 - ②冬期のハウスへの供給（シイタケ、花、野菜 etc）と融雪利用
 - ③雪と温泉での促成抑制栽培への利用
 etc の二次利用、複合活用での採算性の向上を図る。地元と十分なコミュニケーションを取ることと、様々な有識者等との意見交換をもって、市の大胆な発想の転換により、有効活用すべきと思われる

- ・温泉施設を民間へ譲渡することについて賛成です。しかしながら、必ずしも温泉施設の運営にこだわらないで、温泉が完備している老人施設やリハビリができる施設、スポーツジム、企業誘致などにしてみてはいかがでしょうか。また、温泉源があるのに使わないのはもったいないと思うので、精査したうえで地熱産業ができるのであれば行ってみるなど、市民が有効利用できるようになればいいと思います
- ・市営温泉施設は全て赤字経営であるのに、民間に譲り渡した後、著しく収益が改善されるのはどうしてでしょうか。返還された施設があるとはいえ不思議です。機会があったら教えて下さい。民間の温泉施設でも利用できる、市の「健康づくり入浴サービス券」や「水道の検針票での割引」もあり、譲渡・休館になっても仕方ありませんが、例えば赤字補てん分で「市道〇〇メートル舗装できます」みたいな具体的な市民サービス例を挙げ、分かりやすく説明し理解を得るようになりたいかがでしょうか
- ・人口減少による施設利用度の割合は少なくなり、また施設の保守維持管理には多大な費用がかかる事は必須と感じている。同一地域に複数の施設があつては、経営困難の原因を作るのは当然と感じている。市民の福利向上は確かに必要ではありますが、多大の税金を使用し、結果的に休館となった現実に対し、市の責任の重大さをもっと早く感じ、対応するべきと感じていました。しかし、1件も施設が残らないとなれば、それも残念であります。そのためにも市として、民間企業のノウハウを活用し、1件の施設を再建させるような方向に進むべきと感じています。各地域からの要望等は多く大変かと思いますが、1点に的を絞り込む大胆な施策を実行する事を希望（期待）します
- ・市が温泉施設の赤字を補てんするのはおかしいと思う。他県から引っ越してきましたが、半年ほどたって横手では市の広報誌が来ないと気づき、横手の人に聞いたところ、町内会に入っている人にしか配られないと知りました。転入届を出した際そのようなアナウンスもありませんでした。住民税を払っていてもアパートに住んでいる人には広報誌は届きません。全戸配布はウソです。まずは当たりの事に税金を使って下さい。転勤で何度も引っ越していますが、広報誌が届かない所は初めてで、横手にはあきれています。横手市役所も横手の人々にも共通しているのが、みんなに知らせようと思っていない所です。知っている人が知っていればそれでいいと小さくまとまっています。こんな閉鎖的な地域では、ここに住みたいと外から人は来ません。もっともっとオープンな地域になる様しっかり考えて下さい

- ・超高齢過疎社会で、市の業務でも費用対効果が求められていると思う。公共温泉施設は常連客にとってはなくてはならない施設かもしれないが、その他大勢の市民にとって税金を投入してまで継続する必要はないと思う。雪対策や少子化、雇用等、拡充すべき対策にあててほしい。民間でできるものは民間でやるべき。できないならそれまで。通常時でも赤字、コロナ禍なら更にふくらむだけ。持っているだけで赤字なら普通の家なら契約解除。市はがんばったと思います
- ・アウトドアなどで温泉施設をうまく活用したらいいと思う。例：鶴ヶ池の公園をキャンプサイトにする。その他の温泉施設を近くの広場であったり、空き地を有効活用してみてもいいと思う
- ・税金の有効活用をしましょう！ 赤字を何年も続けている温泉施設はすぐに廃止すべきです。もっともっと市民に大切な事業に回すべきです
- ・ある所の温泉ですが、休けい所が一部のためにあたりまえのように利用して、後で休みたい人がいても休けい所で休めない。休けい所を利用する人の場合は、値段を高くするとか、短期間の利用にするとかして、できるだけ休める人を多くしてほしいと思う。あまりにもなっとくしがたい場所であると思うので、かいぜんしてほしい
- ・高齢者にとって、人とふれあう場所が大切であり、健康面でもとても大事な施設だと思います
- ・毎日のように入浴や会話を楽しみにしている方達のため(特に年配の方達)にも、地域住民の交流の場として施設を存続させてもらいたい
- ・人口の減少、コロナの出現等々、市としては大変な問題やまずみで大変と思われまます。しかし市民の労働後のホッとできる温泉は、大変必要な場所でもあると思います。増田まんが館に多額の税金を投入し、観光のきばくざいとなっていると言う事になってますが、市民でまんが館へ行く人がどれくらいの割合を占めるでしょうか。他県の方々の為でなく、市民の為に税金を使ってほしいと単に思っています。雪深い横手、心身疲れた体を温めてくれるその場所こそ温泉の必要性を感じます。市民にとってまんがは必要ありません！
- ・経営がきびしいのは充分わかります。しかし長い間利用してきた施設がなくなるのは寂しいしもったいない。もっと若い人の意見を聞いて、新しい目線で存続してもらいたいと思います

- ・家族の多くが横手市内の温泉に感じていることは、温泉が横手市の中の 1 つのアイデンティティであることです。個人的には、温泉の入浴を好みませんが、温泉が近くにあり皆が気軽に利用できるという環境をできる限り維持していきたいと考えている人の意見を私の周りでは多く聞きます。しかし、民間の経営となるとやはり運営していくことが難しいと感じる場所も多くあると思います。人口の問題、経営など温泉というサービス業はかなり、人間の気分などに影響される部分が多いと思います。会社経営していたり、サービス業を営んでいた人などが民間で維持していくには必須になることや、改装費用などの初期負担なども考えると、守りたいと思う気持ちがあってもなかなか一歩踏み出したい人が多いのではないかと感じます。そしてこれは難しい問題ですが、コロナウイルスによる利用者の減少の中、市以外でこの状況下で維持していくのは横手市の人口問題含め、難しいものがあると思います。悲しいことですが、民間で維持していくためには、横手市で利用する人口の母数と経営の問題、温泉の数を減らし集約化を図るしかないと思ったのですが、いかんせん、横手市も人間が移動するには掛かるところで車で片道 30 分程掛かる場所もあるため、集積化などと市で運営していく難しさも分からない人間が偉そうなことをぬかしてしまい、すみません。上手くことが運ぶかという分かりませんが
- ・横手市に住んでいる人は、温泉を利用する回数があると思うので、近くに温泉があると便利です。よろしくお願いします
- ・温泉施設に宿泊棟は必要ないと思います。温泉だけで良いのでは。温泉施設がある場所は、町の外れにある場合が多いので、現在人気があるキャンプ場など近くにあれば、地元の人プラスの集客はあるのではないのでしょうか
- ・「オラいぐどごねぐなった」鶴ヶ池温泉が閉館すると知った時の母の言葉である。週末、鶴ヶ池に行き、同級生や顔なじみの皆さんに会いおしゃべりするのが唯一の楽しみだった。そんな母を見て育った私たち娘も今は家族ができ、それぞれそれぞれの家族が同様に温泉を楽しむ趣味をもっている。でも今、母は美郷町の温泉施設へ、私たちは西和賀町へと足を運ぶようになった。行き場を失くした温泉難民たちが市外へ出ていく。市外にお金を落としている。どうか、横手市に市民が集える温泉を!! カムバック 鶴ヶ池荘!
- ・築年数が 20 数年が多いので、内装のリニューアル。湯沢市にある”稲住温泉”のような感じにリニューアルするとか?
- ・休館中の施設は、宿泊は止め日帰り施設だけにすると良いと思う

・お疲れ様です。お世話になっております。地域の貴重な財産だと思っておりますが、市が市民の事を第一に考えた方針に従いたいと思っておりました。このアンケートをいただき、HPを見るまで内容を詳しく知りませんでした。簡単なアンケートだと思っておりましたが、奥深く考えさせられる難しい問題だなと感じました。市の優しさを感じました。例えば譲渡先ですが、周りから認められていながつたり、賛成されていない場合、協力が得られなかったり厳しいと思うので、あいさつや話し合いなどは重要に感じます。内容を詳しく知らない人もいると思うので、絶対温泉をなくさないでほしいという人への対応や方針に反対の方の理由なども含め、何かの形でわかりやすく知ることができるというなと思っておりました。私事で恐縮ですが、温泉が大好きで、毎日でも入りたい人ですが、年齢のせいかな今は精神的にも体力的にも消耗が激しく、いろんな知り合いと会いそうな近場にはまず行きません。癒やしのはずが、逆に気疲れしてしまうようで、今は利用していません。ですが高齢者になったら、温泉送迎などあれば毎回参加していると思っております。まとめ：温泉施設より優先すべきものに予算をまわし、譲渡先の選択を誤らずお任せし、状況に合わせて対応してもらおうのが良さそう。お手伝いできることがあれば協力しますよ～。がんばって下さい

・多額の税金を投入してまで、公共温泉施設を維持する必要はないと思う。既にある民間温泉施設の経営基盤を圧迫することにも繋がることになりかねない。コロナ禍にあつて、民業を圧迫してまで維持する必要があるのか疑問を感じた。むしろ、ここ数年の大雪にもかかわらず、雪捨て場が足りない状況であるのだから、解体して雪捨て場にすることも検討してほしい

・経営に関して、市がサポートしなくても大丈夫な施設は譲渡すればいいと思うし。経営に難があり、今後の未来が危ういのであれば、サポートして市の温泉地向上にすればいい。経営が上手いかわからないのは、市が細かいところまで見ていないから。大きなうみしかみていないのなら、手を出さない方がいい。協力して地域の人、他県の人たちに知ってもらいたいなら、もう少し話し合える場を設けた方がいいのでは？ 笑顔がない、愛想が悪い、対応が悪い、なぜか部屋・物品が汚い、マナーのなつてない客、店員がいる。これを指導するのがオーナー、おかみ、リーダーではなく、周りではないのか？同期や後輩たちからの指導もあつていいのではないのか？ なれてしまえば、たとえ上司でも気が付かないことが、部下やバイトには分かると思う。声を聞き、受け入れ、提供するサービスが最高のおもてなしになると思う。同じこと書いているようですみません。訳わからなければ理解しなくて結構です

・鶴ヶ池荘を再開してほしい

- ・公共団体は民間に比べて経営を見直したり、利益を上げるために工夫したりする努力が貧しいように感じる。今回の施設について、どうであるかは分からないが、公共温泉はやり方によっては地域だけでなく、遠方からも客を呼べる可能性がある。ぜひ経営を見直して「家のお風呂もいいけど、たまには〇〇を利用したい」と思える、特徴ある施設にしてほしい。家族、親類が帰省した折、連れていきたいと思える施設であってほしい
- ・数少ない施設が現在コロナ禍により、閉まってしまった温泉がありますが、今現在残っている温泉施設は、このまま残ってほしいと思います。管理等たいへんではあると思いますが、温泉施設は子供から大人まで、もちろん高齢者まで利用できる楽しみの施設ですので、また温泉で初めて出会った方や、何回か利用させていただいていると、知らない人との会話もはずみ、何より高齢者にとっては家にいるばかりでなく、憩いの場でもあるので良いことでもあると思います。管理、料金等、人事などいろいろ考えるところはあると思いますが、どうか地域の唯一の場をなくさず温存してほしいと願っております。よろしくお願い致します
- ・昨年の夏、秋田市から横手市へ引っ越してきました。息子も2歳になり、よく温泉へ連れて行くことが楽しみです。横手の良さといえば、自然の豊かさ、人々の優しさだと思います。温泉はその良さを感じられる一つの「武器」であると思います。確かに施設の老朽化や、入浴料金の高騰など、様々な対策はしなければなりません。昨今、人との繋がりなどが薄くなってきた世の中で、「温泉」という場所でコミュニケーションを蜜にとれる貴重な場所ではないでしょうか。せっかくの秋田（横手）の良さである貴重な資源と文化を無くしていくのは非常にもったいないと思います。世代がつなげてきた良さと文化を伝えていくにも、今後皆で話合わなければいけない時期になっていると感じます。ぜひとも全ての施設において、市民が全員安心してホッとできる、そのような運営をしてほしいと思います

- ・ゆっぶるをよく利用しております。近所に住む方が、ほぼ毎日利用しているそうです。入浴料は多少上げて良いと思います
- ・人口減少、少子高齢化が進む中で、市が住民サービスの一環として温泉施設に多額の経費を投入するのは無理がある。もっと優先度の高い事業に限られた予算を充当していただきたい。お風呂のない家庭の数は少なく、憲法の生存権の観点からみても大規模な温泉施設を税金を投入して、維持しなければならないということはないと思います
- ・公共施設はあまり必要としない。県内外問わず、好きな場所、温泉があるので公費を使う必要がないと思う。地域に一温泉時代は終わった
- ・増田町に住んでいる人です。温泉に行きたい、でも 60 歳ぐらいは自分で車で行った。でも 70 歳になったら車の運転は行くの怖くなり、温泉に行こうとしなくなった。温泉の車を出してもらえれば〇月〇日どこで乗れるかで、暖かくなれば温泉に行くと思う
- ・私は温泉にはほとんど行かないです。よく分かりません。申し訳ありません
- ・採算が取れるような料金とコスト低減が必要と思います
- ・運動やスポーツ施設等がある場所にあれば利用できると思う。わざわざ山奥まで行きたいとは思わない
- ・コロナがいつ収まるかわからない状態でこれ以上投資しても無駄な気がします。ここでやめてしまうことも一つの策だと思います。温泉が駄目なわけではないですが、もっと違うことにお金を使うことを考えたほうが良いと思われれます。もし、運営を続けるなら、マスコミに取り上げられている温泉のように、料理、サービスの向上が必須かと思えます。ただ運営しているだけでは将来は見えません。温泉単独では厳しいので、スキー場と温泉とか、アミューズメント施設と温泉等で関連した温泉が欲しいです。人口減の横手市としては、今の状況では厳しいと思われれます
- ・譲渡するならすべてすべきである。一部の人のため税金を使用すべきでない。投入した金と収入の比率は？

- ・高齢者の多い地域性、その福祉を考えると、一定数は残して（赤字補てんしても）いった方がいいのでは、と思います。泉質も昔ながらの効能がある温泉場は、地域の財産としてもったいないなと…。（その後は建てすぎたにしても）建て替え費用をかけても残してほしいなと思います
- ・市民の税金が使われているので早く処分して負担をなくしてほしい！
- ・新型コロナ感染など収束の兆しは見え、温泉施設の感染対策は十分なのか不安です。大規模温泉施設ではなく、小規模的な温泉施設の方が良いと。例えば自衛隊などのような温泉プールで入浴人数が10名未満の浴槽でもいいと思います。コロナのせいで宿泊がとだえ、温泉施設がかなりの打撃を受けていると思いますが、せめて日帰り温泉施設だけでも再開してもらいたいな～温泉は高齢者の心のよりどころ。湯船につかり旅行気分癒やされる、と集落の皆さんは言っておりますから、なんとか再開お願いします
- ・私は温泉に入ることは好きなのですが、私が住んでいる場所は温泉というものは大変貴重なものです。なので、温泉が消えてしまうのでは悲しいです。私の意見は、市が協力できるぐらいの温泉を譲渡し、運営者と市と協力しながら温泉をやって行って欲しいと思いました。また、人が足を運んでもらえるように工夫しながらやるのはどうでしょうか？例えばホームページを作り、若者が来てくれるようなホームページを作るのはどうでしょうか。また動画と作るのはどうでしょうか。もし意見が違いましたらすいません
- ・温泉は大好きです。仕事もありそんに行けていないですが必要だと思います。これからのことを思うと古くなりもっとお金がかかると思うと、これからの人たちのことを思うと無理して続けていくことが良い事なのか考えさせられます。民間の人たちにまかせてしまうのが良いかなと思いますが、一つも無くなってしまうのも残念に思います。大好きな温泉には入りたいですが、無くなったとしても少し高いお金を払えば入れない訳でもない、私は無理はしない方が良く思っています
- ・ふだん日～金まで仕事をしているので、温泉を利用することがないので、参考になる意見アンケートのお答えができなくてすいません
- ・温泉は仕事の疲れを癒やしたり、話をしたり憩いの場でもあります。昔の友と何十年ぶりで会ったり、情報伝達の間でもあります。何と言っても、経費の問題だと思います。皆の意見があると思います。市に最良の判断をお願いします

- ・公衆浴場は市民の衛生面を保つ。また、憩いの場として必要だと思う。ただ、自治体の管理の元では赤字経営であり、税金の垂れ流しでもある。民間のノウハウを活かして経営再建を図る。施設の維持をするため譲渡をメインとして対策をし、市が関与する割合を今の半分程度にしていく。譲渡先がない場合は、立地や集客面を考慮しながら廃止もやむなしと思う
- ・温泉は体・心のオアシスです
- ・私の実家は十文字です。昔、晩ごはんを食べてからでも行ける「ゆ〜らく」に母とよく車をとばして行っていました。昔は露天風呂もあり、内風呂の明かりでのぼんやり具合が最高で、静かで、とても癒やされました。内風呂は熱めだったので、露天風呂はいい感じでついつい長風呂をしていました。いつからか露天風呂もなくなってしまいました…。「ゆ〜らく」「さわらび」がなくなってコロナのこともあり、しばらく温泉には行っていません。今回のアンケートで維持していくためにかかった費用を見て驚きました。簡単に再開してほしいとは言えません。でも再開してほしいです
- ・子供の頃はよくさわらびへ行っていました。又行きたいなと思います
- ・地域の温泉、地元の人達の絶大な期待のもと建設された施設。町村合併により失われた施設で、多少の金の持ち出しがあっても、地域の存続を含めて再考する必要がある。本来町村合併が、旧町村民の不自由する目的ではないのでは？
- ・ときには気分転換、また他の方の出会いがあつたりと楽しみにしております。無くなったりしたら寂しいです。健康のためにもいいと言われてます
- ・老人施設にデイサービス事業で週1〜2回温泉施設を利用する等と結びつけてうまく今後の高年齢社会と共存していければ…とも思います
- ・全体的に高齢化してきており、温泉に入る人口が減少しているので、施設は最低限にしても良いと思う。若い人たちは、遠くても好きな所に行けるから。年がいくと車の運転も心配なので近くて馴れた道路だと行きやすいと思う
- ・もともと行政が始めた施設なので、経営の存続については行政と市議会で議論して決めるのが良いと思う。今後も民間に譲渡をする場合は、もしも経営が困難になっても、市への返還は認められない方向で、強い覚悟を持った事業者に譲渡すべきだと思う

- ・鶴ヶ池荘にはよく行ってました。とても好きな温泉だったので残念です。又再開していただきたいですね
- ・来客があった時” さわらび” を利用させてもらってました。少し遠いのが難でした。でも接待する私達もゆっくりくつろげてとても良かった。無くなるのはとても残念に思います
- ・民間に経営が移り結局は閉鎖されてしまうと、今までのいこいの場がどんどん無くなり、ますます人の動きのない市になっていくと思う。現に若者を含め多くの人達が市外に出ていき温泉を探していると思う。温泉に入るだけでなく、そこで収入を期待できるような何かを考えていけば温泉のあり方もまた違うものになるのではないのでしょうか？
- ・温泉施設に「これ」という目玉的な何かを作るべきだと思う
- ・温泉施設はいいのだが、団体で食事がとれるようにもっと内部をリニューアルした方がいいと思います。市内には団体で食事(昼食)をとれる施設が少ないです。観光客を集客するためには、見学施設の再開だけでなく、食事が取れるところとセットにしないと、なかなか横手に集客できないと思います。そのためには、温泉施設の宴会場の増築工事、食事内容の改善など、課題がたくさんあります。温泉に入るついでに食事もしていくことで、もっと横手にお金を落とすようになってもらう必要があると思います。あるいは、温泉をもっと利用してホテルの部屋数を増やすなど、とにかく集客に繋がるよう工夫をしていただきたいところがあります。温泉も観光スポットの一つなので、市の運営だろうが民間の運営だろうがどちらでもいいです。本気で魅力のあるまちづくりをしたいならば、もっと頑張りたいと思います。温泉施設を無くしてその代わりに何か新しいことができるならば、それはそれで横手の新しい強みになるならば温泉は無くてもいいです
- ・温泉施設の存在意義は一程度理解できますが、民間譲渡後も税金を投入しなければ維持できないのであれば、廃止も致し方なしと考えます。文化的にも雇用面でも貢献してきた事実もあるでしょうが、税の公平な負担・利用の在り方からその様に考えます
- ・増田地域はあまり山奥で遠いと思います。温泉に行く時間に余裕ができた頃には、運転だって出来るかどうか？帰りに買い物と思っても、何もない遠いばかりで必要性は感じられません

- ・私は増田地区ですが、さわらび・ゆうらくは増田町から少し遠いです。ゆっふるには一週間に2回くらいは言ってます。老人達のいこいの場でもあり、なくならないでほしいです。山内地区の鶴ヶ池温泉もすごくお湯がいいです。早く再開してほしいです
- ・目に見える財産に税金を投入することより、高齢者が屋根に上って作業しなければならないこの現実は無常です。もっときめ細やかに必要としている人を探して手を差し伸べてください
- ・できることなら「ゆっふる」を残してほしい。自宅から近いので
- ・民間に移行できれば最良（金額の追加はダメ）。市で行う状況ではないので整理した方がよい
- ・地元温泉があるのはとてもいいと思います。遠方にいる娘夫婦も、帰郷すると必ず温泉に入る事を楽しみにしています。ただ、最近では稼働している所が少なく、とても残念がっています。私は70才ですけど、60代後半からあまり行かなくなりました。地元にあるのはいいと思いますが、高齢化や人口減で利用者も少なくなり、維持するのは大変だと思います
- ・今はコロナでなかなか行かれません、落ち着いたらぜひまた温泉施設を利用したいと思っています。休館中などのところもあるようですが、家族の大切なレクリエーションの場だったので、どのような形であれ、継続していただければと思っています
- ・返還施設（3施設）については、経緯お粗末で、説明会等で見ましたが、譲渡決定後返還（市へ）される→休業中。譲渡時点の契約書はどうなっていたんでしょうか？ なんかうまく利用されたという感じかなと、誠に残念です
- ・ゆっふるは460円と高値なのに、アメニティが準備されておらず、サービスが悪く感じた。地元の農業の方々や、仕事帰りの方々が沢山来れるよう、値段を下げればもっと大勢の方が利用すると思います。すべての施設を一度、温泉を立て直す経営コンサルタントの方に指導受ければいいのではないのでしょうか。温泉だけに頼らず、その土地のフードを利用したランチコースプラン（送迎付き等）を取り入れれば、若者・主婦等行くのでは？ さわらびは素晴らしい環境の中にあるので、離れやお風呂付の個室を多くすれば良いと思う

- ・地域にとって必要な施設だと思いますが、少し遠すぎる。たとえば天下森スキー場あたりにあると、「スキー帰りにちょっと」というお客さんもいると思うので。
(冬期間は) 場所も少し考えて検討してはどうでしょうか？
- ・露天風呂、サウナ、ジェットバスがある施設がほしい。金額が多少高くなっても良いので、スーパー銭湯的な存在があれば繁盛すると思います。大きさは極楽湯位のものを一か所運営できると良いと思います。場所的には利便性が高い横手中心部もしくは十文字あたりが良いです。観光地もしくは由利本荘の道の駅のような施設が理想です。そうすれば他の施設はいらなくなるかなと思います。大仙より施設が少ないのはちょっとどうかと思います
- ・地元の温泉が休業してから、地元がすっかりさびれてしまいました。自慢の温泉でしたし、施設でした。地元の人達の憩いの場所でした。私の希望としましては、1施設だけでも復活していただけないかと切に願っています
- ・地域にある温泉は、朝に夕に住んでいる人のいこいの場だと思います。温泉から帰って来て「最近あの人みかけないけど」と心配している人を何人も知っています。やっぱり各町村に一つくらいは市で運営する温泉はあっても良いと思います。その温泉が楽しみの場だった老人はたくさんいたと思います
- ・公共温泉施設を半分に減らして、その施設に行かないと見られないもの、食べられないもの、手に入らないものを作り出し、集客するシステムを考えてみてはどうでしょうか。それにより、地産地消、地元雇用が生まれてくると思います
- ・立地場所が遠すぎる。3施設ほど、市内にバランスよく配置して温泉だけでなく、道の駅のように食事や物産など、是非行ってみたいと思えるような魅力を併せもったものであってほしい。どの年代も利用しやすい場所
- ・単身世帯には公営の入浴場はありがたい。宿泊事業は廃止、日帰り入浴に限定してはどうか。さわらび、ゆーらくは解体を提案（地理的に不便）
- ・旅行等では必ず大浴場を利用しています。登山の時には、汗・疲れをとるため、禁の温泉は入ってきます。が、不特定多数の人が利用する近場の温泉施設は衛生上、好ましくないと思っております
- ・近くにゆっふるがあるが、土日の休日などあまり人が多く利用したくない。他の市町村と比較した投入金額の差額

- ・さわらびを週2回は利用してました。民間に移すことに反対はありませんが、きちんと見定めるべきだと思います。私なら別の方法で、増田の狙半内をもりあげたいです。ゆーらくももったいないです。市民の、特に高齢の方のいこいの場がこんなことになってしまい、悲しいです。横手の都市計画よりも、もっとやることがあるのではないですか？
- ・「さわらび・ゆーらく」は泉質も環境も良く、遠方からも入浴を楽しみにされる温泉でした。地域の集りに利用されるコミュニケーションの場でもありました。現在は2施設とも閉鎖されていますが、どちらか一施設だけでも再開されることを強く希望します
- ・県南で例にあげると、増田・十文字・平鹿地域で町おこしや観光などで来ても、宿泊する施設などは横手市や湯沢市に行かないと無いという不便さは感じるし、町の盛り上げという意味では、施設がないのは矛盾していると思う
- ・まだ60代なので、温泉の利用はしていませんが、温泉施設が地元にあるべきだと思います。冬期間が長い秋田にとって、体をいやし、休める為にも必要な施設があれば、老後利用したいと思います。経営が赤字であれば、利用人数の多い温泉施設だけ残し、運営してほしいと思います。お年寄りの楽しみ、いこいの場としても残すべきです。これから年をかさねたら、利用したいと思っております
- ・施設が建っている以上、あらゆる策を講じて黒字経営して欲しいというのが本音です。が、赤字のままダラダラと経営を続けていくよりは、廃止した方が市の負担が軽減されるのであれば、そちらの方が良いかもしれません。20年後、秋田県内で残っている市町村は、大潟村だけというデータもある現在、なりふりかまわぬ人口増加の取組みに今すぐシフトしていった方がいいように思います。温泉はそれからでも充分かもしれません
- ・公共施設は増やさなくてよい。将来の人達に負担が残るだけ
- ・市民や行政で活用方法を徹底的に議論して、決まったら実行する
- ・旧市町村で維持出来ていたのに、合併すると維持できないのはなぜなのか、不思議でならない。市の温泉施設の中では、ゆっぷると鶴ヶ池荘は行きなれているので残してほしい施設です
- ・温泉好きなのでこれからもあり続けてほしいです

- ・年齢、性別問わず、市民の健康維持促進を担う施設と、県外・市外から観光目的で訪れる人々を受け入れる施設の区分があいまいでは、将来の方向が見いだせないと思います。Q8は施設数に注目した問ではありますが、施設数から考えていくべきではなく、地域性と施設の特徴を活かした運営を考えて頂きたいと思います。現状では宿泊施設が不足しており、大きなイベント、全国的なスポーツ大会を誘致できない状況と思われ、横手駅周辺にもうひとつ整備が必要ではないでしょうか。今回の民間譲渡が不調に終わった事と、観光目的の施設を新調する事は必ずしも矛盾しないと思います。市の人口は、間違いなく減少するのですから、他地域からの誘客を重要施策として捉えて頂き、経済効果の大きい宿泊収入にも力を注いで頂きたいと思います
- ・富士山の絵がある銭湯が欲しい。以前は利用していたが、ここ何年か足が遠くなってしまったので、銭湯に行くと食べられるとか、なにかあれば利用するようになると思います
- ・今は山内の鶴ヶ池荘や増田のさわらびなど、せっかく立派な建物があるのに、何も使用されていない大変にもったいない状況の施設がありますが、温泉業がコロナで経営不振で運営できないのであれば、老人福祉施設にリフォームして別の形で利益を得る（職も募集になり働く場所も増える）なども考えてみれば良いのでは？ 民間で買取を進めたのであれば、リフォームの何割かを支援するのもいいのでは？（買い取ってもらえれば、もう市はお金を投入しなくて良いことにする）このように市民に意見を聞くことは大変良い方向に行政が向いているんだなと思います。これからもどんどん意見を聞いてほしいです！
- ・温泉は年寄りの広場です。私は足が弱いので遠くの温泉に行けません。地元の温泉が再開されることを期待しています
- ・ご提案はございませんけど、十数人はすぐまとまり、同級会、忘年会、劇団送迎バスで行ったもんです。また還暦、古希のお祝いも東京方面、北海道から十数人の参加してくれて一生の思い出です。喜寿は福島でやる予定でしたが、コロナのため中止になっています。このアンケートで昔の事を思い出されました
- ・さわらび、雄川荘は”温泉”の利用ではなく、同級会や子どもの部活の懇親会での利用でした。なので全く利用できなくなるのは不便だと思いますが、経営が市ではなくても、変わらず利用できるのであればいいと思います。ただし利用料があからさまに高くなるのは皆さん困るかと思います

- ・このアンケートの市営温泉、全て機械掘削した「人工温泉」ですよ。しかも源泉かけ流しでもなくボイラー沸かし。1度も利用しなかったが、同じ様な時期に、あちらこちらにできてふしぎ〜に思った。これらの温泉の始まりは何だったのですか？「おらほの町・村にも〇〇こしゃでけれ」ですか？掘った造った後は野となれ山となれ。温泉施設だけでなく、各地域の古い木造小学校の新校舎建て替え→数年で廃校！と同じで、何を持ってしてこの事業に参入したのか、赤字を続けて公共を名乗りたいのか、大いに疑問です。アンケートなる機会を与えてもらったので正直な思いを書きました
- ・アパートのように住んで家賃をもらう。ぬるいプールのようにする。魚を飼う。山菜を茹でるスペースを設ける。部屋で一人キャンプもできるようにする。温泉はもったいないと思うけれど、健康によくてもコロナにはかかりたくないし、お湯をくんで家に持ち帰るのは大変かもしれないけど、冷めても効力がある何かがあれば温泉水そのものが売れるかもしれないですね
- ・現在新型コロナの影響が拡大して足が遠のいています。これが落ち着いたら「温泉に」と思うかもしれません。楽しみにしております
- ・現在は、横手市外の施設を多く利用しています。利用料金も手ごろですし、温泉のみならずいろいろな施設があるので運動したり、体を休めたりするのに大変いいです。横手市内にもこのような公共温泉施設があれば気軽に利用できると思いますが…
- ・増田地域にある温泉は市に返還されたとは言っても今現在、入浴することも出来ません。大変残念ですし、譲渡する時にとっても突然で心のこりでした。これからスキー場などを整備するという事なので、ここにもう一度新しく温泉を考えて頂けたら大変うれしいと思います
- ・市長の政治判断で民間譲渡を進め、結果的に3施設を返還されて備品まで持っていかれた。この結果責任を市長は今だに取っていない。廃止有りきの政策に怒りを乗り越えてあきれている。住民をバカにしている。市長も議員も責任をとれ
- ・公共温泉施設、経営、全ての施設の不足する経費の負担は、当然経営に携わるべきである。地元地域にある温泉施設は、貴重な財産であります。まず初心に戻って、何故ここに建てたか、色々考えもあると思います。皆さまからアンケート、会議、会合しながらもっと地域の皆さまに納得いく説明文章がほしい、進めてほしい

- ・ゆーらくは祖父母につれて行ってもらった思い出の場所です。できればなくさないでもらいたい
- ・私の場合、足、腰がいたいので長年、戸波鉱泉にいております。戸波鉱泉が体にいちばんあっていると思っています

◇… 平 鹿 …◇

- ・保養施設としての温泉も大切ですが、地域産業にとっても集客効果が大いに期待できます。食事、入浴ができるから家族で農園を訪れることもよくあります。農産物が美味しく景色よし、温泉あれば新しい活路を見つけられるかも！ 宿泊施設もボランティア来訪時には大変ありがたいと思っています
- ・安い料金で夜遅くまで利用できる温泉施設があれば利用しやすい。ウェルネスは立地も良く利用しやすかったので再開してほしい
- ・持病があり、中々温泉施設が利用できないでいます。乾癬という病気が周りに理解されないので、感染るのではないかと思われ利用していない人もいます。こういう症状の方も利用できる配慮があれば良いかと長年思っていました。利用者が多くなり活気ができれば良いかと応援しています
- ・市長以下、市民全員が自分の財布から施設を維持するお金を出せるかに尽きると思う。私は出せないが、もし出せる人たちがいたらその人たちが出資して経営すれば良いし、その覚悟も無く他人の禪で相撲を取るようなことは私はできない。温泉のみでなく、市財政全般についても市長・議員は特に考えて頂きたい
- ・市の財政が許す限り、市で運営していただきたい
- ・自宅の風呂では味わえない開放感と、体の芯から暖まるのを感じる事ができて、入りに行くのが楽しみの一つです。雪投げ後の疲れた体を癒やしてくれる場所だと思っています。できれば全部残してほしいと思います
- ・経営が困難な状況にあることはよくわかります。しかし、ゆとりおん大雄では昼食も充実しており、たくさんの方々がそこで、そばや定食などを仲間と語らいながら食しております。こうした施設がなくなることは、高齢者にとっても残念なことになりかねない。人の減地域の負の副産物と私はいつも感じています。規模を縮小して小回りもきく経営で、地域の人々に喜んでもらえる施設が、特に過疎地域には必要です。民営化がよいとか悪いとか、民営化にして「丸投げ」という気持ちがあるなら、それは大きなまちがいであると私は心から思っております。理由をつけて丸投げは、誰でも考える幼稚な考え方です。温泉は大切です。ありがたい資源です
- ・市民の福利厚生施設として何らかの形で市（行政）が関わってほしい

- ・温泉施設内の直売コーナーの充実を図り、手数料等でいくらかでも赤字を補填する。子供が遊べる場所や公園のような場所を作ることにより、親子で利用できる場所など
- ・自然の恵みである温泉と、介護施設を組み合わせた施設などはいかなるものでしょうか
- ・今後も市が公共温泉施設の経営に携わるとすれば、現在の公共施設の半分、3施設程度が妥当と思います
- ・2町村に対し1箇所の温泉は必要だと思うが
- ・人口減により今後税収が期待できない中、赤字補てんは不可と思います。どうしても自治体が運営すると赤字になります。アイデアを考えないからです。やはり民間（県外）に譲渡した方が利用料金は高くなるが魅力的になると思う
- ・私は78才の後期高齢者です。近くにそういう公共温泉があることで、身近な人達との話し合いや運動等できるので、残してくれると良いと思います
- ・温泉施設が多すぎると思う。…市として特徴ある所に集約してはどうか。施設の老朽化が進むので…廃止策を進めるべきと考える
- ・雇用を守ってやりたい。温泉のPR不足、へたくそ（いいものもっているのに）。各温泉の魅力が響かない（普通の温泉感）。各温泉のスタンプラリーでプレゼント有りとか。年間パスポートは必要。軽度の介護施設の併用。温泉近くに横手市で言う「スポーツ立市」。グラウンド、フィールド、体育館。「秋田の大会は横手市で」。子供のスポ少には親がたらふく金を出すぞ〜温泉をひいたロッジ、家族で入りたい!!
- ・県外から来た人に横手市には市の温泉がないとなると、市の人間としては残念だと思う。また、1つ2つはあってもらいたい
- ・この時期、このタイミングでアンケート、とても回答に困りました。横手市に温泉があるのは、とてもうれしいことです。でも運営が大変なのであれば、いくつかにまとめる事も良いと思います。隣の町、美郷町の奥羽山脈にある温泉よく利用します。隣町とタックを組むのも案かも…大変な時代です。近くにないのは困ります

- ・日帰り温泉だけを作ってほしい。温泉というと、このあたりは年配の方の集まる所のイメージ。若い方もマナーをもって行くことのできる所があったらいいです
- ・私は温泉が大好きです。できれば現在休業中の温泉施設も、市と民間事業者と協力して続けてもらいたいです
- ・心のふれ合いの場として継続出来るのであればやって欲しいと思います
- ・子供達が楽しめる温泉やプールがあれば良い
- ・鶴ヶ池荘の大ファンでした。泉質や景観も良く、県外に在住する子供達が帰省した時や来客時に利用すると、大変喜ばれていました。せつかくの施設なので、有効活用してほしいです。たとえば、宿泊費など格安に設定してもらい、来客者と一緒に家族全員で気軽に宿泊できるようにするなど。食べきれない料理の数を設定するよりも、おいしい物を適量準備するなどの工夫をすればどうでしょうか。ぜひぜひ、再開してほしいと願っております
- ・高齢者の方が多く、行きにくい。施設が古い
- ・合併前の1億円で温泉が出来てから今まで、十分活躍したと思います。耐用年数も過ぎて、もう十分役目を果たしたと思うので譲渡など考えないで廃止の方向に進めた方が良くと思います。これまで市が温泉につきこんだ税金の額を見て驚いたのですが、それよりも休館している温泉に税金を注ぎ込まないといけないなんて、税金をどぶに捨ててるようなものだと少し腹立たしさを感じます。私は温泉が大好きです。今はコロナで行けないのですが、冬になると唯一の楽しみでした。主にゆうゆうプラザを利用しています。あとはえがおの丘と。風呂場の満足度が違います。ばあちゃんもコロナ前までは市営の温泉を利用していた(譲渡前)のですが、デイサービスを利用するようになってからは全然行かなくなりました。人口減少、高齢化の中、市営温泉はもう意味をなさなくなるのではと思います。莫大な解体費用が掛かるとは思いますが、長期計画で段階的に廃止して欲しいです
- ・税金を使って赤字額を補填して存続させても、いずれは経営が困難となっていくと思う。魅力ある施設、必要とされる施設は生き残る。また、生き残るための工夫、アイデアも必要と思われる。風呂、夕食、朝食、客室、接客の評価も必要。市が取り組む基本的な方針と具体的な取り組みには賛成である。地域によっては、施設の数が多すぎる

- ・私は 70 代の女性ですが、膝に多少の痛みはありますが、まあまあ健康に過ごしております。でも、温泉の効能に頼って良く通っている人達にとっては無くなったら本当に大変な事だろうと思います。また、大きな役割としてあるのは、居場所があるという事だと思います。私も 2・30 年も前のことですが、職場で急な休みがあったりした時に、家にいるとじいちゃん、婆ちゃんがいるし（嫁は気を使っている時代でした）職場の友と温泉に行ってゆっくりしてストレス解消していました。年に 5 回位あったものでした。今は近所でも、お年寄りの人達が一人だと寂しくてとか、同居している家族に気を使ったりして温泉に行っている人もいますね。居場所が無くなったら孤独になる人がいっぱいいると思います。私は図書館に月に 2・3 回行って、本を借りてきています。新しい図書館にコンビニの様な安くておいしいコーヒーコーナーがあると嬉しいです
- ・市が運営して赤字なものを、民間の企業が運営しようとは思わないのではないのでしょうか？ やり方しだいだと思いますが、この辺の企業では難しいように感じます。全ての施設を残すのは負担も大きいと思うので、数を減らして市が運営していくのが良いと思います。市民の交流の場としての役割もとても重要だと感じますので、施設の維持をしてほしいと思います
- ・10 施設（三吉山荘含む）利用したけれど、時間制限があると利用しにくい。鶴ヶ池、ゆとりおん大雄、さくら荘は営業してほしい
- ・赤字で税金の無駄遣いは NG!
- ・温泉施設は市民の憩いの場所だと思います。コロナによってここ 2 年ほどは控えていますが、農作業や雪寄せの後など重宝しておりました。また遠方の友人などが遊びに来る際にもすすめたりしており、ありがたい施設です。維持費や人件費等がかかるのは承知していますが、一部の施設でもいいので援助して続けていただけたらうれしいです
- ・温泉は大切な所だと感じています。心と体を健康にできます。市税が多く使われている事へは、あまり良く思えません。温泉単体では集客が多くないと思います。複合化が大事です。スポーツ施設の近く、商業施設の近くなど人が集まってくる所の近くにあればベストです。これからの子供世代に目を向けていくべき。子供が行きたいと言えば祖父・祖母も一緒に行きます
- ・高齢の方にはとても必要な施設と思いますが…このようなアンケートに税金が使われることが残念です

- ・コロナの感染のニュースが流れていて、コロナに感染しないようにさけている。早くコロナが落ち着けばいいなあと願っています。温泉はいろんな人が利用するので、感染したらという不安があり落ち着くまで行けない。まだコロナの3回目の摂取もしていないのに、おそろしく感じてしまう。コロナの感染をアレルギー持ちで安心して行けない
- ・かつて草野球チームがどの町内にもあった事と同じで、温泉施設も一時のブームでしかありません。今後の市政にはぜひとも市民の一時の熱情に振り回されないようにお願いします
- ・温泉施設の運営だけでなく、これからの横手市を運営していく上で「高橋大市長に対する問責決議」が出された事を重く受け止めて欲しいと思う。これからの世代に意味の無い借金を背負わせないで下さい。今、子育てしている人たちは、これからの横手市に不安を感じている人は多いと思います。市長選に当選したからといって、全てが許されたわけではありません。もっと誠実に市政に向き合ってほしいです
- ・コロナのため行っていない
- ・私は近くの「ゆとり館」を利用させてもらうことが多いです。サウナはいつもギュウギュウですが(時間帯?)一番気に入ってます。数少ない情報源でもあります。他人様と接する機会が少なくなっている昨今、見知らぬ人達の会話でなごみます
- ・温泉は身も心も癒す身近な存在でした。コロナ禍の前まではよく利用しておりました。いまは、家庭の変化、世の中のいろいろな事情、状況の変化により、温泉にでもという気持ちが湧いてきません。無くしてもよいということではありません。人が集まる施設となればやはり温泉施設は最適な場だと思います。前々から感じておりましたが、横手市内に住んではいても市外、県外(岩手、山形)の温泉に行く人がわりと多いように思っていました。少しでも地元の温泉を利用するような、何か手立てがあればと思います
- ・市が推進して来た方向性は概ね間違っていなかったと思うが、コロナ等により民間企業では経営に耐えられないことが明らかになった気がします。お年寄りの交通弱者に対するケアも必要になりつつあるので、存続するためには有効な対策を講じられるか検討することが必要になるかと思います。いずれにしても、現在の数をそのまま残すことは難しいと思うので、観光 DMO に関連して拠点として活用できるかも視野に入れて検討してみたいかと思っています

- ・市営の温泉施設を以前はよく利用していたのですが、今は年に数回と減っています。その理由を言わせて頂ければ、あまりにも従業員の方々のレベルの低さに腹立たしく思うからです。サービス業に就いていながら、いらっしゃいませ、ありがとうございますも言えないような方が多く、残念です。気持ち良く利用できるよう、教育というのも大事なのではないのでしょうか
- ・「ゆっふる」は最高!!生まれは湯沢市で、今は横手市民。湯沢市からもよく来ていてみんなのつどいの場です。料金も 460 円で good。若い人から高齢者まで利用できる good な施設。私は看護師、30 歳代の男性です。個人的にも温泉は好きです。医学的にも横手市は高齢化が進んでいて認知症の人も多い。認知症でも楽しく生きるためには「つどいの場」が必要。認知症が進む人は孤独である。刺激も少なく活気のない生活も悪化のリスクファクターである。「ゆっふる」はつどいの場になっていて、みんなでサウナでワイワイして活気がある。故に「ゆっふる」は必要。介入温泉は調査が必要。アクセス、料金、入館人数など。介護予防としても有効では!! イベントを市民にアンケートしては!! 黒字は大きくはでないかも!!。しかし、とにかく「ゆっふる」さん感謝してます。「いこいの場」です。有名なラーメン屋、食堂を入れれば!!
- ・温泉めぐりが一番楽しみです。(2年ぐらいはコロナで控えております)
- ・高齢者施設が不足している現在、温泉を活用した再利用が色々と考えられるかと思えます。有料老人ホーム等、全国を対象に展開できる可能性を感じます
- ・市民の割引やイベントなど、もっと活気がほしい。冬のゆとりおん大雄のイベント(Xmasイルミネーション)は、コロナでどこにも行けない子供にとって、とても楽しかったです。お金をかけるところをもっと考えるのであれば、市民の声をもっと求めて参考にしてほしい!! 温泉に行きたいのに、今までのように行けないのであれば、イベントに力を入れ、人を集めては? スキー場もなくなり、蔵にばかり力を入れるのは何故ですか?
- ・サービス券などあればもっと行く回数がふえると思う。子供が小さいうちは、ベビバスやボディソープがある所がありうれしかった。前世代が入れる温泉がいいと思う。子ども(多子世帯)向けのサービスや割引があるとうれしい
- ・コロナがなくなる限り温泉の利用は無理です
- ・財政面でいろいろ大変でしょうが、少しでも残すように努力してほしい

- ・ゆっぶるの近くに居住しています。ずっと以前より都会から帰省した子供や孫たちはいつも、ゆっぶるに宿泊させました。遠くの友人が遊びに来た時も家ではなく、ゆっぶるに宿泊させました。多忙で家を片付ける時間がないので、大変助かっています。最近テナントの食堂が変わりましたが、どうしてテナントでなくてはいけないのでしょうか？ 大衆の胃袋をつかむテナントだと良いのですが、直営のシェフでも良いと思いますが。温泉だけで売り込みを考えるのは時代に遅れると思います
- ・温泉施設が経営が厳しい状態なので、せっかく横手市内にできた温泉は無くしてはならない。市で運営してでも続けてほしい
- ・温泉施設の運営には、大変市として苦労している事と思います。温泉好きの私としては、市民の交流の場として、とても重要な温泉だと思っています。横手市は7市町村(旧市町村)から成り立っていますが、地理的なバランスから、5~6施設はほしいと思っています。多大な経費が必要ですが、除雪と共に最も力を入れてほしいと考えます。以上です
- ・再経営してほしい
- ・高齢者にとって良い「集いの場」のように思われます。時々、自分の知っている仲間と会ったら、それはそれで楽しい1日を過ごすことができます。今は以前のように「お茶っこ飲み」もなく、とても良い「集いの場」のように思われます
- ・公共施設全般の所に仕えてる方に言えると思うのですが、売り上げやサービスが悪いと最後には自分の生活に影響するのだと思っている人は何人いるのか？といつも考えていました。民間だと仕事が無くなるという事が本当に大変な事だし、その後の保証となる退職金も無い方も多いと思います。その施設が無くなれば、他の所に移動が出来ると思っている方がほとんどでは？ 民間に譲渡が出来たとしても、中身が変わらないと又同じなのは！！と…
- ・いつもお疲れ様です。1つの意見として書かせて頂きます。市営温泉施設は必要だと思っています。私自身、働き税金を払い(当たり前ですが)国・市の為に頑張っています。その中での癒しがゆっくり温泉につかることです。(安く!)もし温泉代が高くなる様であれば、他予算を見直ししてもらいたいです。色々書かせて頂き申し訳ありませんでした。ただ、市民(私もですが…)の癒しの為、どうか安く安全な場所を提供してもらいたいです。宜しくお願いします

- ・地元の温泉にはあまり行きません。運転も出来るので、ドライブを兼ねて遠くの温泉に行っています。私は温泉に入るより、直売めぐりをしています
- ・コロナの影響もあり、財政的にも厳しいと思いますが、市民の憩いの場・癒しの場を存続してほしいです。これまでのご尽力に感謝しております
- ・本当はゆっくり温泉に行きたいが、金銭的に余裕がないのでむずかしいです。コロナということもあり、温泉の利用をひかえているということもありますが…横手に引っ越して3年になりますが、以前に住んでいた市に比べて、リーズナブルで足を運びやすい温泉が市内に少ない印象があります。市内の温泉は、きっと設備も整っていてすてきな施設なんだろうな、行ってみたいとは思いますが、高いので一度も利用した事はありません。そもそも、小さい子もいてオムツも取れていなかったりすると、公共の施設の利用はひかえてしまいます。安くて利用しやすい施設が増えるなら民営化してもいいと思います。高くて施設が減ってしまうのではと心配しています
- ・温泉譲渡の話は今まで何度か耳にしてきましたが、市が6施設を所有し維持していくことは、今のこのコロナ禍の中では無理があると思います。民間でもどうかと思います。横手市内に温泉施設が1つもなくなるとなれば、これはこれで淋しい気持ちですが、答えは出ないかと思います
- ・コロナ禍でなかなか利用できていないが、コロナが終息したらコロナ前のように沢山利用したい。春の田んぼの様々な準備のあと→ゆっふるへ。夏の暑い日汗を流しに、又プール遊びと温泉に→えがおの丘。秋、祖先の法要を兼ねて→雄山荘。冬は冷えた体を温めにリンゴ風呂→ゆっふる。地元の温泉は、県外へ住む地元出身者にも沢山の思い出があり、帰省した際には温泉に寄ることを楽しみにしている人も多い。全てを維持していくことは難しいと思うが、なじみの温泉施設は出来る限り残ってほしいと思う。本当はもっと利用したいが、コロナ禍で我慢している人はとても多いと思う
- ・コロナや老築化で休館する温泉施設が増え、定期的に利用していた親世代の楽しみが減り、誠に残念に思います。80代90代がまだまだ元気で暮らしている現代、また数年前まで楽しみに行っていた温泉施設が営業を始める事を願います。せっかく市から温泉の割引券を頂いているのに、なかなか利用していない状況です
- ・バスが通っているのに止まってくれない。残念です

- ・このきびしい、決して裕福ではない私達の生活上、多額の赤字までして運営するのは、市として考えなければいけないとおもいます。又、使用する人もますます高齢化して年々少ない話は聞いております。このグラフのごとく、どこまでも経営していくのはどうかと思いますが…市の議員の皆様どうかよろしくお願ひします
- ・少子高齢化に伴い、65才以上の人が多くなり温泉施設がどこの地域でも必要となってきました。私の案として、入浴料の他に施設の管理料を、説明の上協力してもらおう事。管理料は市、又は施設側で考えていただくようにする
- ・温泉は娯楽施設で、民間経営でいいと思います。ただ温泉でなくてもゆとり館のような地域の銭湯のような施設は、高齢社会の進む秋田では、風呂の清掃や自宅の風呂の設備の安全性確保の負担の軽減にもつながり、また地域交流や清潔の保持の面からも必要性はあると考えます
- ・温泉施設を利用した老人用の施設にしていきたい。集合施設か住宅（集合住宅）
- ・息子に届いたアンケートです。設問は息子に聞いて回答しております。この欄だけ母に記載させて下さい。若い頃は、交代勤務に夜勤、姑夫婦と同居し、全員の食事・洗濯とすごして今やっと退職です。今年舅が亡くなり、姑は骨折して施設入所となり、今やっと私たち夫婦になりました。少々退職金もあり、なかなか出かけられなかった温泉に行こうかと思った時、不況のせいか温泉離れのせいか、閉められる現実となりつつあります。何と残念なことか。自宅近くの温泉にこの先ずっと通いたいと思うこの頃です。どうか何とか存続していただきたいと思ひます。とは言え、平日に訪れますと明るくきれいにして私たちを待っていてくれますが、お客様は少ないですね…私には何の案も浮かびませんが、この先もあたたかい、大きな温泉に入れますようお願い申し上げます
- ・経営を見直すべきと思ひます。大江戸温泉のように大人・子供が集まり、楽しむ談笑・イベントの開催等。ゆうゆうは入浴が1000円であるが、それでも多くの人が集まる。他に施設がないこともあるが、サウナ・露天等や湯質が良い。ジャグジーを増やすとか、薬草風呂、セットでマッサージが出来て、健康に特化した施設とか。人件費はセルフで出来るものはセルフでとかもっと知恵を出して運営してほしい

- ・今はコロナの影響もあり、中々温泉施設に行く機会も減りましたが、温泉が大好きなので、限りある施設をこれからも支援してほしいと思います
- ・地域に一つは公共温泉は有っても良いと思う。自宅の風呂の故障などもあるので、ぜひ存続させてほしいと思います
- ・入浴施設は古来、住民と密接な関係のものであり必要であると思われる。民間に移譲すれば、経営上の観点からしか判断されなくなりがちである。コミュニティーとしての役割もあり、市などの行政が関わるのはやむを得ないと思う。但し、民間の力を活用する事、経営努力を期待する事が重要であることから、経営支援額や、経営ノウハウの点検は必要であり、PDCAは強化すべき。役所の予算確保や消化を目的とした官僚主義に夢中にならずに、赤字の穴埋めではなく、黒字となるための努力や対策に予算を与えるべきである。過去がどうあれ、今後はどうなるのかを考えるべきである
- ・高齢になると、行動範囲が狭くなり、出来るだけ地域に1施設存続できます様にお願いたします
- ・1、温泉施設建設については合併時の置き土産的な存在であり、いたずらに我も我もという感じで建てられた。当時（合併前）の議員の方々に責任がある。2、合併時の利用人口を考慮していない。3、従業員教育が甘かった。昔の”親方日の丸”的従業員が目立った。4、利用者が少ない所はすっきりやめるべきだ。5、なんでもそうだが、利用者が少なく採算が合わない所は一日も早く止めるべきであり、ダメなことはダメと、市長も決断すべきだ。利用者は出来るだけ近くの間所をと思って、旧の自分の地域にと思っているかもしれないが、それはすこしおかしい。たとえば、なぜあの山奥の湯川温泉に利用客がわざわざ行くか。それは湯質にも関係あるだろうが、目に見えないサービスがある。難しいところではあるが、そうしたところが市営温泉には無いし、従業員にも努力が足りない。◎無理をして施設利用を継続することはない。半分以下にすべきだ
- ・いつもお世話になっております。私達家族は温泉”大好き”家族です。遠い所には中々行けないので、横手市の”湯っこめぐり”をして歩くのがささやかな喜びです。ですが最近温泉の数が減ってきていることが大変淋しく思います。少なくとも、現在稼働している「ゆっふる」「ゆとりおん大雄」「大森山荘」だけでもどうか残して下さい。切にお願い致します
- ・温泉数が数多くあるんだから、縮小化していくべきである

- ・私はよく平鹿町ゆっふるを利用させて頂いております。ここは私にとって情報交換の場です。市報を見ても知らなかった事など、地域で何が起きているかわかるのです。市もコロナで大変とは思いますが、是非ゆっふるの存続の程をお願いしたいものです
- ・小生は平鹿町ですけれど、温泉では増田のゆーらくですね。できれば、少々遠くても入りにまいるね。週に3日は入りに行くね。まずはがんばって下さい
- ・横手市内の温泉、サウナ、共に大好きで利用させて頂いております。大袈裟ですが、なければ生きていけません。しかしながら、多額の税金が投入されていることも分かります。私の希望としてはリーフレットにある市の基本方針は賛成ですが、最悪売れ残った場合でも現在稼働している「ゆっふる」や「ゆとりおん大雄」だけで運営して頂ければありがたいです。追伸 正直なところ「さわらび」や「ゆーらく」は遠すぎます…他の施設は気軽に行けますが、上記に行くという話はあまり聞きませんでした
- ・ホテルウェルネスは、仕事帰りによく利用していました。特に休日前の利用は、私生活や仕事でのストレス、疲れを和らげ、リフレッシュできました。しかし最近だと、休業してからゆっふるしか利用できる温泉しかなく、あまり温泉自体利用できなくなっていました。ウェルネスでも営業できる様、何かしらの対応はしてくれてると思っていますが、またあの温泉に入れたらなと思う時があります。このご時世ですが、どうか無理せずに再び営業できる事を心から願っております
- ・施設料金を少し下げて第三セクターにするとか、朝から入る人もいるので朝割とか。回数券ではなく会員券みたいな（スキー場のようなシーズン券的な）市外の人にPR（SNS）等で
- ・70代をむかえ、集える場所として最適だと感じる様になりました。「行ける場所がある」「集える場所がある」幼なじみや友人、農作業の合間に家族で利用できるという、安らぎの場として必要と感じております
- ・宴会・宿泊を伴う温泉と、シンプルに温泉のみの要望はどうなのかで、市の携わる形態を考えてもいいのかとも思います
- ・「公共温泉施設」を市で運営し続ける事は、大変なことだとは思いますが。でも以前利用した際、良かったなあと思うことが多いので、続けられるといいなあと思います

- ・個人的な考え・思想があり、難しい時代ではあるが、実際に現場の温泉施設に「行かせよう」「行ってみたい」「行って良かった」と思わせる努力・方策が必要だと思えます。私も先日集落で断水が発生し、「ゆっふる」に行ってきました。利用者が多い事にビックリしました。また、温泉も最高で、リピーターになりました。秋田（横手市含む）は結局、口コミの評判で集客が増減すると思えます。アイデアをいかに出せるかだと思えます。私としては、老若男女の意見を聞く、又はペットを活用し、ペットと入れる個室の温泉部屋やドッグランなどを造るなど、横手市の自然環境を十分に活かし、利益につなげることが必要と考えます。一人で考える知識より、複数人で出した知識・アイデアで、横手市の温泉施設を盛り上げて頂きたいです。私が個人的に考えたアイデアとして、横手市の各地域局に秋田犬を飼い、スタンプラリーを行うというアイデアはどうでしょうか？
- ・今後、人口減等で先細りが必至な状況。断腸の思いではあるが、廃止はやむを得ない。限られた税金を有効的に使った方が良いと思う。子供のいる方や限界集落の支援等
- ・横手の各地区に温泉施設があるのは、住民のいやしにとって大きなメリットがあります。しかし、施設の設備の老朽化や人件費に多額な公費を使っているデメリットの方が、年々増加しているように思います。民間の温泉施設に加え、フィットネスクラブや様々な場に入浴できる環境が整っています。老朽化している施設は、廃棄や民間への譲渡を進めていただき、1～2施設の存続がよいのではないかと思います。私もゆっふるを活用させて頂いています。一部に毎日利用されるヘビーユーザーの方もいらっしゃいますが、通常の利用状況からすると、相当の赤字経営だと思えます。財政的な面を優先し、今後の統廃合を考えていただければと思います
- ・人口減少で高齢化が加速する今、税収も伸びる可能性も低い市の財政事情から、各施設の赤字額を、これからも補填していかなければ運営が継続できないのは困ります。コロナ禍で利用者が減ったのではなく、独立採算が取れる施設で無かったことが残念な結果となったと思われまます。今後は公共温泉施設の経営から市は退き、他の方に財源（予算）を使って欲しいと思っております
- ・温泉+α（例 さくら荘のようなコテージ）をプラスして、もっと外にアピールして行ってほしい
- ・地域の物産コーナーを拡大しては！ 各地域の住民へ、サービス券や割引券を配布し、入浴者増加見込みにはできませんか？

- ・市民の人数が確実に少なくなっているのので、利用者が少なくなるのは仕方ないか
と思います。ただ、市の支援にも限度があるので3施設位にしぼった方がいいの
かと…以前はよく利用していたのですが、介護にかかりつきりになってほとんど
行けなくなりました。高齢化も利用者減にかかわってきている。車イスでも行け
たりしたら嬉しいんですが…
- ・「Q2」の質問に関しては、コロナ禍のここ一年内における利用を尋ねるのはどう
かと思います。なるべく外出しない様になっている生活中に、利用者が少ないのは
当然であると思います。自身の希望は「鶴ヶ池荘」だけでも営業してほしいと思
います。増田地区の観光に力を入れるのであれば、「さわらび」をもっと利用（観
光客含め）したくなる様な施設としてほしいです。広い範囲での魅力ある地区に
なってほしいです。アリーナ等の建設を進めるのであれば、なおさらだと思いま
す。（宿泊施設は必要となると思うので！）
- ・これまでも現在も、市営温泉施設が多過ぎる。合併前の町村が所有していた温泉
施設は、その地域にとって必要な公共物であっても、自然体を考えたときに、必
ずしも必要であるとは限らない。ましてや経営が赤字であるならなおさらのこ
と。自立経営が見込めそうな温泉施設に絞って運営を継続すべき時期になってい
るのではないかと思います
- ・以前より思うことだが、収入に対し経費がかかりすぎ。（収入）低価格である。
（支出）市職員が担当している（人件費の抑制）。営業時間の短縮。休日のある程
度増やす。開業以来、結果は自明の理であったにもかかわらず、それを放ってお
いて改善していない行政の責は大だと思います。もっと早期に対策をとってい
かなければならなかったのでは。住民には必要だと思っている人は多いと思うが、
ある程度の市からの補助は必要ではないか
- ・今まで温泉施設にはお世話になりました。同期会等、又親戚の集う機会にも利用
させていただきました。ありがとうございます。鶴ヶ池温泉等は温泉の部分だけ
でも活用できるようなら有り難いものと思いますが、大きい施設なので分けて活
用する等はいかがでしょうか。民営化で受け手がないものでしょうか。私の理想
を申しますと、老朽化と経費の事がありますので、何とも致し方ありません
- ・合併前は、各市町村に温泉が出来て、温泉めぐりも楽しみの一つでもありました。
平鹿町にも「ゆっふる」はありますが、家からは遠くて不便です。秋田県の人口
は自然減少の一途です。財政を圧迫しているのであれば、無くても良いと思いま
す

- ・市の財政が厳しいのはわかるが、丸投げ・責任放棄はいかがかと。地域住民が本当に必要と思うのであれば、利用もある程度見込める訳で、「一定の基準を下回った年が〇年続けば廃止」というように明確にしてはどうか。当然、市側が魅力的なサービスを提供するという大前提で
- ・行くと、結構居るなと感じた。(行った日がたまたまだったのか) それなのに赤字続きで続けられないと言う。なぜだろうと不思議に思う。収益を上げる為の企画・実行が乏しいからだと思う。他人事で、自分達は、ぬるま湯に浸かっていたのでは無いか?そしてそれは情熱のない人の集まりと言う。各部門に於いて、企画・行動・実行が違うのは当たり前で、サービス業はマニュアル人間ではなく、お客様本位の対応をするのが大事です。
 - ①従業員の対応・態度にムラが有る所は必ずダメになる。サービス業の基本を怠る行動をする人は別の部門に移動。人と物のムダを省く。
 - ②地域住民だけを対象とするだけでなく、ビジネスホテル的感觉で宿泊客の取り込み。
 - ③家庭では味わえないお湯の効果等をアピールする。お風呂に限らず
- ・現在、多く利用している温泉施設は、民間業者に譲渡されている所です。接客マナーが大変良く、教育されていると感じます。市直営時代よりも気持ち良く利用できます
- ・横手市も今後、人口減・高齢化していきます。公共の施設を利用する人も少なくなると思います。民営化すると料金・サービス等が大きく変わっていくと同時に、施設の維持に今以上に公金が使われますので、横手市の再編方針をはっきりと示して下さい。途中で休業・廃止させないように
- ・コロナが落ち着けば、もっと利用すると思います
- ・公共温泉が人口の割に多くありすぎると思います。過去には必要であった時代があったのかもしれませんが、現在は必要性を感じません。採算がとれない施設をそのまま民間にあげるといっても、欲しがるとはいえないように思います。スーパー銭湯か健康ランド等、人気のある温泉施設は多数ありますが、このような場所はみんな明るく、清潔です。横手市内の施設は、規模は大型ですが暗く、湿った印象です。感染症が流行している現在、スーパー銭湯を新たに作っても採算が取れるとは思えませんが、利益が見込めないのであれば早いうちに廃止すればいいのに、と思います

- ・それぞれの温泉の特徴や、行きやすく清潔感、サービス（温泉に行きたくなるようなアイデア）を取り入れ、値段もお手軽な金額、設備など知恵を働かせ、人とのふれあいサービスをいかにせる温泉でありたいと感じます。例「あその温泉は、これかここがいいんだよ」と感じられ、人々に心のいやしを求めます
- ・個人的に言いますと、えがおの丘は室内もきれいだし、職員の方々も親切で、ご飯もおいしくて時々行かせてもらってます。プールもいいですね
- ・各地域に一つの施設について、市として携わっていく
- ・人口が減少しているし、高齢者は施設に免許は返納して車がないと行けない場所があり、いくらバスが出ていても、その場に行かないと乗り降りできないのが、減ってきているのでは？ 今はコロナがこわくて行きたいけど行けないです
- ・コロナ禍で温泉を利用する機会は減っていると感じています。社会のコミュニケーションの場でもあり、今後も大切な場所であると思っています。温泉施設と何かコラボでき、若い人たちの意見も取り入れ継続できたらと思っています
- ・近年は農作業が忙しくて、温泉へ行く暇がないが、今後は間をみて温泉へ行きたいと思っています。
- ・市に6つあると言うけれど、高齢の人は運転の問題もあるので、近くにある温泉がありがたいと思います。自分が年をとったときのことを考えると、近くの施設が閉鎖したら困ります
- ・自分はどこも利用した事はありませんが、毎日利用している人はきっと、無くなるとさびしい思いをします。どうか続くことを考えて下さい
- ・利用（温泉）したい時は、市以外の施設を利用すれば良いことで、市が赤字を出してまで経営する必要はないと思います
- ・公共温泉施設の在り方について考えてみると、もし施設が無くなる可能性があるとするならばとても残念です。今までたくさん利用していたからです。しかし不足する経費の一部を市が負担し続けると存続が厳しいのならまた話は別で、必要などころにお金を使ってほしいというのが正直な思いです

- ・財源が不足している中で、このアンケートにかかる支出が無駄のように感じる。印刷代や通信費、一つ一つは微々たるものかもしれないが、これも税金から出ていると思うと残念だ。調査も他機関へ依頼しているようで、市でできないのだろうか
- ・温泉は横手市の顔でした。休館により、地元の人たちが引きこもり前向きな心がなくなっています。どうか横手から若者が楽しめる、横手で生活していけるように再び温泉の営業をよろしく願いいたします。今若い人の中では、サウナ、温泉が流行りです。私も横手に温泉がなくなった為、休みの日は青森等にすごすことが多くなりました。横手でお金をつかうことがなくなり残念に思っているところです
- ・温泉は私は必要であると思います。私は足は不自由ですが、車の運転は出来ますので、地元にもありますが、たまには少し離れた所にドライブがてら行きます。意外と地元の方達が他の温泉に行く事が多いことを感じます。たとえば、雄物川町の方が横手市内や、山内などに行っている事も多いような気がします。遊びに行った時に地元の方に会いたくないと言う方もおります。健康な体を維持する為には、温泉は自然からいただいた大きな恵みであり、いやしだと思います。市の財政の厳しさも理解できますが、年を1つ重ねるごとに温泉は体と心の為に、なくてはならないものだと思います。コロナもあり、経営もむずかしいし、人の集まりも制約される中、また温泉を経営するのも大変かとは思いますが。しかし、どうかして、せめて1ヶ所か2ヶ所残す事は出来ないものでしょうか？この雪の多い横手で、年寄は何の楽しみもありません。たとえば、デイなどを利用する前の年齢の方々です。友達と会って一緒に温泉に入るぐらいの楽しみは、ぜひとも残していただきたいと願ってやみません
- ・前々から分かっていた負の遺産を広々に伸ばし、また更に○な負の遺産になりつつある市政の責任は重大だ。(燃料高騰、地域立地場所、特に冬期)早急に完全撤退、撤去を対応するべきと思う。民間業者に譲渡する場合、助成金、補助金等を支給するだけでなく、広く業者を募り、条件(条令)などある場合はできる限り緩和し、説明・話し合いなどして相談にのるべきと思う。もし経営の場合は、施設を縮小(1~2施設)し、地域、立地場所(導線)など考え、広く地元各種業者に協力をお願いし運営の在り方をもう一度市民協力のもと考えるべきと思う

- ・農作業の骨休めに、気兼ねなく”温泉三昧”を楽しんでいた頃が思い出になってしまいました。状況が落ち着いた時にどこにも行くところがないではもったいないので、絞って続ける判断をしていただきたいものです
- ・サウナがある施設は、サウナから上がったら休めるようにリクライニングチェアを置いてほしいです。ゆっくりサウナに入って休めたら行くが、チェアがない所には行かないです
- ・経営責任者を外部より募集して運営に携わってもらう様にしたらと思います。市職員にも優秀な方々がたくさんおられると思いますが、大変失礼な言い方ではありますが、経営については素人であり、また数年で異動となり責任感及び熱意の継続が難しいのではと思われます。難しい事とは思いますが、市営で1～2の少ない施設で良いのではと思います。コロナ禍後を見据えて頑張してほしいです
- ・個人的に温泉は大好きで、時間があればいきたいと思うけど、コロナ禍で不安になったし、足も遠のいた。近場の温泉に行くことが多い。鶴ヶ池荘は泉質が合っていて大好きだったけど、休業中で残念。温泉だけでも残してほしいと思うけど…景観もよく気持ち良かった。いつ収束するかわからないコロナ禍では、運営も大変。すべてを継続するのは無理だし、もっと他にお金の使いみちもあると思う
- ・私自身、地元に戻ってきて数年しか経っておらず、今回のアンケートを通して初めて知ったことが多いです。温泉も帰省してから、母に誘われて行くことが多く、自らがすすんで利用している訳ではありません。ですが、良かったな。また利用したいと感じる施設ももちろんあります。仕事上、高齢の方と接することが多いのですが、よくお話を聞くと、各年代で温泉施設に対する期待や思いは違います。「泉質」「リゾートスパの様な特別感」逆に銭湯のような「身近さ」「利用しやすさ」など様々です。私は、泉質や施設全体の雰囲気、特別感に対して重点を置いて利用しているため、民間の施設の利用が多いただろうなと思いました。今回の取り組みにおいて、市から投入されている金額をみて、正直驚いています。アンケートを通して、使うべき所や市民がどんな思いで利用しているか等のニーズを把握し、施設全体ではなく、施設に行くためのインフラ整備に活用されるなど、私たちの税金、市の大切なお金が最大限有効に活用されることを願っております。長文、乱筆失礼しました
- ・譲渡した施設が簡単に返還等されないように、また高齢者の楽しみ、生き方、支え方も温泉にはあると思いますので、簡単に廃止をしないで下さい。お願いします。他の事業で終止する事業がもっとあるのではないかと疑問があります

- ・折角作った施設ですので勿体ないと思います。増田、山内、平鹿に1施設ずつ、大森・大雄で合わせて1施設の計4施設は残して、税金を投入しても良いのではないかと思います。民間だと必ず廃止になるので、人口減少になっているが、温泉施設がなくなれば何の娯楽もなくなり、それこそ益々の人口減少につながると思います。(建築年数が若い施設を残す案も良いかと思います) 何とか頑張って頂きたいと思います
- ・公共施設なので、大きく黒字化する必要はないと考えるが、大きな赤字になっても市(税金)の負担が増えるだけなので、民間の知恵も借りながら存続させる道を探るのが良いと考える。赤字だから、利用者が少ないからと休止、廃止を考えるのではなく、「どうやったら」黒字になるか? 「何をしたら」利用が増えるのか? を、他の自治体で成功している所もあるので、それを参考にやるべきでは。知恵を出しなさい
- ・横手市の市民の福利厚生のためでなければ、利益を出す方法をもっと考え行動するべき。こんなアンケートに金をかけるなら客を集めることに金をつかえ。市のなげやりな行動には、腹が立つばかりです
- ・市が携わるべきは鶴ヶ池荘のみ。山内は横手市の東の玄関口にあたり、何も無いところでは寂しい。歴史的にあの温泉を中心に、地域がつくられていること。地元住民も無くなりそうになって初めて、地域の特色である鶴ヶ池荘を中心とした再構築をしようとする機運があるようだ。上限6000万円ぐらいとして携わってはどうか。ゆっぶるは譲渡先さえ見つければやっつけていけないのではないか。問題はゆとりおんである。市全体では1億円未満ではないだろうか?

◇… 雄物川 …◇

- ・市営の施設が半分は残しても可と考えます。経費はかかるかと思いますが、温泉施設が持つ地域の人々の交流の場になっており、特に高齢の人々が手頃なレジャーの一つになっておると考えます。各施設が黒字までとはいかなくても、市民の為にどの程度までは補填できるのかの目安が必要。そしてなんとしても来客を増やし売上額の増加を図るか運営側がもっともっと知恵を出すべき。施設が持つ宿泊施設をどのように来客増に繋げていくか考えるべき。例えば趣味に結びつけ、雪や山野、溪流釣り、川下り（ボート）など。まだまだ市の持っている特質を活用できないか真剣に考えれば必ず良い方向が見えてくると考えます
- ・全くなくなるのはさみしい。市が投入した金額が小さい。さくら荘は残してもいいと思う
- ・家族で行くような設備があると人が集まることが出来ると思います。皆んな集まったら楽しもう
- ・一度譲渡したなら、責任を持って譲渡した法人が運営すべきである。譲渡できなかった施設は解体するなどの対応をして、税金の無駄遣いをやめるべきである。ゆっぷるの改修にしろ、鶴ヶ池荘の改修や管理人を配置するのも税金である。鶴ヶ池荘の設備はボロボロであり、屋外の冷却塔もつぶれている。管理人を置くのであれば、有能な人を置くべきである（ある程度設備に詳しい人など）その施設の修繕に多くの税金を使うのはどうかと思う。運営している施設に人も流れていくと思うので、運営していない施設は廃止するべきである。もっと税金の使い方を考えて欲しいと思う。責任ある判断を市長に願いたい
- ・人口減少に伴い温泉の利用客も少なくなっていると思われしますので、だんだん利用客が減っていくことと思います。私は市の民間譲渡に賛成します
- ・えがおの丘、雄川荘をよく利用していますが、コロナ禍のため、昨年利用は例年より少ない状況です。民営化しても、市営の時よりサービスを良くしようという試みが随所に見られ頑張っているな～と感じておりました。経営者の方も、自然豊かな土地らしいイベントを開催してくれたり、健康づくりに関する事業を展開していただけない、地元民として利用したい気持ちはありました。コロナでなければ、もう少し経営が楽なのかな～でもやっぱり、施設維持に膨大な費用がかかるんだらうなあと素人目にもわかります。一部施設が市に返還され、その施設は休館状態。雄物川町の施設も同様になったら、とても淋しいです

- できれば鶴ヶ池荘とさくら荘は残すべきだと思います
- 最近の横手市の行政の方向は、古いものを切り捨て新しくする。市民が必要かどうかよりも行政上の経費的要因を追求しすぎではないか！ また、今ある人々の思いを大切にしないことで人々の心が横手市への愛着を失っていると私は思う。昨今の新聞でもあったように、県内で横手市の人口減が多く見受けられ、たいてい大仙や他町村の方が、まだましという言葉も多く聞く。市長の姿勢が今だに大規模な施設建設に向けられており、市民生活への目は全くみえない。コロナの中でも美郷や大仙市等での住民への保護が見える中、動きがにぶいし、また市政が住民へ動くではなく、役所へ出向けば動くという古い体質が多い。市長はもっと住民目線を大切にすべき
- 税の使いみちは、皆に平等であるべきです。公共施設であるからには、税を有効に活用すること。また、税収の確保に務めることも大切です。役場職員には、使いみちに見合う仕事を期待する
- 他の市だと小規模に作っている所が多い気がします。大きく作りすぎて無駄が多すぎるとは昔から思っていました。本当は小さくして鶴ヶ池荘やさわらびは残してほしいと思います。温泉が良いのと建物がもったいない気がします。これから何かを建てる場合は、先々のことを考えてもらいたいと今の現状を見ると思います。なるべく昔からの所は行政のちからで負担なく残してほしいです
- コロナ禍のため利用する回数が現在少し減りましたが、私達高齢者にとりましては仲間同士の親睦の場になっており、大切に思っております
- 横手市にたくさんの税金を納めています。ですが、ときが経つにつれて住みにくい市になっているように思える。市長が高橋大に変わってから特にそのように思える。温泉などの施設をもっと有効活用すると共に、東部だけでなく西部地域に注視し、市民の声に耳をかたむけて欲しい。若い世代が安心して暮らせる横手市へ職員たちはもっと全力を注いで下さい。正直、横手市職員はぬるいです。民間人は今日を必死で生きるために全力で頑張っています。※横手市の市民税が高すぎる
- 温泉施設を単に観光産業と捉えるのではなく、健康増進の一助として利用し、活用してきた経緯があった。そのような観点からも、民営の力を借りるのは経営面では良くなるように考えるが、地域活性を図るべく、労働（雇用を含め）の確保があつての、地元根ざした運営をお願いしたい

- 温泉施設は会社では福利厚生費に当たると考えていますので、負担が出るのは仕方がない。市民の楽しみを大切にしてください
- 休業中の施設の維持管理に多額の費用がかかるのであれば、思い切って取り壊した方が良いと思う
- 市営温泉施設は必ずしも必要なものではない。これまで通り譲渡できる施設については民間に譲渡し、できないものについては廃止ということで良いかと思う
- "コロナが流行してから温泉からは遠ざかってます。地元の温泉施設だと、ゆっくりお湯につかれないので(知り合いの人達との会話等で…) 遠くの方まで足をのばしておりました。(岩手の峠の湯等) 今は全然なし!! 雪下ろしの疲れた体には温泉は最適ですね
- 各地域に1施設はあっても良いのではと思います…
- 近い将来、少子高齢化がもっと進んだ時、税収は減少し、市全体で維持していくことが出来なくなる可能性が大いにあるような気がします。きっと、温泉施設は維持していくのに相当のお金がかかるんだと思います。だとしたら、民間のちからを借りるしか解決策は無いように思います。ただ、一市民としては、地元温泉施設があるのは大変有り難いです。自宅の水回りの工事の時など、2週間毎日温泉に通いました。今コロナで人が集まる場所に出かけられなかったのも、余計に温泉利用出来なかったように思います。私は雄物川ですが、大森のさくら荘の温泉は大好きです。残していただけたら有り難いです
- 1.民間への譲渡できなかった6施設については、条件等を良くし何が何でも譲渡する方向で進める。2.増田、山内、平鹿、大雄の地域には譲渡がかなわなかった場合は、現行設備のメンテナンス等を行い残すべきと考えます
- 高齢者にとって温泉はいやしの場合なので、地域に一つ位はなくさないで欲しいと思う。遠距離の場合には温泉地は沢山あるが、長距離運転が困難になった時、近場に温泉があれば大変有り難いです。また、えがおの丘のプールを利用する者として、健康増進の為、少しでも安全安心に利用できる期間が続くことを願うばかりです
- 健康増進や観光振興などの目的もあり、公共温泉施設はある程度採算を度外しても必要性のあるものは残すべきだと思う

- ・最良の解決策は民間譲渡だと思うが、現在の時勢では受け手はないと思われる。根本にあるのは人口減少、少子高齢化。人口減少は数十年も前から予想されていたが、県や自治体が掛け声だけで具体策を示さなかったツケが今の現状でしょう。行政だけの責任とはいえない難問題と思う。全国ワースト 10 に秋田県は常連になっている。意識改革が必要でないでしょうか。市営温泉施設だが、年間 2 億 5 千万円も経費をかけるよりは廃止も含めて進めてもらいたい。温泉施設に限らず、廃止、縮小となると必ず存続等の有無が議論されるが、そうなる前に市民の皆が利用すべきと思います。以上。その他市へのお願い（上記事案とは関係ありません）役所、企業等の通知・告知で「詳しくはホームページで」とやたら目立つようになりましたが、私のようにスマホもパソコンも買えない、使えない、必要ないと思っている人がたくさんいると思います。スマホ・パソコンを皆持っているという前提としているのではないのでしょうか。疑問符が付きます
- ・地域ごとで考えた場合、地域に一つ施設があれば気軽に行ける利便さがあると思いますが、市が投入した額をデータで見ると、ムダさもあるのでは…と思えます。市営→民営化が難しい施設は廃止の方向で考える時なのではないのか？
- ・温泉施設のみではなく、道の駅やアウトドア（BBQ 広場やテントサイト等）等が併設されている施設があればいいなあ～と常日頃から思っています。横手市産の物を販売したり、その場で BBQ で料理が出来たりすると県内、県外からの利用者も増え活性化されると思います。予算等でなかなか難しいかと思いますが…。一般市民目線からの理想です
- ・「どこに行っても温泉のある横手市」を売りにするのもありと思うけど、市で面倒みれなさそうなので、市が関わるのは違うかなと思いました。ただ、この市に市民が誇りに思えるもの「おらが町」のここが好き！や、うれしい！や、自慢できるものや幸せを感じれるくらいの故郷愛や夢、みたいなものは必要だと思います。たとえば、お金や手間ひまかけても
- ・雄物川の雄川荘とえがおの丘は、民営化施設となりましたが、横手市、市民の方々にとって温泉に入り、食事もでき、そしてプール、スポーツなどが出来る施設です。この施設が無くなってしまったら、私達の憩いの場、癒やしの場も無くなり、楽しみがない生活になってしまいます。県外からお客様が来た時は、やっぱり「ふるさと村」と「雄川荘」そして「えがおの丘」です。ずーと運営が継続されますようお願い致します
- ・赤字補填しての推進は無し

- ・市が考える公共施設のあるべき姿と、市が取り組む具体的な内容については大賛成ですのでよろしくお願いいたします
- ・コロナで、温泉に行きたくても行けないですね。コロナ前は年に10回は温泉を利用していました。税金の投入額が大変なものですね。使用しない建物も税金がかかりますからね。どちらを向いても複雑な気持ちです
- ・4~5ヶ所の温泉に行っているのに一つの質問の答えが一つではないです。私は3ヶ所ぐらい日替わりで行っているので、沢山答えたかったです。もう少し答えが沢山あったほうが良かったかなと思います。そのうえ、大人1人の温泉が500円は少し高いかなあと思います
- ・今後も人口減少が続き、施設の利用者は少なくなると思います。現在の温泉施設を維持するため修繕など、多額な費用が必要となる。段階的に廃止もやむを得ないのではないかと
- ・コロナ禍となり今はなかなか難しいでしょうが、温泉施設は市民のいこいの場でもあります。特に高齢者にとっては…つかれた時などは移動手段があるので、市外の温泉（東由利）に出かけたりすることもあり、温泉好きで、いやしを求める者にとっては、すべて無くしてしまうのはとてもつらいです。今後ますます高齢者増加していくことを考えれば、せめて圏域ごとに1ヶ所とかは存続して欲しいと思います。また民間へ譲渡した施設についても、まったく市が責任がないという立場ではなく、存続するための何らかの補助や援助は必要ではないかと感じます
- ・町中であって、車のない人も利用しやすい施設を残すといいと思う。（ゆとりおん大雄など）
- ・コロナで、二年前から利用なし。山内鶴ヶ池が第1位。県南では鶴ヶ池が1番良いと思う
- ・今、コロナで行きにくくなっており、コロナが終わったら温泉に行きたいと思っています
- ・市が真剣に取り組んでいない。入浴者減少について市の人口との割合示されていない。本調査がなぜ委託して実施しているのか疑問である

- ・ 1 町村に温泉の数が多すぎる
- ・ ゆとりおん大雄を利用させていただいております。他の温泉施設は部屋を借りた場合、時間が延長することができなく、延長料金を支払えば長く過ごす事ができ、ゆっくり過ごすことができ、たまの友達との集まりで利用させてもらい、助かっています
- ・ ゆっふるなどは、高台にあり見晴らしも良く、キャンピング施設を整備したり、りんごのもぎ取り体験をセットしたり、蔵やたらいこぎ体験などを組み合わせて若い客層を呼び込んだりすれば良いと思う。また、えがおの丘の周辺も同じ様に河川公園にキャンプ施設を整備して料金を取り、セットにすれば良いと思います
- ・ 今年は大雪で、雪寄せをして腰を痛くして、えがおの丘・ゆとりおん大雄で入浴サービス券を利用させていただき、とても助かりました。ありがとうございます
- ・ 地域住民の交流の場として必要だと思う。会食の場としても交流の場として有効だと思う。温泉だけでなく、小中学生に地元食材を伝える場、教育の場として使用して欲しい
- ・ 返還された？契約上 OK なのか？ そもそも民間の事業者を選定する際に誤りがあったのではないか？未だに説明責任が果たされていない！ すべてを民間業者へ譲渡する考えは誤っていないか？市政運営が見えてこないし、方針も見えない。人を呼び込んでおいて、休む所もない、食事する所もない、泊まる所もない。いくらなら税金が投入できるのか？行政が運営する事に不都合があるのか？
- ・ 温泉施設に毎年多額のお金を投入するのは、市としてやるべきではなく、民間に任せるべきだと思う。これから人口が益々減少していく中で、市の財政が苦しくなる事が予想される時、維持管理だけでも大変なのだから、解体もやむなしの姿勢で臨むべきである。仮に民間譲渡をする時でも、補助金付きや市への再返還などはない事を条件にすべきである。大体、この種のアンケートを民間会社に委託して、市の税金を使ってやらせている事からも、横手市の市長をはじめ金の使い方が分かってないし、能力を持ち合わせていない証拠でもある
- ・ もっと利用したいが、なかなかタイミングや子育て等で利用できないでいます。もっと利用してもらう為に、道の駅を隣につくるとか、買い物（市内）をした時に割引券等をもたらえれば、どんどん利用すると思う。コンビニ、スーパーと、もっと手を組んで計画化していきましょう。なくなると困ります

- ・民間への譲渡ではなく、市独自の考えで継続か廃止かを思い切って決定してもらいたい。民間に譲渡したにもかかわらず、経費の負担はありえないと思います。無駄な金は使わないように
- ・市の財産として温泉を残すことは大切であると感じております。横手市の温泉の需要は思っているよりも高く、コロナ禍の現在でもお客さんは多くいるような気がします。全ての施設を残す必要はないと思いますが、残すべきところの管理やサービスの向上は、今以上に力を入れてもいいと思っています。それに見合った対価はあるはずです。官民合同で、横手のよいところを守ってほしいと願っております
- ・温泉施設利用することがほとんどないので、税金で存続させることへは少し抵抗がある。民間での運営には賛成だが、コロナ禍では集客も出来ないので手を出す企業もないと思う。むずかしい問題ですね
- ・高齢化が進み、運転免許返納がさげばれておるので、週に2～3回、バス等を出してもらえれば利用する人が増えるのではと思います
- ・コロナが心配で温泉に行っていない。お金を出すので、大浴場の貸し切りができるなら行きたい。一組何人、一時間とかの予約ができれば良いなと思った
- ・横手市のHPで、「施設の改修コンサルティング」の項目を閲覧しました。調査結果は、施設返還に至った状況が垣間見えます。ゆーらくは解体が必要、鶴ヶ池荘は少なくとも2億円以上の改修費が必要とのこと。返還後の調査とはいえ、ゆーらく・さわらび・鶴ヶ池荘の3施設をセットで譲渡することは、この調査から鑑みるに無理があったのではないかと察します。この調査は、譲渡を計画する前に実施すべきではなかったか、そうすれば返還は避けられたのではないかと思います。また、コロナ禍、原油価格高騰によって譲渡した施設も営業困難になり、返還される可能性もあります。民営化した施設が安定的に経営できる施策も必要かと存じます
- ・健康の駅のような、体づくりの施設をもう少し増やして欲しいと思います。私たちが行きやすい、利用しやすい様な場になったらいいと思います
- ・かつて地元にあった医院・保育所・小学校などが、全くなくなり寂しい限りです。歩いて行ける施設があるのはありがたいことですが、昔の話ですね。大変かと思います。でも経営のことを考えると痛し痒しですね

- ・存続してくれれば良いとは思いますが、多額の費用を市が負担しつづけるのには反対です
- ・コロナ禍で大変な時期ではありますが、たまにゆっくり温泉に浸かりたいと思う時があります。ホッとしますね、温泉に浸かると…私たちは近くに温泉があり、遠くに行ってみたい時は増田の方まで足を運んだ時もありましたが、もう少し道路の拡張をお願いしたいと思いました。お湯はいいけど、なかなか行ける距離ではなく残念に思いました。一つでも多くの施設が残ることを期待したいと思えます
- ・まずは、市の職員を減らせ。同じ固定費でしょう。後はアンケート等ではなく、市の方針としてしっかり分析して推進すれば良い
- ・えがおの丘のように、健康とからませて経営していくことができれば最高です
- ・休館中の施設も市や民間、またクラウドファンディングや温泉以外の活用などして、利用できる様にしていきたいです。温泉施設は駐車場が広いので、車中泊など、温泉トイレのみ利用可などしていけば、通常の日帰り入浴と併用していけば…
- ・鶴ヶ池荘は、譲渡先が見つかるまで規模を縮小して営業してもらいたい
- ・県内外から集客できる施設を考えるべき。魅力ある町づくりをすることによって、ある程度の少子化対策もできると思う
- ・誰でも身近に温泉施設があり、利用できる事は有り難い事です。コロナ禍前は、週3回利用していました。しかしながら、年々人口減少でこの先ますます赤字補てんしなければ運営ができないことは、もうやめた方がいいのではないのでしょうか。廃止するべきと思います
- ・横手市としては、今かかえている6施設を譲渡する方向で動いているのでしょうか？ 民営化以外の施設で、経営状況の見通しが立たない、築年数などを考慮し、いくつかは廃止を検討した方が良いと思います。温泉施設がなくなる事で、失業者も増え、利用者が困ってしまう状況に陥る事は、何とか回避できればと考えますが、各地域に1施設あれば充分ではないでしょうか
- ・温泉施設が年々減少しているので、なるべくなら残っていて欲しい!!

- ・返還された施設について、いくつか疑問を感じます。市では、譲り受ける企業の経営能力や、経営計画等十分に審査したのでしょうか。経営が難しくなったから、返還することはあまりにも無責任と思われるし、経営改善努力をしたのか、経営手腕に疑問を感じます。今後の意見としては温泉施設建設ブーム時の施設が、現在市の財政に圧迫を与えているのは確かであり、今後利用者は増える見込みは無く、返還された施設は、早急に解体、市営施設は老朽化の状態を見ながら、徐々に廃止していくべきと思われます
- ・清掃の行き届いたきれいな施設と、おいしい食事ができたら最高です。コロナで大変な時期ですが、頑張ってもらいたい。落ち着いたら是非、行ってみたいと思います。(私は、毎年市外の温泉施設に泊まりで行きます。ゆっくりできて、おいしい食事をとって、とてもリフレッシュできます)
- ・温泉施設を大型化しなければ、これだけの維持費に苦しまなかったにと残念です。例をあげて、「鶴ヶ池荘」もひなびた温泉に地元の人達の朝市が軒を並べ、その食材を使って自炊(キャンプ等)ができる温泉であれば、田舎のスローライフに憧れる人たち向けの観光呼び込みにもなっていたかもと想像しております。田舎ならではの良さを大型化によって打ち消してしまったのではと思います。維持費も大変ですが、古き良きものとの共存はどのようにするべきかと考えてみてもいいのではと思うところです
- ・温泉と併用したプール、運動施設もより整備していくことで子供たちの楽しめる所となると思う。現状から少し施設数を減らし、少ない物をより整備していくことがよしいと思います
- ・もともと新横手市になる前までは、各町村で利益を得るために温泉施設をやっていたのではないと思われる。町民、村民の福祉の向上のためにやったので、今更赤字だから民間に譲渡するのは無責任であると思われる
- ・民営化して、やって頂いている施設には本当にありがたく感じております。コロナ前はもっと色々な所に行っていました。今、まだコロナのある中で、このアンケートにしっかりお答えできずすみません。今後たしかにコロナを経験してしまったので、密になる温泉は流行らないかもしれません…ただ、横手市以外もだいぶ施設が無くなってきたと思っています。リラックスしたい時はやっぱり温泉につかりたいと思います

- ・温泉施設が多い事は良いことだが、ましてやコロナ禍の先を見据えて経営して頂きたい。経営するにあたり、莫大な経費がかかっていると思うし、後期高齢化も進んでいる。グラフを見ると、コロナとは関係なく入浴者が減っているのが分かる。少し対応が遅かったのではないですか？
- ・民間に譲渡するのはいいが、事業者への負担が大きすぎるように思う。10年位の譲渡期間をつくり、その間を民間事業者主導の第3セクター方式で売上向上につなげていくべきと思う。更には、温泉施設だけでなく、複合型の施設にするようにするのが良いと思う。温泉を利用した栽培、加工施設、販売施設、食事などの併設も考えるべきだと思う
- ・温泉が好きで家族で鶴ヶ池荘をよく利用していました。大広間を使用して1日ゆっくりと過ごすのが休日の過ごし方でした。鶴ヶ池荘は大きなサウナや露天風呂もあり大好きな施設でした。残念でなりません。今は仙南のゆーとぴあに通っています。横手市民が横手市以外の温泉に行ってます。他の施設はいいのでぜひ、鶴ヶ池荘だけ運営継続をおねがいします
- ・市内の温泉施設は一部、地元の人には態度が悪かったり、不愉快な思いをしたり、そんな事があつた事が多くて行こうと思う気持ちがなくなりました。私も同じ接客業を長くしていますが、ありえない事ばかり。ホスピタリティの勉強をしているのか？と思う事があつたりしました。お客様にする態度じゃないよね？と思う施設が一部あつて、そこには二度と行こうと思いませんでした。地元の人にもっと利用してほしいのなら、その接客の態度をどうにかするべきです。ホスピタリティを勉強した方が良いかと思う。アンケートには関係ない事を書かせてもらいました。本当に市内の施設は地元民に態度悪いです
- ・サウナに入る目的で温泉施設に毎週行ってます。500円位の料金で温泉施設に入るには丁度いいのですが、経営は正直に厳しい現状だろうと思います。(コロナの影響もあり)。黒字化に出来れば、存続を可能と思うので、全国の温泉施設で黒字経営の温泉施設を調査して真似していくとか、あきらめないうで黒字化を目指して欲しいです。サウナのどとのうのブームに乗っていければいい。市内のどの施設も、家の近くの温泉で差別化がないです。(同じです)個人的には熱い温泉、熱いサウナ(100°近い)冷たい水風呂が好きなので、そのような施設が欲しい。税金投入しても3施設は残して欲しいです

・20代の頃から温泉が好きで、記載されたい施設はほぼ利用させていただきました。どの施設もお手頃で、不満を感じたこともなく、また長年利用してきた地元の方々のことを考えると、どの温泉施設も無くなってほしくないと思うのですが。全ての施設もある程度の年数が経過し、維持コストが加速することや、これからますます高齢化が進み、人口減が明らかになっていく中で公共サービスとしての需要や他公共事業との優先順位を考えると、全ての施設の維持存続は難しいのかなと思います。各施設、生き残りをかけ有識者や愛好家の方々を巻き込んで、収益化に繋がる取り組みを実行していただき、1つでも多くの施設が愛されながら存続していくことを期待します

◇… 大 森 …◇

- ・無くすのは簡単。継続するのは大変な事ばかりですが、地域にある施設は市民にとってコミュニケーションの場であり、憩いの場でもある。無くすと市民が泣きます
- ・経営者ならば当初から採算がとれないのはわかっています。旧市町村で2施設も所有している町村もありましたが、これは論外です。採算のとれない施設はやめるしかないのです。会社ならば倒産です。温泉施設を福祉施設と見るのはできない時代になっています。市内の利用できる温泉施設に利用券を出すのが特筋であると思います
- ・市政に対して問責する。農業について。米価が2割も減少し、特に専業農家が大変な状況の中で、市のお金を箱物、インター、工業用地 etc にばかり使わず、特に県内の自治体の農家への支援給付金 10a2000 円は焼け石に水である。低すぎる！ 大仙市、美郷町でさえ 3000 円/10a である。市長は第一次産業について、わかっていない。横手市は秋田市に次ぐ自治体であるにもかかわらず、もっと農業経営に力の入れ方かなっていない。歴史も城好きもよいが、特に郡部が弱っている。横手旧市内の業者の顔色ばかりみないで、特に郡部の状況に注意せよ。
横手市の農業は終わりになるゾ！。ホジ出せ!!
- ・財政も持ち出しは当然である。雇用、市民サービスは維持すべきである。新しい建造物は更新を遅くする
- ・自宅の風呂が故障しがちです。近場の公共の温泉はとても必要です。金銭的理由で遠くの温泉に行けない私にとっては、大森温泉に行くのは必要であって、そして唯一の楽しみであります。コロナで大変でしょうがこれからも営業してくれる様お願いします
- ・市に返還された施設に関しては何かしらの訳があって戻されたものと思いますので、それらの施設は廃止し、「ゆっふる」「さくら荘」「ゆとりおん大雄」のみ残して、再度経費を見直した上で、継続すべきと考えます
- ・入浴料の金額が上がれば温泉に行く回数が減ってしまうので、値段はそのまま、イベントなどの工夫をすれば人は集まってくると思う
- ・温泉は絶対に無くしてはいけません

- ・コロナが収束しても利用者や収入が V 字回復することはないと思うので、早く見切りをつけた方が良いと思う
- ・大森住民としてさくら荘は必要な温泉施設です。中学校も消防署も移転してしまいました。横手市のはずれに位置する立場として、さくら荘の継続は実現してもらいたいと思います
- ・老人の楽しみの一つとして温泉があります。どうか無くさないで続けて下さい。楽しみが何にもなくなってしまい生きている意味がありません。お願いします
- ・仕事、子供の世話、介護などから解放され、夫婦ふたりこれからの楽しみが温泉めぐり。色々な場所の温泉をまわって歩くのが楽しみです。年金ぐらしの私達には、何にも変えられない楽しみの一つです。一つでも施設がなくなったりすることは考えられません。絶対にやめないでください
- ・子供がまだ小さく、ゆっくり温泉を楽しめないで、楽しめるようになるまで、近くの温泉には頑張って欲しいです！
- ・大森にとっては「さくら荘」はシンボリックな場所です。しかしながら、老朽化が進んでいるので、このままの継続は難しいと感じています。民間譲渡でリフォームなどをしていただき、身近な形であって欲しいと思います。また、横手市現在、起業に力を入れているようですが、若者の就労にも横手の将来を考えると力を入れていただきたいと思います
- ・人口が少なくなり財政が厳しい状況において、どちらかといえばお年寄りの利用が多い温泉施設等は今後、更に縮小していくべきだと思います。将来、体育館・市民会館の建て替えがあるので、その周辺にファミレス、ファストフード店等の飲食店を誘致してほしいです。ラーメン店については、湯沢市、大仙市と比べて明らかに数が少なく、味もイマイチな店ばかりです。飲食に関しては、他市と比べて明らかに劣っています。どうか検討をお願い致します
- ・私の地域にはさくら荘があります。今後も使用したいので休業になってしまうとこまります。今後も市の支えをよろしくお願いします
- ・現在の公共温泉施設は、地域のお年寄りの集う場所であり、唯一の楽しみ場となっておりますので、今後も公共温泉として市が携わっていただきたいと強く思います

- ・大森温泉にいつも行ってます。広くてとても気持ちいいです。低料金で行けるところあるのは、低所得者にとってとてもありがたいです。70才を過ぎると楽しみはほとんどありませんが、大森温泉に行くのを一番の楽しみにしています。コロナに注意してこれからもずっと行けたらと思っております
- ・温泉施設は心も身体もあたたかくしてくれる特別な場所だと思います。市外の友人が横手の湯っこを気に入ってくれて通っているくらい、素敵な温泉施設が沢山あります。何かと大変な問題はありますかと思いますが、ピンチをチャンスに変えて横手の湯っこを盛り上げて行ってほしいです
- ・施設内に入った際に、目にするものが小ざれいに見える所もあれば、そうでない所もあります。例を上げれば、シャワーホースのいたるところに緑のカスがこびりついている施設もありました。これではリピーターにはなれません。とにかく一流までとは言いませんが、他の特に都会の施設を見学してはどうでしょうか
- ・Q9のことについて。旧市内には企業温泉が多くあるので、市の西部にある「さくら荘」と、東部にある「南郷杏林荘」南部の「ゆっふる」の3施設を、市で今後も残すべきと思います。他の3施設は民間譲渡と急ぐべきと思う。(市の負担軽減を図るべきです)
- ・今コロナがあるから不可能だが？ 各団体や町内会に活用してもらうようにPR。他県、他町村とのタイアップも必要かと？観光業者とかも
- ・市で運営してほしい。営業時間を長く延長し、会社帰りの人なども利用しやすいようにしてほしい。料金は上げないでほしい
- ・私は大森町民ですが、自分はさくら荘は公共温泉施設という認識は薄く、会議、総会、冠婚葬祭などで利用するために使わせてもらっています。そのため、ついでに湯に入っていこうかという感じです。最悪、湯が無くても宿泊できる公共施設として必要だと思います
- ・急な世の中の移り変わりで、温泉に限らず成り立っていかなくなる物ばかりです。ですが、やはり地元にあると思えば心強い。ましてや高齢者になればなお更です。なるようにしかならないとは思いますが、最低限残す努力は必要だと思います
- ・地域事情を特に考慮して欲しい。

- ・コロナ禍という事で、様々な施設で苦勞されていることだと思います。願わくば全施設が残れば良いと思いますが・・・なかなか難しいことですね。老若男女の癒やしの場ですが、特に高齢者の方たちにとっては親しみのある場所だと思います。施設が減ってしまうと楽しみも減ってしまうような気がします。全施設は難しいかもしれませんが、1つでも多く施設が残ってくれたらいいと思います
- ・さくら荘は大森町には無くてはならない温泉施設だと思ってます。存続するようお願いしたいです
- ・私はさくら荘を利用させて頂いています。天然温泉は貴重な財産ですし、同窓会等で宿泊の方をよくお見かけします。遠方から来られる方は、ふるさとを公共の施設でゆっくりと楽しまれているようですし、何かの用事で来られた方でも、親類宅に泊まるより気兼ねなく必要な時間以外を、さくら荘で温泉に入りながら楽しまれているようです。以前はバスケットボールやバレーボールの合宿で利用されていましたし、体育館や野球場、テニスコートとスポーツ施設が近くにあり、とても利便性が高いのが、さくら荘だと思います。休日に早朝の温泉は、日頃の疲れやストレスからの開放にもなっています。維持管理は大変かとは思いますが、絶対に失うことなく存続してほしいと願っています
- ・コロナ禍でも「さくら荘」にて綿密な計画を立て、還暦をやれた事は本当にうれしかったです。大森町で生まれ、育ち、老いていく幸せは、公共施設やさくら荘はかけがいのない物です。無くしてほしくないです
- ・公共施設は他市町村でも展開されております。実際集客の多い、温泉施設もあります。横手のように多くの施設があっても、年々ご利用の方が減少しているのはなぜなのか？ 各施設でカリキュラムをしっかりとやっていたと思いますが(例として:年月日の計画この中でのイベント、絶対この施設では他に負けないアイデア魅力ある施設等)。これだけ立派な施設を市で譲渡、とても残念なことです。今の現状ではわからない訳でもない。またコロナ禍で再度大変!! 各地域には選ばれた議員がいます。特に温泉施設をもうけている議員には、譲渡するにも継続するにも解決に向けて頑張ってもらいたい。このような難問の時こそ議員たちの頑張り、活躍どころだと思う。各議員たち必死に取り組んでほしい行動のみ!! 心より望んでいます。(もう少し町の声にかたむけてもらいたい)
- ・過疎化の進む地域の中で、温泉施設は地域の交流の場としても貴重な所となっていると思います

- ・目的が黒字化であれば、無くなってしまうのはしょうがない事。市、公共の温泉施設を考えると、計画性ある補てんはあるべきだと考えます。コロナの影響での減少は仕方ないと思いますが、コロナ禍でもサウナの利用・需要は大きく増加傾向にあり、経営を盛り上げる施策の一つではないかと思えます。色々な施策を考えていただき、民間と市がしっかりと協力して施設の維持・継続を望みます
- ・コロナが無くなったら、また利用します
- ・市の貴重な財産である温泉施設を廃止して、今後のビジョンを示さず廃止していいでしょうか。健康施設を廃止して今後どのような健康政策するのか？
- ・譲渡した施設が理由がどうであれ、返還されたことは納得いかないし残念です。責任ある譲渡先を決めてほしかった。私の住む大森町はリゾート地して、さくら荘の周りに体育館、テニスコート、ゴルフ場、公園があり、日帰り入浴はもちろんのこと宿泊もできて温泉は人気があります。老人クラブ、学生のスポーツクラブの会合、会食、宴会に送迎もあり、高齢者にも多く利用されています。各地域局の職員の方々にも率先して、忘新年会等の会合、宴会に利用していただくよう働きかけて、さくら荘は存続してほしいと願います
- ・平成 29 年の豪雨被害の際、自宅が床上浸水で長らくお風呂に入れず、さくら荘の存在は大変有難く思いました。日頃の憩いの場としても必要な場所だと思えますが、緊急時にもあれば心強い存在です
- ・大森地域に在住しています。大森には野球場・テニスコート・多目的グラウンドがあり、多方面の方々利用されています。そこに宿泊施設があるからこそその利用ということも考えられるかと思えます。地域住民の方々も沢山利用されています。経営難であることは分かりましたが、利用したい方もたくさんいることを考えていただき、経営を続けてほしいと思えます
- ・今はコロナも多くなり、行く回数が減りましたが、やはり地元温泉施設がないと困るし、私達の楽しみもなくなってしまいます。国や県、市でも色々な面でお金がかかるかもしれませんが、地元のかげがえのない財産を守ってほしいと願っております。私は毎日（コロナ）がおさまる日を願って、家の神様に手を合わせています。皆さんもそうだとお願しております。どうぞ若い世代の人達のためにもよろしくお願ひ致します
- ・冠婚葬祭の 2 次会及び接客用として必要。在には遺してほしい

- ・横手市の人口減少に歯止めがかからない状況が続いておりますが、新しい企業も参入するとか？ 若者の定住を含め、市の発展と合わせ地域の発展を考えていかなければならない。その中で温泉施設へも目を向けて、どの地域へ行っても入れる温泉施設は残すべきと思います。運営経費の問題が一番だと思いますが、ふるさと納税とかで具体的施設名を上げて寄付をつのるとか、居住地住民からも趣旨をくんでいただき支援してもらおうとか、知恵を出し合って盛り上げてもらいたい。新たな施設づくりは見た目もいいし、”ハリキッテ”向かいますが、でも維持経費は雇用対策効果を考えたら…また、大仙市・由利本荘市などは先がけて早く作っている…もっと早い時期プランがあればなあと思った次第です。財政も考えなければいけませんが、むずかしいところではありますが、頭の転換、アイデアを活かしてほしいと思います
- ・地域住民の憩いの場として、各地域に温泉は必要です。このコロナ禍の折、民間での温泉施設経営はとても難しいものだと思います。だからこそ行政による運営が必要だと思います。農家のほとんどが兼業農家です。勤めの休日に農作業する方が多いと思います。農作業の重労働の疲れを癒す温泉が近くにあるのは本当に助かります。住民の健康維持を兼ねて、日帰り温泉だけでも継続をお願いしたいと思います。私はよくさくら荘さんを利用させて頂いているのですが、温泉の他にもバーベキュー広場やコテージがあるのはとてもいいです。運動施設のすぐ近くの立地条件の良さなど、利便性を考えても条件の良い施設だと思います。昨年、新しくテニスコートも出来たことですし、これからの工夫次第では集客が見込めるのではないかと思いますので、継続して頂けるよう方向でご検討をお願いします
- ・温泉施設の問題より、市の人口減少、県外への流出を真剣に考えるべきだと思います。今年、子供が生まれましたが、その子供が大人になった時の秋田県、横手市の未来があまりにも暗すぎます。子供にもっとたくさんの選択肢がある市を目指して下さい
- ・新たに新しい物に作り変えたらと思います。何億かけても意味がないような気がします。でも温泉は大好きです。建物は、皆様を新たな気持ちにさせて下さり、朝日の希望も与えて下さいましたが、建物は年をとりました。年には勝てません。従業員もだんだんマンネリ化しています。新しい物に何億かけたらどうなるかと思う。すみません。私の独り言でした。聞いてくださりありがとうございました。市民にアンケートで、私たちの横手を住みやすいように考えてもらうのはいかがですか？ 私たちにも何か出来ないかなと考えます

- ・地元根付いて、その中で保養・休養の場としても大きな役割を果たすとともに、誰かと出会い話す場としても、心身共に活力を生み出せる場でもあると感じます。小さな頃から慣れ親しんだ施設で、色んな行事や記念日にと足を運んでは、素敵な思い出・私の人生そのものと言っても過言ではないくらいに関わり深い所です。年を重ね、散歩がてらに行けて、知ってる顔の人達とゆっくりゆったりお風呂に入ったり、たまにはゼイタクに料理を食べたりと楽しく老後をお過ごししてゆくんどうな〜と自然に思っています。今後の人生に不可欠な、大切にしたい施設だと思います。ねぐなったらどっこさも行くどごねで、誰でも会わねで家さいで、だま〜ってTVでもみでねねべな。としよってがら行くどごねって、まんじ、おもしろぐねべったよ。どうか宜しくお願いします。私の憩いの場を奪わないでください
- ・キャンプ場、オートキャンプ場の併設。RVパーク等の併設。コロナでキャンプをする人が増えているので、温泉利用し、そこで宿泊もしくは車中泊できるような設備を併設するのはどうかと思う
- ・核家族化が進み、各家々での冠婚葬祭があった時などや、その他の宿泊等がある場合に、民間の宿泊施設もなくなってきており、公共施設の宿泊施設はぜったいになくなっては困ります。ぜひよろしくお願いします
- ・ただ温泉が良いとか悪いとかでなく、もう少し魅力的な心がこもった施設であってほしい。小規模で良いし、清潔であってほしい。又、従業員みんなで、お客様が何を望んでいるか話し合った方がよいのでは。期待しています…
- ・私は月に一二度の利用者ですが、公共の集う場所、特にこの地域にとって楽しみ場所は温泉だと思います。年配の方が楽しそうに温泉に入り会話している姿は、こちらのいやし、又励みにもなります。この地域に人を呼び込むという上でも、アピールすべき事の一つが温泉施設だと思います。財政が大変な上でのアンケートと承知しておりますが、是非とも旧市町村に一箇所は、今後共継続を希望します
- ・さくら荘を年に数回使います。(数人で)。地元なので、便利で女子だけの食事会もあり、とても美味しく食事ができていて、このまま(その都度)使って行けたら最高です
- ・利用者が増える様、民間に任せるべき

- ・なくさないでほしいです。でも年間2億6千万円はキビシイです
- ・とても難しかったです。コロナで今はなかなか温泉に行くことができないけれど、地元になんにもなくなったらさみしいです。人口も少なくなり自分も老いてきて、町もさびれていくのは悲しいかな
- ・行政による温泉経営はその役割を終えつつあっても、地域にとっての役割は終わったのでしょうか。入浴者の数もたしかに減少しているし、(このところのコロナの影響)それにつれて赤字経営も続いています。何とか地域に“おらほのゆっこ”が残っていてほしいのです。市と民間の強力によって可能なものかどうか模索は出来ないのでしょうか。コロナがあけて、おじいちゃんおばあちゃんの集える場所のひとつがなくなることはさみしいです
- ・人口の減少と高齢化に伴い、利用者の減少で温泉施設の運営が厳しくなっている事は理解できるし、コロナ禍での運営がさらに厳しさを増す以上、各地域に合ったニーズで取り組んでほしい
- ・大森地域にはどちらか1施設を残してもらいたいと思います
- ・サービス向上の為、民間に委託が望ましい。その間経費補助→譲渡へ。サービス面で多々考えることがあります。施設が汚い。プロモーションに経費補助すべきです。新規県外からの魅力を打ち出すべき。プロモーションを代理店にまかせるべき。食堂のクオリティー、独自性を打ち出す。地元はもちろん大事だが、県外・インバウンドを視野に入れるべき。露天とサウナの拡充。マナーの向上、体洗ってから湯船に入れ！
- ・人口減少がこの先も続くことが予測される中で、温泉施設がなくてはならない存在だとは思えない。また、赤字経営が続けば、市の負担しいては市民の負担になると思う。コロナはこれからもなくならないと思うし、以前のように皆が集まって何かをするということは、今後も制限されると思う。以上のことから、赤字幅が大きい施設に関しては積極的に廃止すべきだと考えます
- ・大森には、さくら荘しか人を呼べる施設がありません。民間に渡った場合、利用料が高くなったり別の施設に建てかえられる場合が考えられます。なくならないよう、お願いします
- ・税金の有効利用を希望し、不採算施設の廃館、統合等も止むなしと考えます

- ・築年数、利用者数、その他での経営継続を続けて欲しいです。横手市らしい場所であって欲しい。駐車場の確保は大切だと思います
- ・市所有の温泉施設 6 か所のうち、申し訳ないがさわらび・ゆうらくはあまりにも遠く、ゆとりおんは以前の商品トラブルからの不祥事あたりより、客足は遠のき、なかなか戻ってこないようだ。大森在住だからといって、さくら荘を残してほしいと思うのではなく、せつかくテニスコートの整備をして、すぐそばに体育館・グラウンド・野球場・そして温泉・ゴルフ場もある。今はコロナ禍で難しい事情はあるだろうが、テニス大会を開催できるだろうし、高校・大学の合宿誘致等、今まで以上に働きかけることはできそうな気がする。(テニスコートについて) 冬場も使えるように、一部は屋根付きにするべきであったと思う。通年利用を目ざすべきであったと思う。予算問題だろうが、冬場の利用増できれば、資金回収も早くできると思うのだが
- ・公共温泉施設は、なくすべきではないと思う。私は大森町に住んでいますが、コロナのこともあり、なかなか自由に遊べる機会はなくなりましたが、みんなの健康は、身体の元気だけでなく、ゆっくりするところ、遊べるところ、子どもも大人も気軽に飲んだりするところもなくなり、身体も見た目にも元気がなくなっていく限りです。せめて今ある公共温泉施設だけでも活かすべきだと私は考えます。もし私にお金と少しの若さがあったら、温泉の近くに気軽に立ち寄れる、気軽に飲めるコーヒー店でもやりたいと思います。ぜひ「市」で温泉施設を元気に、町を元気にして下さい。仕事をしている人のモラルも勉強してほしいと思います。それ以来、温泉は利用していません
- ・各施設に配属又は勤務される方々に営業努力が必要と思う。もっと外へ営業・施設の魅力を配信した方が良いと思う。どうすれば客を呼び込めるか、週 1 回ミーティングをもち、現状の採算状況はどうか、何故・何故を繰り返し、皆で問題意識を共有し、緊張感と危機意識を持って
- ・近くに温泉施設があるだけでうれしい。自宅の風呂とは全然ちがいますし、ゆっくりと時間が流れて、体全体がホワホワしていやされます
- ・ふるさと創生で造り上げた事業。財政がたちゆかない苦しい状況は確かです。充分に理解していますが、なんとか工夫して経営していただきたいと思います
- ・市の管理であれば、災害時の避難所や新型コロナの待機所等に利用しやすいと思うので、全譲渡ではない方が良く思う

- ・横手市が行っていた、湯っこめぐりスタンプラリーを、また復活させて欲しいです。そして、市の温泉施設で共通に使えるようにすると、もっと温泉の利用者が増えると思います。そして、そのスタンプカード、えがおの丘のように、10個たまると1回無料、更に抽選で回数券が当たる、等があると嬉しいです。あと、鶴ヶ池荘が好きだったので、復活させて欲しいです
- ・私はほとんど施設を利用していないが、必要とする人がいる限り、少しでも長くあった方がいいと思う。私もいつか必要とする日が来るかもしれない。その時にあったらありがたいと思うかもしれない
- ・朝風呂ができる、宴会場もあり料理もおいしいさくら荘は、貴重な公共施設だと思います。周りの声を聞いても、さくら荘は残してほしいと思います。具体的な取組内容の②同一地域に2つある施設のうち一方を廃止する、は賛成です
- ・地域に一施設の温泉は必要。私のように老人になると家族、大人数の中にも独りぼっちな感覚から解放されて、集まる場所が同じなら会話もあり、行動することが健康につながると思います。ただ、交通機関に不自由しています。民間経営になったとしても、集合場所（温泉）への集客行為は応援してほしいです。買い物や温泉利用にデマンドタクシーは高すぎます。年金生活でも人間らしく暮らしたいです
- ・横手の温泉施設はほとんどがきれいです。施設が古いのはいいです。でも、汚いのはダメです、絶対に。横手市は秋田県第二の都市です。まともな温泉が無くなるのはダメです。大雄のゆとりおん、あそこはとてもいいお湯です。いつ行っても熱々の新鮮なお湯です。「源泉かけ流し」はとても貴重です。今後とも経営に関わり残して下さい
- ・仕事の疲れを取るために週1回はさくら荘を利用している。近くには外に温泉施設がなく、かけがえのない施設です。他の地域で譲渡された施設が返還され休館中になっています。さくら荘もそのような事にならないように守ってほしいです
- ・大森町のさくら荘は源泉かけ流しで、医者でも治せないヒザ痛や腰痛が長く湯治することで楽になります。これからも継続を希望します
- ・私は利用しませんが家族が利用しており、色んな人と交流出来るので、市が負担し継続していくべきではないかと思います

・保育園も小学校も中学校もなくなり、これ以上何をなくすというのか。経費がかかるというのであれば、たまに行く市役所で見かけるムダな職員を減らしたらいいだろう。また、給料も高すぎる。半分でいい！ 議員の給料も半分でいい！ そこまでやって経営できなかつたらやめてもいい。こんな状況ではあたりまえだろう！

◇… 十文字 …◇

- また譲渡して返還されることのないように、業者の見極め、譲渡後の状況把握などをしっかり行ってほしい。利用していた施設が突然休館してしまうのは大変残念です
- 私は運転ができますけど、来たくてもこれない人がいますので、1週間に1回小型バス送迎でもありましたらと思います。それだともう少し人が入ると思います
- 私は温泉は大変好きです。何度も足を運びたいと思うところは、一番は清潔であること、サウナとか設備も充実していれば、入湯料金が高くてもまた、出かけることになると思います。温泉は身体にも良いので、行きたいと思っている人が多いと思います。気に入って行っている温泉が無くなることは、本当に淋しいと思います。今現在は、横手駅前温泉ゆうゆうプラザです。月1回～2回ほど行っています
- 早朝に利用できるようにしてほしいです
- 温泉は継続して欲しいが、維持管理には相当の労力と財政が必要だと思います。市民にとって憩いの場として必要だと思いますが、旧町村に一施設を残すような形にするとか、築年数がたっていて修繕費用、維持が大変なところは閉館もやもえないと思います。私の住んでいる十文字には施設がありませんが、ゆっぷるはけっこう利用している町民の方がいると思います。今はコロナで利用を差し控えている事と思いますが、どの施設も一長一短ではありますが、市民にとっては交通の便の問題もあると思います。以前はバスで送迎というのもありましたが、今はそれもないと思います。若い方は自由に自分の好きな時間にチョッと行くことが出来るでしょうが、年配の方となると交通手段等の問題もあるかと思われます。色々なアイデアを募り経営する側、利用する側双方にとっていい形で施設が残ってくれる事を切に願います
- 私の家の近くの温泉は羽後町の「としとらんど」です。いつもそこに行きます。でもコロナがあってから一度も行っていない。友達とも行きたいけどコロナがこわいから行けてません。早く自由に温泉に行ける日が来るといいと思っています。午後5時から100円安くなります。今もそうであるといいのですが
- 十文字地域にも温泉施設があれば利用したいと思います

- ・ゆっふるをほぼ毎日のように利用させていただいています。入浴サービス券、風呂の日（26日）、第二水曜日（200円引き）など色々な特典があり有効に使っています。今後も継続してもらいたいです。譲渡について、リピーターが定着できるような企画が必要ではないでしょうか。長年県外で生活していましたが、秋田県はそのようなアイデアがないような気がします
- ・鶴ヶ池荘、さわらびは休業しているのが勿体ない施設だと思います。やり方次第で市の財政がなくても十分魅力的な温泉施設だと思うのですが。今は老舗の温泉旅館でも、大手によってリニューアルされ新しい形で営業を続けている所もあります。横手市の施設に目をつけてくれる、そんな業者さんは無いのでしょうか？ 近隣、湯沢市、由利本荘市、仙北市等、有名な温泉施設を抱えてうらやましいです。特にこのコロナの時代、遠くには出られないけれども近場でちょっと贅沢したい、と思う市民が市内で満足できる施設があったら良いのに・・・とつくづく思っています
- ・人口減少、今後の維持費等を考えると、解体も検討した方がいいのでは？ と思います。かつては地域の貴重な財産であり、市民にとって親しみのある場ではあったと思います。しかし、それは「過去」であり、未来を担う子どもたちの負担になってしまえば、子育て支援に相反すると思います
- ・この先、施設の老朽化も進み、メンテナンスに経費が税金より導入されるのは反対です
- ・横手市内全温泉施設入浴者数の減少。また、新型コロナの影響により減少。これ以上横手市の財政に負担をかけることはできないと思う
- ・十文字の町中にあってもいいかなと思います
- ・以前は自宅から近いゆっふるに行っていたが、値上げ後は行く回数が少なくなった。どうしても値上げの必要があるのであれば閉館した方がいいと思う
- ・ほとんど温泉施設を利用していない者としては、利用者が激減している今、単なる施設維持のために無駄な資金運用としか思われません。一刻も早い施設閉館を望みます
- ・さわらびは遠くて冬は車でも大変でほとんど行きません。夏とちがって冬のことを考えると近場がいいです

- ・山内地域の鶴ヶ池荘は、幹線道路にあり、県南を代表する温泉＋ホテルだと思えます。他県の人たちにも恥ずかしくないと思えます。コロナ禍が落ち着いたら、十分再建させて運営援助する価値があると思えます。岩手県側から来県する人たちにも利用してもらえそうな温泉にしていけたら有り難いと思えます
- ・ゆっふる、ゆとりおん大雄等、公共温泉施設をいつも利用しております。健康増進等のためにも公共温泉は是非とも市が独自に経営してもらいたいです。サウナ、温泉を楽しみにしている市民はたくさんおります。例えば由利本荘市も市営の温泉はたくさんありますが、けっこう利用客がおられるように思います。(私も利用しているので分かりますが)どの施設も頑張っけて集客しているのではないのでしょうか。これからも市営温泉の維持をお願いします。追伸。ゆっふるの冬の営業時間(12月～2月中)の1年間同じ6:00開店でやって欲しいです
- ・私は温泉施設を利用しませんが、両親は地元の温泉施設をとても楽しんで使わせていただいています。高齢者にとっては重要な娯楽(?)なので、各地域の温泉施設ひとつは残るようにしていただきたいです。機能としては、入浴ができることと、リラックスして休んだり、おしゃべりしたりするスペースがあること…他のレストランとか、スポーツ施設などは優先度高くないように思います。ご検討、お手数をおかけします。よろしくをお願いします
- ・十文字にも温泉施設があればいいと思う
- ・施設を維持することが財政的に難しいなら、廃止もやむを得ないと思えます
- ・現在、コロナ禍にあり、気軽に温泉施設に足を運ぶ事が厳しい状態で、経営に影響を及ぼしたのは否めません。しかしながら、状況が落ち着き安心して行けるようになったら、行きたいと思うし、近場に癒やしの場は残してほしいなあと思っているところではあります。(どんな形でも)露天風呂等でプラスアルファで楽しめるお湯があると、もっと楽しめると思えます。(「ゆっふる」は、ジェットバスが無くなって残念です)
- ・温泉としての経営だけでは個人としての利用しかないように思います。子供会、町内会、いろいろな会や団体が、温泉プラス宿泊、宴会など、格安で利用できるように(市民割など)すれば、施設を継続できるのではないのでしょうか
- ・十文字地区には温泉がなく残念です。年もいっているのであまり遠い所には行けないので、近い所に行きたいです。温泉も大好きです

- ・温泉は大好きです。いつでも行ける環境にしてください。いらない体育館を作るより、温泉を残してください。秋田県の他の市町村では、どの施設でも 300 円～400 円の料金で温泉に入れるところもあります。市民の楽しみを奪わないで下さい
- ・もっと掘り下げたアンケートにして欲しい。これだけのアンケート経費をかけているのだから。このアンケートでは答えは出ない。もしくは廃止を前提か
- ・これからも気軽に利用できる温泉施設を継続してほしい。せっかくの温泉がなくなっていくのは、とても残念に思います
- ・ストレス解消や健康促進の目的で、割合多めに利用させて頂いているので、身近な温泉施設が休館になってしまうのは寂しい。しかし、今回のアンケートを通じて、経済的な厳しさも理解できたので、無理強いもできないなと思いました。今ある施設の半分でもいいから、確実に運営して頂けたら有り難いです
- ・30 代、40 代、50 代働いている時は（パート）仕事が終わってからも、時間をみつけて片道 30 分かけて週 2 回以上は通っていました。今は年とともに大変になってきて、友達と年数回になりました
- ・一年間を通して、一番長いのは冬ですので、やはり温泉施設はせめて 3 施設くらいは残してほしいと願っています。温まってリラックス出来る所は、北国にはとっても必要だと思います。長い冬を過ごすためにも、残してほしいと心から願っています。大変だとは思いますが、よろしく願い致します
- ・現在市営施設の収益状況等の資料があれば良かった。横手市が投入した金額と営業収益との比較。また、休館中の施設の維持費等。アンケートの資料では、廃止の方向へ誘導しようとしているように思える。市営施設（温泉保養施設）は必要です。1～2ヶ所程度で良いと思いますが。市民の福利厚生施設として
- ・休館中の温泉が多くさみしい
- ・すべて譲渡のような形ではなく、個々の経営状態や利用者のニーズ、特色等を検討し、市でカバーできる施設と民間で活用できる施設を区別して、規模を縮小してもできるだけ存続できるように考えて頂きたいと思います。すでにいくつかの施設は利用しないことで、建物も傷んでいるようです。利用価値がないと判断された場合は、解体も検討されると思います。特色や利点を評価せずに民間に譲渡しようとするのは市の怠慢と考えます

- ・鶴ヶ池荘やゆっふるはよく利用していましたが、毎回お客さんでにぎわっている印象です。近年は様々な事情があるとは思いますが、公共温泉施設は市民の大切な交流・コミュニケーションの場であると考えています
- ・温泉施設は地域によって貴重なものであり、今後も市として運営にかかわっていく必要があると思う
- ・温泉施設は、誰が経営するしないに関係なく必要だと思う。経営はとても大変だと思うが…。家とは違い、広い大浴場でゆっくりリラックスできる、いやしの場です。十文字にも昔ありましたが、最近では安くてサウナもある隣町へ出かけています。できればぜひ十文字町に1件あればと願っております
- ・公共の施設は民間に比べて料金が安いのがうれしい。人が来ない→料金を高く設定する→行かなくなる の負のスパイラル。料金設定を安くして、人をたくさん呼ぶアイデアを出した方がよいと思う。宣伝がヘタすぎる。半額の日（「ゆっふる」は26日）に青空市場とかを開催するとか。次回割引券の発行「期限付きで」※～日までとか。近隣施設との連携。まんが館利用の半券とか、天が森スキー場の半券を持ってきたら割引など。サウナの充実←今、ちまたではサウナブーム
- ・地域のライフライン的な施設と思います。譲渡がうまくいかなかったのであれば、少しでも利益が上がるよう工夫をしながら、頑張っ頂きたいと思います
- ・市の公共温泉施設は、市民にとってなくてはならない地域資源だと思います。存続には難しい面もあると思いますが、市民など意見を聞きながら存続に向けて、様々な工夫をしながら努力していただければと思います
- ・今はコロナ感染予防のため黙浴しているが、地域のコミュニケーションの場になっている。高齢化の時代の今、必要な場所です。施設の経費はかかると思うが、市で継続してもらいたい。憩いの場所を無くさないで下さい。お願いします
- ・ご苦労さまです。大変なことですね。あちこちに施設ができた時は、物珍しさもあって出かけましたが…自分の年を重ねるとおっくうさが先に立ち、なかなか腰が上がりなくなりました。車の運転、出来るうちはそれでも何とかとは思っている、ムズカシイ。コロナでますます人が集まってワイワイが出来なくなったので。駅が近いこと、公共の交通の便が良いことなど、とりとめのないことを書きました

- ・これ以上市の税金を投入するべきではないと思います
- ・コロナ前は仕事の夜勤明けに温泉を利用していました。疲れが取れて温まるので帰ってからよく眠れてありがたかったです。ですが今は行っていません。コロナ禍では、感染がこわいのでマスクを外して温泉に入るのはためらいます。利用者数が減っていくのは仕方ない状況と思います。市の予算を来るか分からない利用者のために投入するよりは、今使うべきところに回したほうが良いと思います。民間の業者が、こんな状況でも利用者が増えるような工夫をして、活気ある施設にしていければなあと思います。※十文字ラッキーにあったラドン温泉は1日中ダラダラ過ごせる感じが好きです。そういうのが復活してほしいです
- ・コロナ中、どこにも行けず、せめて温泉でゆっくりと日々の疲れを癒やしてもらえ場所として、あってほしいです。よろしくお願い致します
- ・まずは、このようなアンケートを行い、市民の声を聞こうとする姿勢はとてありがたいです。自分の立場からなので、個人的な意見になると思いますが…全ての施設を無くさないでほしいと思います。特に、冬期間はウインタースポーツをしなければ何も楽しみがありません。温泉くらいです。今シーズンはコロナの脅威がありましたので、遠出をさげ、市内の温泉施設が唯一の家族と過ごす楽しみでした。そして次はどこに行こうかと調べると、数年前とちがい、休業中の施設ばかりであることを改めて実感し、残念でした。支えるための経費は大変だと思いますが、なんとか譲渡相手を見つけていただきたいです。いくらか市から民間の受け手に資金援助するなど、双方にとってウインウインになればいいなあと期待しております
- ・あまり市の公共温泉施設は利用した事がありません。というのは、市の施設を回った際になんとなく「じめっ」とした感を感じたからです。今は清潔さ等が優先なのではないでしょうか。また施設の年数を見ますと、老朽化が感じられます。もし、これらの施設を残すなら、手を加えなくてはならないと思いました。年寄りだけでなく、若い人も行きたくなるような施設に～
- ・20代、30代の比較的若者向けの料金キャンペーンをやってほしい。夜勤業務後（22時以降）に通えるような営業時間を設定してもらえると、もっと利用しやすい。カフェスペース、図書館的な個人ワークスペースなど、複合的なサービスをブラッシュアップして欲しい。ゆうゆうプラザの gita はその点良いです。テナント的なもの…個人経営のカフェに良い店沢山あるのに・・・コラボするとかむりですか？

- ・年に数回ですが施設を利用しています。休館になっては設備の整っている施設が大変もったいなく思います。閉館になると他市町の温泉施設へお客様が行かれるので、自分たちの市の財産として大切にしたい気持ちでいます
- ・6施設とも民間への譲渡ができなかった場合、全施設を廃止するのはとても困るので反対です。市民の心身の健康維持増進のために、ゆとりおん大雄と鶴ヶ池荘の2施設だけは残してください
- ・デイサービスとかになった温泉もあったので、他の市で考えてみてはどうか？もしくは、共同の老人ホームにしてみてもは。一般の方も入れるようにして利用を多くする
- ・県、市、人口が減りコロナ禍で寂しい。子供より高齢者が多い。色々仕事なされている関係者の方々、大変ご苦労さまです。温泉もその通り難しいですね。ともあれ、笑顔 安心 生活が戻り楽しく過ごせるよう思います。★その土地 場所環境で似合の望ましい
- ・Q7については3の回答に思いますが、矛盾するようですが、鶴ヶ池荘が休館したときは残念な気がしました。1施設くらいはあっても良いのかとも思われますが、築年数と維持管理費により難しいところです
- ・温泉施設がたくさんあるのは、利用者側としては選択肢があっていいと思っていました。しかし、よく考えてみますと施設は維持管理するのが大変です。とくにコスト面は大きいと思います。このアンケートにも書きましたが、施設の縮小は仕方ないことだと思います。また、市が発行している入浴サービス券はとてもいいことだと思います。私のような年金生活者にとっては助かります。この入浴サービス券のような小さなよろこびを受けられるような市のサービスを温泉施設の事だけでなく、望みます
- ・財政難なんだから、市営温泉はやめればよいと思う
- ・コロナ禍のために、ここ一年は利用が少なかった。温泉施設に限らず、公共経営の事業ではできるだけ早い時期に、積極的に民間譲渡を進めるべきと考えます。損益を考慮せずに、赤字補填の税金投入は納税市民全体から見れば、税の使い方の最たる不公平であると思います。事業経営は民間にまかせて、その民間の事業が立ちゆくように市民に対して入浴券の交付等で公が民の事業を応援すれば良いと思います

- ・料理提供は止めて、場所代だけ負担してもらい、持ち込み自由片付けは客が責任を持ってすれば良いと思います
- ・温泉が全然なく困る。夜勤明けなどでゆっくり出来る場所ほしい
- ・私が出身は増田町のため、小さい頃からゆーらくやさわらびを利用していました。地元に戻るたびにさわらびの看板に「休館中」のマークがあるのに、少しさみしい気持ちになります。私の家族もぜひゆーらく・さわらびの復帰を強く望んでおります。今一度、検討をお願いいたします
- ・横手市温泉施設は、旧市町村に1施設で良いと思います。具体的に雄物川1施設、大森1施設、大雄1施設、平鹿町1施設、増田1施設、山内1施設。これから横手市も人口の減少、(今は高齢者多いがいずれ少なくなるし、若い方も少なくなる)があるから、上記配分で検討する。今は車の時代でどこの施設にも行けると思うので、入浴者の少ない地域は廃止方向で進めていったらどうか。料金についても民間施設料金にしないと採算取れない、もしくは市の資金が大きくなる
- ・赤字経営には関与しない方がよい
- ・どうして十文字には温泉がないのですか？ 横手では十文字だけです。植田、睦合方面をお願いします。西馬音内の「としとらんど」に行く人が多いです。植田、睦合こちらの方を”ジャンゴ”にしないでください
- ・温泉をはじめとする共同浴場の課題は、世代間での衛生マナーの感覚のギャップなどもあると思います。年代別の利用者数などの統計や、施設を減らすのであれば、高齢者を対象としたピストンバスや何らかのサポートが無ければ、各施設の利用者も減っていく気がします。若い世代へも、施設の利用を促す広報活動も必要であると思います。例) 20~30代の利用料が安い曜日や日にち、40~50代が安い日など
- ・ゆっぷるの場合、料金が3時間半で460円ですが、時間を半分にして料金も半分にすることはできませんか？
- ・自己負担が多くなっても続けてほしい
- ・老人なので遠くへは中々いけません。近場の温泉を開いて欲しいと思います。都会の孫達が来ると釣りキチ三平のお風呂へ入りたいと良くいわれます

- ・私共、高齢者にとって、温泉に行くことは何よりの楽しみであり、地域の施設が無くなることは本当にさびしいことです。財政的なこともあります。地域的なバランスを保ち、極力残していただきたい
- ・コロナの影響が出る前から、時代のニーズの移り変わりで温泉施設の需要は減っていたと感じています。個人の意見ですが、温泉は”身近にあっても重要度は低い””たまの息抜きに利用できたら良い””最寄りになれば観光も兼ねて別の地域に行けばよい（満足）”という感覚の人が周りでは多いと感じます。仮に、市の運営がなくなり、施設が営業できなくなるとなれば残念に思いますが、かといって市が手とり足取り援助する必要性はないとも思います。運営の為に財政を投入するよりは、他のニーズの高い公共施設（病院・福祉施設等）に力を入れたり、運営困難になった場合、その施設で働いている人達の新しい雇用先の確保・再就職支援に取り組んでいただいた方が良いのではないかと思います。長文・乱筆失礼しました
- ・家でお風呂を入れず、よく温泉に行きますが、どこに行っても高齢にかかわらず客が入っていると感じます。高齢の方は地元にある温泉は貴重だとも感じます。仕事から、えがおの丘に行く機会が多く、金額が上がって人が減り…でもしばらくしてまた戻ってきている様子も見えています。多少金額が上がっても、地元にあると人は利用すると思います。老朽化でお金がかかるかもしれませんが、なんとか工夫して続けていただければありがたいです。全部の施設とか…どの施設とか…は言いがたいですが、人が集える場所を大切にいただけたらうれしいです。美郷町とか本荘市とかにかほ市とかにも行きます。他の市町村でもやっていますよね！どうか横手市をお願いいたします
- ・市で投入した金額を見ると大変な事だと思います。かといって、無くなってしまいうのも寂しいです。もっと小規模な施設が少し有ればいいのと思っています
- ・平鹿地区在住ではないが、ゆっふるは近くに有りますので利用回数が多いです。地域の行事や友人との集まりで利用していました
- ・我々といたしましても、横手市が先頭なって企業をつのって、企業を応援するような体制を作っていたほうが良い。温泉施設がなくなることは、年寄りには温泉があった方が良いでしょう
- ・全てを民営化すべきとは思いますが、市営を残すとしても、1～2施設にすべきと思う

- ・横手市に移り住んで10年にならないと市民として認められないようですね？冷たい気がします。何事にも暖かい心を持ってほしいです
- ・税金を投入してまで市営施設として運営するべきでない。老朽化が進み、修繕に税金を投入する必要性もでてくると思う。税金をもっと大切に使うべき(子育て、市の発展につながるようなこと等)。譲渡返還され、休館中の施設及び市営施設がなくても、市内民間施設、近隣市町村の温泉施設を利用することで十分。(羽後町、湯沢市、西和賀町等)
- ・維持管理費がかさむのはあまり良くないと思う。利用者も時代に応じて変化して来るものだから、適当な判断が求められるのではないだろうか
- ・少子高齢化に歯止めがきかず、追い討ちをかけるように感染症がまん延する現在、貴重な税金を使って採算の合わない施設を維持する必要はないと思います。地域で必要とする人が多い場合は温泉施設を”運営するプロ”に委譲できたらと考えます
- ・厳しい財政の中で、ご検討していただいている事に敬意を表します。財政が厳しくなれば、まず生涯学習、福祉の予算削減が考えられます。アンケートの温泉を福祉施設として捉えるならば、心身をいやす場として他に類似した場がないことに注視したい。特に高齢者にとっては、実に意義のある施設であり、補助券事業は大切な事業と考えていました。筆者はこの補助券を過去2回利用させていただきましたが、老いた身には本当に有難かったことを覚えています。ややもすると、スポーツ設備等には、子供や若者・大人等目がいきがちであるが、高齢者が主とする施設の意義も充分理解してほしいものである。ご検討を切にお願いいたします
- ・もう少し入浴に行こうと思いました
- ・十文字に温泉施設はありません。みわたせば、ぐるとさまざまな温泉があります。いっきに温泉施設が増えたような気がします。その当時は選び放題で、あちこち回りましたが、結局残った温泉は何かしらのいいところがあったのでしょうか。人も少なくなってきたので、(老人ばかりが増えますが)。老朽化した施設はお金もかかります。市の取り組みも仕方のない事かもしれません。コロナ禍で、日帰り温泉もなかなか行きづらい今日です。以前の様に、気軽に温泉に行ける様になるといいなと思っております。近くに温泉があるといいなと思っております

- ・民間にシフトしてもダメと思う。すべての施設を廃止し、横手市内に1つ新しくつくってほしい。今ある温泉施設は、ただ風呂あるだけ、景色や食べ物を楽しめて、他県からも集客できる施設を造ってほしい
- ・施設の数をしぼって、本当に維持できるのか、できなければ早く閉める。これ以上、長引かせないでほしい。負の遺産を残さないでほしい
- ・そもそも公共温泉施設は民業を圧迫するものと考えていました。赤字を補填してくれるのであれば、倒産する企業などないし、内部の意識が変わらない限りその組織はやがて壊死するものと思う。もう少し、子供達、若者、子育て世帯に目を向けた施策をお願いしたいです。彼らのしあわせなくして、我々老人の幸せはありえないと考えます
- ・福利厚生施設としての税金投入はしかたがないと思う。しかしながら利用がまばらであれば、譲渡またはとりこわしもやむなしだと思います。さわらび、さくら荘に関しては、県外誘客ものぞめるのではないだろうか
- ・温泉は地域の貴重な財産資源だと思うので、みんなの知恵と工夫を出し合って継続できるようにしてもらいたい
- ・コロナが終息すれば利用したいと思っている。娯楽施設がなくなるのは悲しい。憩いの場であった施設が、どんどんなくなっている。高齢者は温泉が好きな人が多い。私も温泉は好きでよく利用していた。皆が楽しめる施設を維持していつてもらいたい
- ・地域のコミュニケーションの場でもある温泉施設はとても大切だと思います。地域住民の協力も得ながら、存続させて行く方向で検討下さい
- ・接客業のアルバイトをしていた頃、利用客に「十文字に温泉はないのか」とよく聞かれた。そのほとんどの人が道の駐車場内での車中泊をしており、「ゆうゆう」や「ゆっふる」は遠すぎるとのことであった。そこで、経営が厳しい施設から廃止するかわりに、国道13沿いの十文字内に温泉施設を建ててほしい。そうすれば、十文字ICからのアクセスもしやすくなり、さらなる利用客の増加につながるのではないかと思う
- ・宿泊可能施設と日帰り温泉施設を区分する。もっとコンパクトな施設を目指したら良いと思う

- ・市の財政は年々厳しくなると思いますので旧市町村単位で1施設が限界ではないでしょうか
- ・市内の地区毎に1こはいらなと思う。公共温泉に行く人も住民の減少に伴い、行く人も年々減少することと考えられます。老人達もデイサービス等を利用する人が増え、温泉利用者の減少状態が先に見えている感じです。この時代に、行政、民間どっちでやっても経営の持続は大変なことと思われま。民間では、経営してみたい人がやるなら別として、行政でどこまでも力を入れてもうまくいかない分は結局市民の税にかかって来るのではないのでしょうか。市民に負担のかかることは、あまりしなくてよいのではないのでしょうか、、、と思われま。私も80才近くになり、若い時のように温泉行くにならないのでこういう考えになるのかとも思いま。自分で書いて自分で分からないような文章で申し訳ありません。以上です
- ・もっと値上げしてもいいと思う。設備は古いのかもしれないが、自分は入りに行くはず。様々なものが値上げしていく中で、温泉施設も値上げになる覚悟はある。民間に譲渡しても返還されるのだから、廃止はやむを得ないと思う。県外に住んでいた経験があるが、当たり前のように温泉があるのはすごい事なので、誇りに思うべきだ。ハード面はよく知らないが、こんなに年数が経っていたということが知れてよかった。取捨選択も時代の流れかと思う
- ・温泉を残してもらいたいけど、皆さんの税を投入することだから、ちょっと考えてしまう。施設長たるその他の従業員も、努力して収益をあげてくれれば一番いいのですが、何かしら殿様業のように思える。いなかの温泉と言えども、入浴の際のマナーをもうちょっと考えてもらいたい。(湯船に入る前にはかならず体を流すとか)
- ・十文字地域にも公共の入浴施設がほしいです。災害時の拠点にもなるような・・・できればプールも。鶴ヶ池、さわらびは宿泊もできる状態で、雇用にもつなげて残して頂きたいと思いま
- ・秋田県、横手市の高齢化と人口減少が進んでいます。温泉の民間事業者に譲渡したとしても、経営が改善されず、市に返還されている事も事実です。そこに税金が投入されても、改善されるとは思えない。私達の汗の結晶である税金を無駄に使うのはやめて下さい。旧平鹿郡の十文字以外の温泉の尻ぬぐいはまっぴらごめんだ

- ・全ての温泉施設に特徴がなく、遠方から訪れる理由がない。ならば、近隣からの利用者に偏ることになり、常連ばかりになる。新規利用者の獲得を進めない限り、別紙データに見る「入浴者の推移」からも、衰退していく一方と分かる。そこで、①新規の客を増やす。②市の補填の見直し。③公共温泉の必要性。これらを改善する方法として、

 - ①-A、何かしらに特化した施設にする（サウナ、ファミリー向け、エステ等）都内のスーパー銭湯など参考、真似る。
 - ②-A、各施設の料金設定の見直し、黒字化を目指す。もしくは補てん額を増やし、サービスの向上や現状復旧ではない、リノベーションを進める。
 - ③-A、①と②の改善が可能であれば、公共施設である必要はなく、民営化すべき。（現状の施設を民営化すると破綻の可能性が高く、再度返還の繰り返し）
- ・私は十文字に住んでいます。入浴サービス券で、色々な所に行くのがたのしみです。もっと出してくれるとうれしい…
- ・現在の施設は、ここ（十文字）からどこも遠いので、利用することはないと思います。高齢者が安心して利用できる場所が一か所あればと思います
- ・十文字地区にないので、近くのゆっふるを残してもらいたい。高齢者なので遠くに行けない
- ・温泉は必要です。いろいろな事があるとは思いますが、残していただきたいです
- ・高齢者にとって、温泉が楽しみですが、赤字が多いと財政の面で困ります。横手市内に 3 か所あると良いと思う。今は運転できますが、今後は近くの温泉で余生、楽しみたいと考えております
- ・今はコロナで行けてませんが、温泉施設は残して欲しいです。温泉大好きです
- ・公共温泉施設は、若い世代では利用は少なく、高齢者の方が中心だと思います。その多くの高齢者の方たちは、送迎が必要な人も多く、コロナ禍や冬季には利用も多くない印象があります。経費の一部負担分を、低所得者などの灯油補助など利用してもらった方が良いのではと思います
- ・コロナが広まってからは温泉にも行っていません。高齢者になり温泉は楽しみの中でもあるが、市の負担額を考えると公共施設としての運営に問題を感じます。施設を残しながら人が集まり、観光ができる場として維持できれば良いのですが…

- ・ SNS, Youtube 等利用して、もっと施設の良さを発信していくと良いと思います。市民入浴特典を充実すれば良いと思います
- ・ コロナで気軽に温泉に行けなくなったが、無くなってしまったり、閉館になってしまうのはさみしいです。「温泉に行きたいなー」「入りたいなー」と思う時、気軽に行けるような体制にしておいてほしい
- ・ 去年今年とコロナが発生して、温泉に行くことができずじまいでした。コロナが落ち着けば行きたいと思う気持ちはあります
- ・ 若者も利用したくなるような温泉施設ができれば良いです。高齢の方がたくさん利用していると思うので、無料バスがあったりしたらもっと通いやすくなると感じております
- ・ 施設の維持を望む。市から民間に譲渡する時にどのような条件だったのか。市としての対応が、甘かったのではないかと思う。移譲された事業主には、ただ返還すればそれでいいのか？ 市としての対応はどうなっているのか教えてもらいたい。全部の施設の存続は難しいとは思いますが、一部の施設をもう一度再開を求める
- ・ ①経営存続の分岐点は何年ですか？②CM 料金（例：鶴ヶ池荘ほか・・・）は投入した総額に入りますか。随分 CM が多すぎるように思っておりましたが。③温泉施設の存続の問題を市民に問いかけ、各地域で話し合いの場を作って良かったと思います。私も参加させていただきました。④会社あるいは商売を長年経営した方々は、いろいろな困難を乗り越えてきていると思いますので、相談アドバイスとかしてはと考えておりました。※アンケートの内容が分かりやすく、文字も大きく行間もゆとりがあって、ゆっくりした気持ちで書くことができました。アンケート用紙の折り方、等ていねいな心配りが感じられました。私も参考にさせていただきます
- ・ 民間事業者に譲渡できなければ、温泉施設を地域住民の健康を促進、啓蒙、啓発する拠点と位置づけ、いろいろな視点から行政が取り組んでもらいたい
- ・ 冬期は雪が多く除雪の為、消雪で水道水を多く使い水が出なくなる時があるので、今までどおりの温泉があればとても助かります。気分転換にもなるし、温泉を今までどおり利用できれば良い。コロナ感染で旅行にも行けないので、温泉利用できればと思います

- ・市民の保養となる温泉施設は必要と思うが、横手地域以外（山内は1施設はもとも民間経営）、各地域に全ては必要だとは思えない。隣接する地域にある施設を精査し、2地域に1施設程度にする必要があると思う。コロナ禍の中での経営はかなり困難とは思いますが、民間施設での経営努力もあることから、市営施設での経営努力も今以上に行ってもらいながら、休止している施設も含め、今後整理する必要性を感じる
- ・財政悪化要因をかかえ続けるのは良いことだとは思われません。譲渡・廃止すべきです
- ・ゆうらくが休館しているのは、とても残念に思っております。他の施設では得られない疲労、筋肉痛の回復を感じられます。この意見は多々聞いております。是非開館をお願い致します
- ・毎週土曜日にえがおの丘に行きます。娘と仕事終わりにご飯も食べ、温泉に入りながら知らないおばあちゃんと話をするのがとても楽しいです。スタッフの方もとても優しく、料理もおいしいのでこれからも利用したいと考えています。コロナ禍でとても大変だと思いますが、地域の方と交流できるのでずっと続けて頂けるとありがたいです
- ・ご苦労さまです。無作為に抽出した人数の1人が私だったのですね。いい時代私も若い時をへて今は一人暮らしです。県、市、町人口もどんどん減って、42才で取った車の運転で楽しんで楽しませて時を過ごしました。先輩を上へ送り出し、つとめとするものがいっぱいです。幸いなことに身近に心強い友達数名と関係を保ちつつ励ましあって笑顔を交換が幸いです。せっかくの折、参考意見になりません。すみませんでした
- ・温泉だけだと赤字でも、温泉水の排熱を利用し野菜を作り販売し黒字化できないだろうか。従業員も相互利用しながら
- ・コロナの影響で、ここ2年は旅行も温泉の利用もしていない。感染し勤務先等へ迷惑をかけてはと思うと利用できなかった。2年も利用していないのに、都合のいいことを言わせてもらえれば、気軽に行ける温泉施設が近隣にあればうれしい。今後を考えれば、公共の交通機関の便利が良ければありがたい
- ・これからも公共温泉施設は残してほしいと思う。地域の人達が喜んで頂けるような温泉を長く続けてほしいと思う

- ・高齢者にとって憩いの場で、コミュニケーションもとれるので温泉を持続して欲しいです
- ・コロナのため行きたくても、利用を控えておりました。コロナが落ち着いたら、もっと利用したいと思っております。高齢になってきて、遠くの温泉へは行けなくなってしまったので、近くにあればとてもありがたいです
- ・若者が地元に住みたいと思える施設としても利用できると、地域の活性化にもつながるような気がいたします。利益を出しながらの運営は難しいのかもしれませんが、ご検討よろしくお願い致します
- ・実家は増田で、もともとゆーらくによく行ってました。さわらび、ゆーらく、どちらかと言われたら小さくてもゆーらくを残してもらいたかったです。さわらびより地元のおとしよりやお盆で帰ってくる人も、ゆーらくのお風呂に入りに行く人が多かったので
- ・近場に二箇所もいないと思う。1つでいいのでは？ 温泉を利用した介護施設、病院などはどうでしょう。鶴ヶ池荘は場所的にいい所に位置していると思う。また周りの景色がいい。一度だけ利用しただけだが、その後行ったら休館中で残念に思った。鶴ヶ池荘は残してほしい。公共施設が全部無くなるのは困る。例えば、家庭の風呂が壊れた場合など。昔は町に2～3軒の銭湯はもう無い。そんな時に備えてなくさないでほしい(実際我が家で去年12月初めに風呂ボイラーが壊れ、このコロナで業者をお願いしたものの製造元も物資が入らず、その物が無いと、約2ヶ月半ほど待つてやっと)。十文字地区には、湯屋施設が1軒もない。できたら1軒は備わってもいいと思う。今ある施設は全部十文字地区から遠い場所。それが残念!!
- ・ゆーらくは体のつかれが取れて、とても良いと思いました。今は残念ながら湯沢の温泉に行きます。ゆっふるはサウナに入りに行きます
- ・いろいろな考えの方がいらっしやると思いますが、全戸に上水道が整備されていると良いのですが、井戸水を使用している方もおられると思います。井戸水が出なくなったりした時とかに、風呂などをどうするか、近場に温泉施設があれば子供などと一緒に、安心して暮らせるのではないのでしょうか。市民の福利厚生を考えると、それは良いのではないのでしょうか

- ・多くの方に利用してもらいたいと思います。必要な人だけが利用したり、常連だけが利用するのではなく、もっと気軽に利用できる施策が必要なのではないでしょうか。お得なキャンペーン等があっても一般に知られていなければ顧客の拡大にはつながらないのではないのでしょうか。もっとアピールが必要です。また、今の時代何事もパソコンからの登録やスマホでの会員登録を求められますが、年配の方やそのような事が苦手な方もいらっしゃいます。その事だけで利用をあきらめる方もいると思います。そのような事もふまえて、簡単に気軽に予約等できるようにしていただければ、たとえ一日でも近くでも日常から離れリフレッシュする時間を求めてお客さまも増え、皆が幸せを感じ、より良い社会を作っていけるのではないのでしょうか。温泉はいやしの空間だと思うので、多くの方に利用していただきたいと思います。コロナの事も大変な中、心も体もあたためてくれる温泉は、もっともっと利用したいと思います。時間があれば…
- ・コロナ禍の状況での経営は本当に大変だと思う。幼い子供を持つ家庭では、感染対策として温泉を利用することはほぼ無いと思うし。年配の方達は温泉が休業されるのをさびしく思う。コミュニケーションをとる場所が少なくなるだろうから。体を洗う、湯船につかるだけなら自宅でも出来るだろうけど。仲間と一緒に出かけ、いろいろお話を楽しみながら温泉に入り、上がったあとは大広間で各自宅から持ち寄ったおかずでご飯を食べたり、お茶をしたり、とても楽しそうだった。料金が上がり気安く温泉に足を運ぶことができなくなったり。コロナが早く消えてくれれば幾分客足が増えると思うが、どうでしょうか？ その前から経営はくるしい状態だったのでしょうか。今まで特に意識したことなく、このアンケートにお答えするのが申し訳なく思っております
- ・赤字を税金で負担してまで続ける必要はないと思う。老朽化する前に処分してはどうか。※横手市のアンケート調査なのに大仙市の業者に受注させるのは納得いかない。入札条件に地域しぼり（横手市内）を設定すればよいのでは？

- ・経費の負担までして経営するべきものではない
- ・市が関わればあまい経営となりますので、民間でやった方が良いと思います
- ・鶴ヶ池荘は山内地域のシンボル施設として、長年に渡り運営されてきた。市民の福利厚生施設として赤字にこだわらず、市で経営、もしくは運営して欲しい。このままであれば廃墟と化してしまいさみしい。市民は注目しています
- ・政策上必要と判断される施設と役割を終えつつあることを認識している事の理由はどこにあるのか？ このアンケート調査が今なのか？なぜ平成27年にやらなかったのか？
- ・赤字経営になった取り組みが本気にみえない。施設ごとの一日当たりの利用者が何人であれば経営が可能であるのか？ 高齢化に伴い一人では行動が不自由となり入浴者が減少している。公共温泉として維持するのであれば補填は必要である。市外または県外の施設も参考にして取り組んで欲しい
- ・山内の人たちにとっては鶴ヶ池荘は貴重な財産でした。コロナの為に経営が困難という理由でしたが、同じ民間譲渡された施設はちゃんと運営されています。譲渡するときの選定方法に無理があったとしか思えません。これから何か大きなイベントがある場合、宿泊施設が足りないと思います。赤字なのは表を見るとわかります。そこを何とか方法を考えて復活させてもらいたいと思います。横手市中心部からのアクセスもいいし、景観も最高の場所の鶴ヶ池荘です。このままさびれていくのは本当にしのびなく淋しい限りです。去年市長が来村した時、譲渡先を一生懸命探すと言っておりましたが、進捗状況はどのくらい進んでいるのでしょうか？工場を誘致するのと同じく、営業が再開できれば雇用も生まれると思います。市長の手腕に期待しております
- ・公共温泉施設は市民の保養や、健康の増進に貴重な役割を果たしている。このため市民の福利向上に対するコストとして、市が一定の費用負担するのは、やむを得ないのではないかと思う。但し、現在の公共施設はかなり整理する必要がある、入場者数や地理的条件、観光施設としての必要性を考慮し、支援する施設を限定すべきと考えます。この場合第3セクターとして経営する方向を検討していただきたい

- ・鶴ヶ池荘の場合ですが、入浴と泊まりのみで運営が難しいのであれば、他の部門の入居も検討してもいいと思います。例：ゆうらく館の機能をもってくる。
 : 介護予防の事業所をもってくる。
 : 人材が（働く人）不足であればボランティア活動を入れる。
 : 食堂はなくてもお弁当とかで…（売店）。
 市で負担していくにはいずれ限度があると思うので、地域の方に利用できるようにアピールして、利用を促せるように向けてはどうでしょうか？ 地域の中では利用価値が高いと思う
- ・市職員のみなさま毎日のお仕事ご苦労さまです。鶴ヶ池温泉が休館になつてからは、温泉に入ることができなくなり、他の施設まで出かけるとなると遠くてなかなか大変でした。営業していた時はたくさんの人たちに利用してもらっていたと思います。営業再開していただければと思います
- ・私自身は温泉はあまり利用していませんが、夫と子供はゆっふるに週1くらいで通っています。ゆっふるが再開して喜んでます。地元の鶴ヶ池荘が休館中で残念です
- ・宿泊設備までは要求しませんが、せめて日帰り入浴だけは是非必要と思います。市の力で鶴ヶ池温泉の復活をお願い致します
- ・水道工事店を営んでおります。急な給湯器の故障により、お風呂が使用できなくなる場合があります。速やかにお客様にご不便をかけないように心がけておりますが、本体の取替工事が必要となった場合、昨今うわさの半導体不足の影響のため納期に時間がかかるようになっている事を体験中です。特に冬場に入ってから、近くの温泉がなくなって困る…というお客様の声をたびたび聞きました。時期的なこと（冬場はとくにお風呂に入りたい）、一時的なこと（故障時の利用のみ）、気持ち的なこと（なじみの施設を利用したい）、など様々な利用者の都合を考慮しての再開はとても難しいと思いますが、施設の規模を縮小し、せめて入浴だけでも再開できたら…と考えた矢先のアンケート回答依頼でした
- ・ぜひ鶴ヶ池荘を営業して下さい!!
- ・地域貴重な財産と考えます。たとえば宿泊施設を無くし温泉施設のみを運営し、施設の負担を軽減する対策をとる
- ・地元の温泉施設がなくなるのはさびしい

- ・寒い時期はどうしても温泉がいいので、なんとか休まずに続けてほしいと思います。社会福祉協議会でやっている温泉があるので、1月中は週3回ほど行っていました。1月末ころから急にオミクロン株にかかる人が増えたため、横手市の公共施設が全部閉館になってしまいました。私が楽しみにしていた温泉も休みになってしまい、雪の降りしきる中を鶴ヶ池の方まで歩いていったのに休みでした。鶴ヶ池荘はなんとしてでも続けてほしいと思います。直売所の山菜恵ちゃんもやっていないので、野菜を出荷できなくて困っています。どうか農家の為にも直売所も再開してほしいと思います。ただの温泉ではないのです。とてもよい湯なのでなるべく早く再開してほしいと思います。よろしくお願い致します
- ・私は鶴ヶ池荘が好きです。とても良い温泉です。日帰りでもいいから頑張ってやってほしいです
- ・コロナの影響もあり、近隣の温泉施設はあってもなくても、利用は控えなくてはいけなかったが、閉館されてしまった事はとても残念です。コロナ禍だからこそ、旅行ができず、近くの温泉にでも…と思ったら閉館とは…山内は温泉が無かったら本当に何も無い。悲しい…はずかしい…早くどんな形でも再開していただきたいです
- ・鶴ヶ池荘に関しては赤字になっていないと聞いている。長い歴史のある温泉なので再開してほしい
- ・高齢者が増えているのに、利用できる所がなくなり孤立化しています。利用料金がかかっても温泉は必要です
- ・鶴ヶ池荘といえば、周りの景色もよく、春・秋とてもいい感じですよ。そして食べ物もおいしかった。山内といえば鶴ヶ池荘そんな気がするから。いものこ汁・ガッコ食べて、泊まって…。人口減少、コロナ…など、色々温泉を利用しない方が多いのは、ここ横手市だけでは無いはずですし、温泉施設を利用して、何か集まりを企画するとか、ただお風呂に入るだけではなく何か？ ここに来ればこれが出来るなにか？ 何をやっても(農家でも)良くできる時もあれば悪い時もある。「悪いからヤメた」なんて言われてられない。次はどうしようかと考えて又やりだす。何事もうまく長く続くとは限らない。そんな時どうするか、こうしよう、ああしようとして先に進んでやってみる
- ・居住地に近い温泉が岩手県の施設であるから利用している。鶴ヶ池荘があると助かる。スキー場はなくなる。温泉もなくなるではいかなものか？

- ・市の温泉施設が年々少なくなり、正直さみしく思います。人口も減り、今はコロナ禍で施設の利用がむずかしくはありますが、長く市民に愛される温泉はどの地域にも必要だと思いました。山内にあった温泉も今は1つのみ、三又のイワナを食べられる温泉も、花火を近くで楽しめる相野々温泉も大好きでした。コロナがおちついた頃に、また地元の施設が活性化することを願い、市営温泉はこれからも経営しつづけていただけたら嬉しいです
- ・採算を考えない運営により、経営不振になって先の見通しが立たなくなった事を反省すべき。他の民間施設並みの利用料金をちゃんと支払ってもらって、永續できるように施設を運営すべき。住民が全員利用する訳でもないのに、極端に安い料金では不公平であり、きちんと受益者から負担してもらわなければならない。安ければ良いというものでは無い。それが出来ないならば、行政は温泉施設など持つべきでは無いと考える
- ・私は現在温泉を利用しておりませんが、山内地域には特別な娯楽設備もありませんし、同窓会や地域の会議やイベントや老人クラブ等で利用する話も聞いておりますので、鶴ヶ池荘だけは必要と思いますし、今後は私も利用する年齢となりますし、観桜や紅葉時の景色は格別ですので、必要な施設と思います
- ・鶴ヶ池荘が休館で残念だと言う声が沢山聞きます。今は時々しか行きませんが、子供から老人まで、本当によくあたたまるし、子供のあせもなど薬用にもなり、大切な温泉だと思います。ぜひ温泉館だけでも再開してもらいたいと願っています
- ・近年、地域によって施設の状況に格差が見えてきていると感じます。(温泉施設に限らず)。このような温泉施設については、地域の人々の憩いの場であったり各行事で使用するのことができる場でもあると思います。投資など、お金がかかることは理解できますが、市全体で集客できるよう、盛り上げて運営を継続していただけると個人的にはうれしいです。10年程前までは、毎週のように温泉に行き、友人と交流を深めていました
- ・人口減等で活気が少なりつつある地域で、温泉は必要であり小さくしても再開館してもらいたいと思います
- ・山内の住人です。鶴ヶ池荘を返してください。私達にとって、大切な場所でした。横手市長の高橋大さまへ

- ・利用者がどういう施設を望んでいるのか、特長のある温泉にすべき。今までは、ただ運営しているだけだった気がする。鶴ヶ池荘は、民営にするにしても、又行ってみたいくなるような魅力のある施設に出来るかどうか、良く審査すべき
- ・地元市民の憩いの場としても残すべきと思う。赤字→黒字に取り組む姿勢が無く、民間シフトにして、責任逃れをしているように思う
- ・すぐそばに「鶴ヶ池荘」があります。母の介護をして8年あまり、「温泉でゆっくりしたいな…」とぼろっと家の人に話したことがあります。家のお風呂にも、めんどくさくて入りたくない時もあるのに、でもお風呂に入ると体や神経がゆっくりするのが分かります。そばにこんな良い温泉があるのに、なぜすぐ行かれないのか、私はまめな方ではないので、行かないのかもしれない。でも、近所のお母さんたちは今すぐやってくれないかと言っています。ただ捨てている温泉、ほんともったいない話です。お湯は良いのだから、何が悪いのでしょうか。サービスかその他、いずれにせよ市とだれかやる気のある人が組んで何とかこの宝物をうまく活用した方がいいと思います。いずれみんな待っているはずです。(すみません、うまく文章にできなくて)
- ・鶴ヶ池荘の休館は、地域にとって大きな損失です。返還はコロナ感染拡大が要因だという市の言い分は、間違っていると思います。地域住民の意見を充分聞いてほしいと思います。行政はまちがった政策を認め、責任をとるべきです
- ・山内の文化や歴史上、鶴ヶ池荘はかせない存在だったと思います。温泉はもちろんですが、宴会・会合・冠婚葬祭等、幅広く利用する施設として活躍してきたと思っています。観光と行政の結びつきがなければ、地域の活性化が取れないのも事実であり、その役割が都会と違って多くなるものと思います。各施設は各地域にとって大切な施設になっているものと思いますが、行政の支援がなければ運営できないとすれば、せめて過去の営業状態等考慮し、いくらかの施設は稼働させてもらいたいものです。その中に鶴ヶ池荘が含まれば、山内の住民としてうれしい限りです。今のままでは寂しい限りです。温泉だけでも運営を再開させてもらいたいとの声も多く聞かれます
- ・時代の移り変わりに見合った施設にすべき。経営と言うより最低限の維持管理ができる規模。利用者の希望は低料金での入浴。再開発を狙うよりは無くす？ 独り言でした
- ・Q8の回答に問題あり。施設の数でなく、携わるレベルの問題だと思いますが？

- ・ゆぐしぎになって意見を申しのべるのはなんぎなことです。商売についてはまったくの素人ですが、私なりに鶴ヶ池荘について考えてみました。見た目堂々とした施設で立地条件もわるくはないと思います。近くには道の駅や直売所があり、それぞれがんばっているようです。そして廃校になった（山内中校）が同じ地域にあります。この校舎を利用した事業、例えば、いぶりがっこの製造販売や研修を進める（仮名）「いぶりん学校」の創設などできたらいいと思う。山内のいぶりがっこは評判がよく、需要においついていないとききます。それぞれの経営体についてはよくわかりませんが、公営、民営にこだわらず、個々の得意を活かした連携した運営方法など、できたらいいと思う。生活基盤の弱い自治体の元で生き残るのは致命的と思うが、慣例や格式の枠をこえて進めてほしいと思う。山村にただ一つの保養施設として規模を縮小してでも残していけることを希望する
- ・コロナの影響があったにせよ、利用者が15年で半分になっては維持できない。キャンプ、イベント、帰省などと温泉、のように外から利用者を入れない限りは無理だと思った。ただ、地元の人が利用しないイコール魅力がないとも受け止められるので、廃止にして今ある旅館などの温泉にお客さんの流れを作った方がいいのかもしれない。そうでもしないと共倒れの恐れもあるのではないか
- ・県外に出ていったかなりの人から、温泉の休館に対して、残念でしかたない何かかならないものか、と言われていました。本当に残念です。日帰り温泉からでもいいので、そのようなかたちにならないものかと、毎日願っています。その日が来ることを信じています
- ・1年以上も休業していることは残念です。譲渡のことだけが優先して公共施設であることをないがしろにした考えのような気がしてなりません。もっと煮詰めた話し合いにならなかったのでしょうか？
- ・たいへんありがたいと思っております。これからもずっとつづいてくれればと思っています
- ・利益ばかりを優先しすぎて、地域・利用している人たちのことを考えていないと思います。市町村合併してから特にそのように感じています
- ・旧横手市内に市営温泉施設1つを運営するのが良いと思う。民営化した施設、民間の施設もあるので、補助金を足りないところには出して、市営温泉施設を減らすべきだと思う

- ・山内の地域住民は、鶴ヶ池荘が閉館していることをとても残念に思っています。鶴ヶ池公園の美しい景観を守り、山内地域のシンボリックな場所として守ってゆきたいと願っています。宿泊施設は必要ないと思います。規模を縮小して、山内地域住民が気軽に立ち寄れるいこいの場として活用させていただけるよう希望します。山内地域活性化の拠点として利活用の仕方を考えたいと思いますので、開放して下さることをお願いいたします
- ・創立当初から利用させていただき、ホテル仕様にまでになった鶴ヶ池荘は、他地域の人々への私達の自慢でもありましたが、国道沿いにある大きな看板に「休館中」と書かれてあるのを見ると涙が出てきます。温泉からの景色、湯質の効能、使い勝手のいい浴場、全てもったいないの一言。残念でなりません。8つの温泉の中でも利用者数も多かったのに…いつまで休館になるのでしょうか。前を通るたびに市長の顔が浮かびます。今一度、経営となると容易なことではないこと十分承知の上で、東部、西部、南部に1ヶ所ずつでもご検討よろしくご願ひいたします。地域活性化の一役として、山内では公共施設（中学校・スキー場・野球場・陸上競技場等も整備されていない状況）も含め、直営の温泉稼働を強く要望いたします。皆んな待っています
- ・コロナ禍で経営が難しい事はわかります。ただ温泉のもつ役割は大きい気がします。地域のコミュニティでもあり、いやしや健康維持にもつながります。気軽に出かけられる場所、行こうかなと思える場所が近くにある事で行動のきっかけにもなります。温泉の魅力をいかし、また各地の温泉が自由に楽しめる日がくることを願っています
- ・アンケートの目的は何で、回答により良くなるのでしょうか。アンケートを集計することで、復活する温泉はあるのでしょうか。何をきっかけに市は公共温泉施設のあり方を見直すことにし、手放す施設を決定したのか意味が分からず。“市長の都合の良いところのみ残した”というようにしか見えなかった。手放したことで良い結果は得られたのか。ほぼ譲渡でしかもお金をかけ施設を直し、普通に運営を続けていけばかかることのなかった私達の血税を無駄遣いしただけだと思う。高齢化するだけのこの市において、自分たちの近くにある温泉施設はどれだけありがたいか。若い市長、車を運転できる市長、お金のある市長には全く理解できないことだと思う。新しく箱物を建てるより、今あるものを上手に活用し、私たちが安心して生活できるようにしてほしい。山内は捨てられました。十文字、雄物川周辺が良ければいいのでしょうかね
- ・市が民間に譲渡する場合の市の条件がよく分からない

- ・鶴ヶ池荘はなくさないで下さい。再開して下さい。今まで以上に利用させていただきます。ボランティアが必要でしたら協力します!!
- ・幼い頃から側にあり、いものこまつりも含めてにぎわっていた鶴ヶ池荘の”休館中”の看板を見るだけで寂しいです。お年寄りも若者も、いつもあたたかく迎え入れてくれた山内のシンボルが戻ってきてほしい。鶴ヶ池荘と共にまた活気あふれる山内に戻ってくださることを願います
- ・アンケート記入の終わりに、温泉施設に関するデータを拝見しますと、入浴者数の減少と共に市が投入した金額を全面的に出されていますが、逆に、入浴者数の多かった時期 H20 代の市への入湯税、宿泊税、観光やスポーツ立市としての各種スポーツ合宿における団体受入等、市に対する波及効果（経済的）も間違いなく大きかったと思う。その各施設（休館中含む）も全て地域コミュニティの場、また東日本大震災の際には鶴ヶ池荘では自衛隊を含む多くの市民、近隣岩手県の方々への入浴対応もライフラインが止まっていなかった為に入浴客であふれた。まさにあの光景は、横手市民の温かさを示す最大のホスピタリティと感動、感謝を与えた施設である。私も年間パスポートを利用していた鶴ヶ池荘は必ず残してほしい。直売所まで無くなってしまい、あれほどの鶴ヶ池のロケーション、公園もある中で、あの大きな施設が無くなるのは辛すぎる。高橋市長、もう一度あの清流の湯に入りたいです。何卒ご検討お願いします
- ・鶴ヶ池荘は 7 億 6 千万円投入したとしても、一番収入があった施設だったと聞いています。もう一度第三セクターでその時のような収益が得られるか心配ではありますが、再生して欲しいです。早くしなければ建物の老朽化も心配です。働き口が少なければ、子供を育てられません。育てられなければ仕事を探し、ここから出て行かなければなりません。そうすると増々高齢化が進みます。温泉ひとつでも働き口になりますし、町の活性となります。どうか前向きな検討をお願いします
- ・経営のプロに相談するべき

◇… 大 雄 …◇

- ・料金が安くても汚いと行かない。「古い」と「汚い」は違うから。高くても良い所には行く
- ・今思いますと何故こんなに温泉施設がふえたのでしょうか。なのに利用する人が少ない故に色々問題が増え、不足する経費を負担しているのはよくわかります。今のままでずるずるやっけていても赤字は続き、施設は老朽化し経費は増えるばかりなのは目に見えています。このところ温泉に入りたい人は少なくなっているように思います。思い切って半分に減らしましょう。なくてもかまわない人の方が多いと感じますよ。コロナ禍になり人混みに行くのを控えているとも思います。税金を有効に使ってほしいです
- ・経費の一部を負担をしても地域を考慮し一部を経営してほしい
- ・今はコロナ禍でなかなかイベントを開催することも、スポーツ大会をしたりすることもできないですが、イベントがあって時にイベント参加者の宿泊に市の宿泊施設を優先的に紹介するとか。スポーツだと、長期休みの合宿に使用してもらおうとか。古くなり直さなければいけないところもたくさんあると思うのですが、取り壊し費用を修繕費に当てることも出来ると思うので、できれば残してほしいと思います
- ・私は大雄に住んでいます。近くにゆとりおんがありますが、施設の老朽化が激しく、利用客の高齢化に伴い、売上は日に日に下がる一方です。赤字覚悟で経営(市で運営)していることも理解しています。しかし、ゆとりおんを閉めてしまえば、地元(大雄)は何もなくなってしまいます。地元にとって温泉は人が集まってくれる唯一の場所なんです。わりとゆとりおんは、側にコンビニやドラッグストアなど様々な施設があるため、立地には恵まれていると思います。宣伝やPRに工夫を加えれば…集客できるかと。事業を縮小して、温泉一本の経営に切り替えたり、道の駅のように温泉・売店・レストラン(ランチのみ)にして対応するというのは可能でしょうか?(なるべく市の負担が減る形で)誤字脱字が多発して、とても読みづらく書いてしまいました。申し訳ないです
- ・高齢者が多くなり、そのような方は利用もままならず、子供も増えず、多くある施設は不要と思います
- ・公共施設が無くなると人との交流の場が全く無くなると思う

- ・横手市が「温泉はいらない」と言っているようなアンケートだと思いました。高齢化の中にあって”近くの温泉”が一番必要な拠り所ではないでしょうか。高齢者のみならず、このサウナブームにあって、なぜゆとりおん大雄のサウナをPRしないのか。初心者に優しいスチームサウナとドライサウナの2種類があり、宿泊代も安いので合宿や会社の研修など、アフターコロナには多くの需要があります。今はコロナで皆が利用を控えていますし、部活動も試合自体が縮小されています。築年数の古さは仕方ありませんが、玄関の一部をウッド調にするとかエントランスに目新しさを出したり、このネット時代に一つだけでも看板メニューがあれば…と思います。高橋優さんの毎週のラジオでPRしてもらったり、これは無理と言う前に地元の木工所にアイデアをもらうなどの行動をして欲しい。地元の温泉を残すために、残したい人が動かなければ横手市なんてつまらない町になってしまう。ゆとりおん大雄のスタッフさんは本当に親切で評判がいいですよ。応援してます。たくさん行きます
- ・市営施設は必要と思う。ただし、返還施設に対しては、設備等で多額のお金が投入され譲渡されたにもかかわらず、返還された経緯があり、現在も維持費等かかっているのであれば解体すべきである。これ以上市費を使う必要なし。現在運営されている所に補填されるべきだと思う。市営施設は、やはり必要だと思う。憩いの場としても今後公共の施設を利用して、老後温泉に行きたいと思うから。今現在はコロナのため、長期（1ヶ月余）休業を余儀なくされてしまったり、とにかくコロナで客足も滞っているが、近所では毎夜温泉を利用して、この1ヶ月はわざわざ遠くまで行っていました。さくら荘が再開して近場に行けると喜んでいました。庶民の私には、公共施設は必要不可欠です。ぜひ存続をお願いします
- ・温泉の効用は健康長寿に資する一つと考えられるので、施設をなくさないようお願いする
- ・アンケートを記入しておりますが、資料が多くあり分かりやすいですが、A4・1枚表裏での資料まとめが良いのではと感じました。温泉と表現するから問題となる気がします。温泉ではなく、総合施設になれば良いのですが。やはり温泉とりハビリセンターあるいは、デイ施設、それでも先細り感はありますね。企業のリモート勤務地にする案などもありますね。人口流出も防げる対策もあるかと思います。追伸：横手のアンケートが大仙に行くのは納得できません
- ・市の予算によゆうがあれば続けてくれるとありがたいが、無理する必要は無い

・温泉の設備で露天風呂、休憩所など使用できない場合でもいつも同じ料金となっている。使用できない設備がけっこう多く、価格も全て使用できると同じはどうかと思います

"コロナ前は月2～3回ぐらい利用していました。今は行くことはありません。感染対策はしていると思いますが、なかなか勇気が出ません。早く状態がよくなり、今までのように利用できる日が来ることを願っています。ゆとりおんも近くて良いのですが、もう少し職員の接客、衛生面が良くなれば利用していきたいと思います

・各地域局のあるところに温泉があるような感じですけど、そんなにいらんと思います。横手市以外の知り合いを泊めて一番喜んでくれるのはさくら荘です。朝、目覚めて外を見た時の緑のきれいさは格別ということです。その後の散策もとても気持ち良いという事ですので、建て替えしてでもさくら荘は残すべきだと思います。山の田舎の良さを売りにして観光客を呼べば良いと思います

・温泉施設は入浴以外にも住民の集いの場としての利用があり、必要なものだと思います。体育館やグラウンド、野球場や図書館等の市の施設も個々には、すべて市民が利用しているわけではないと思います。温泉施設もこれらの施設と同じく、市のお金を投入しても良いと考えます

・継続を希望しますが、投入した金額を考えるとそうもいかないのが現実です。議会で検討して頂いて、出た結果に従いたいと思います

・自分は農家なので、温泉がなくなるととても不便になると思います

・以前ゆとりおん使用時、デイサービス(?)で温泉を使用していた。ゆっくり温泉に入れたら、すごく良い事だと思う。建物内で体操等できたら、さらに良いのではと思う

・いままで行政が経営してきたのに、赤字になってきたら民間に運営させるとか聞きますが、行政にがんばってもらいたい

・昔、必要として建てられた施設で当時は利用していました。しかし、古くなり利益も上がらなくなったのであれば、市で責任を持って取り壊すところまでやって欲しいです。他の温泉施設より、清掃が悪くてきたないと聞いています

- ・私自身ゆとりおん大雄には一度も行ったことがないが、祖母が行くのを楽しみにしており、今はコロナで行けないので、とても残念がっている様子を見ると、地域に必要な施設なのかなと思う。市の限られた予算の中でやっていくべき事業なのか？と聞かれると、他に子育て世帯への経済的な補助や、コロナで経営が苦しい事業者への補助金の助成など、もっとやってほしい。お金をかけてほしいことがあるため、民営化には賛成です。地域に1つあれば良いのでは？と思います
- ・入浴料金の値上げでやめました。300円～400円くらいで、500円では高いです
- ・ゆとりおん大雄は小学校の頃よく家族で利用していました。仕事を始めて家の場所を聞かれると「ゆとりおんの側？」と目印や話のネタになることも良くありました。単純に残してほしいです。市営でも民営でもこだわりはありませんが。個人的に市が温泉を経営する必要はないようにも思えます
- ・昭和のふるさと創生事業で、各市町村に温泉施設が作られたと思うが、将来の人口減少・合併を予測できなかった行政側の責任は大きいと思います。学校でさえ統廃合になっているのだから、温泉施設も3地域に1つ位で良いと思います。
(働いている方の転職や移動は確保してから)これ以上の税金のムダ使いはやめてもらいたいです。私たち20代は人口も少ないし、年金受給も70才になる可能性が高いので、老後楽しむ公営の温泉など無くても良いです
- ・温泉施設が多すぎると思う。半分くらいにした方が良いのでは…
- ・民間に譲渡した際のやり方がよくなかったと思う。せつかくのいやしの場所が無くなってしまった。本当に残念です
- ・近くにあるのは助かります。しかし、維持管理はとてもお金を必要とする事と思います。半分くらいは減らしても良いかと思います。もったいないけど…
- ・コロナになる少し前からあまり温泉に行けなくなり、残念な気持ちでいました。お店側も行く側も何かプラスになる物があればいいなあと、今回グラフなどを見て思いました。詳しいことは分からずに書きますが、普段から温泉以外の利用法でもいいのかなあと思いました。今は難しいかもしれませんが、何かの会とか、温泉をメインとせず場所として使うことをメインとして使ってみる(?)というのでもいいのかなあと思いました。個人的に、今ある温泉施設の親しみやすい感じはすごく好きなので、気持ちとしてはこれからもずっとあってほしいなあと思っています

- ・赤字経営ならやめてほしい
- ・10年位前にまでは行っていましたが、老人達が風呂の外に寝転がったり、休養所では大声で喋ってずっと居座って休めない。一日いっぱいいる様子。自宅も今どきの立派な風呂なので、自宅の方がいいしそんなものに税金をかけないでほしい。早書、乱筆ですみません
- ・そうじ等、もう少し丁寧にやってくれたらありがたいです。カビ発生している時があります
- ・唯一、近場での憩いの場所でもあり大切な施設なのでなくさないでほしい！！
- ・ゆとりおん大雄を利用させていただいていますが、冬道でも坂道もなく安心して行ける場所だと思います
- ・必要として利用している人もいて残してほしいが、税金で担っていることを考えると、温泉として残すことには疑問もある。黒字経営にする努力と知恵が足りないのではないかと思う
- ・旧市町村単位であってほしい施設だと思います
- ・ゆとりおん大雄は平地にあるから、行きやすく、バス通りに近くて良い。年寄り達や温泉の好きな人達にはいいこの場としてなくてはならない施設だと思う
- ・Q7について、経営の経費の負担について、負担に妥当な金額がどの程度と考えているのかわからない。それによっては多くの施設が経営できず、廃止になると思うが…市の取り組み内容に日帰り廃止とあるが、宿泊施設の方が経費がかさみ赤字額が増える恐れがあると思うが、この考えは適切なのかどうか疑問がある。市の財政を考えても、市の負担を減らす事を考えれば、赤字の多い施設は譲渡も難しいとすれば、そうした所を廃止の方向で考えた方が良いのではないか？
- ・税収が減る中で、赤字を補填するには限界があると思う。一部の利用者の為に施設を残すというのも無理がある。税金を投入するのであれば、市民に平等とは言わなくても、特に温泉施設については利用する人に負担を負わせ、施設を減らした方が良くと思う。市民サービスの低下とは違うと思う

- ・温泉は、健康を保つ為にも必要であり、合併以前から地域に根差した施設です。私達高齢者にとっては、楽しみな唯一のふれあいの場です。どうぞなくさず続けてくれるようお願いいたします
- ・今はコロナで利用する方が少なくなってしまったと思いますが、前は家のおばあちゃんが（日）に必ずゆとりおんを使ってお友達と過ごしていました！！近くにこのような集まれる場所があって、すごくいいと思いました。またおばあちゃん達が集まってお茶しながらお風呂を使って過ごせたらいいと思います
- ・大雄に住んでおります。ゆとりおんの温泉は自分に合っています。疲れがたまってきた時など、よく使わせてもらってます。自分が中学生時代にゆとりおんが出来て、よく通っていました。当時はトレーニングマシンがあり、トレーニング後に温泉に入るのが楽しみの一つでした。ある日、マシンが無くなりとても残念に思い、またトレーニング器具が入ってくればと今も思っております。自分にとってはある意味、1つの居場所でもありますので、今後も使用させていただきます。どうかよろしく申し上げます。※他にお住いの方々も、地元の温泉には特別な気持ちがあると思います
- ・私自身は訳あって、あまり温泉には行けませんが、家族が毎日のように通っているので、無くなってしまうたり大幅に何か変更があると大変困ります。できれば今までどおり使えると助かります。よろしく申し上げます
- ・いつも最初だけで、しりきれとんぼ。もっと頭を使って事業をして。公金だと思って、何をしてもいいと思っているのでは。こんな地域には、若い人は残らないと思う
- ・年金ぐらしでも 1つの楽しみでもあり、体のつかれや満足感は一言では言い表せない位、幸せな気持ちになります。もし、ここがなくなったらどこへ行く？あまり行かないかも。長い付き合いなので、なくさないで下さい
- ・コロナ禍に遭遇した今、色々な行事や会合が中止になり、人が集まる機会が減り温泉へ流れるという風習が薄れ大変だと思います。コロナ禍が治まった暁には、親戚の方々を呼んで温泉を楽しんだり、友達とのふれあいも温泉を通じて楽しみを増えるのではないかと、心待ちにしています。運営していく事が大変ですが、市の力でどうにか頑張ってもらいたいです。福利厚生を重んじて頂きたい反面、若い人たちが納める税金が上がるのも少し考えるところあります

- ・人口減少している所はみな同じ考えを持っているように思う。国では子供達に10万円の支給がありました。良かったと思います。しかしこれは国の話だと思いません。地域の人口減少にはなっていないと思う。70代80代は家のため地域のため頑張ってきたと思います。孫の成長を楽しみにしている年ごろと思っております。私の息子も県外に出ています。コロナ禍で二年以上会うことが出来ずにおりましたが、幸い正月に会うことが出来ました。温泉にも連れて行くことが出来ました。私たちが楽しくしなければ子供達、孫はどう思うでしょうか。温泉は老人だけの事ではなく、若い人達も来れるようサウナの利用をもっとできる場をほしいなと思います。ふるさと納税してくれた方には、無料の入浴券を入れてやってもよいと思います
- ・兼業農家ですが夏は農業、冬は除雪作業後、近くに温泉施設がある事で大変助かっています。データを見るかぎり大変なのは十分わかりますが、旧横手市民は施設等充実しておりますが、各地域の市民はそのような施設を利用する為に、時間を掛けなければならないというのは少々不公平さを感じます。施設の老朽化も進み、維持費等大変かと思いますが、市民が気持ち良く利用出来るよう大幅改修などは望みませんが、コロナ禍休館中に浴室の壁のヨゴレ、サウナ室の背板の傷み等（ゆとりおん大雄を利用する市民として）何かを感じ行動する事がなかったのか、市職員の方々にも利用する市民の事を考えて頂きたいと思います
- ・さくら荘は私たちが若い時代（昭和30年代）から利用していた温泉です。どこの温泉より体が暖まり、疲れた時、心の疲れを取り、冷えた体を芯から暖めてくれ、明日も頑張るぞ！と元気をもらえる温泉です。この歴史ある、そして地元民に愛されている温泉どうか継続願います。このコロナの時代で県外への温泉への泊まりもできず、地元で近くてのんびりゆっくり一泊できるさくら荘は、どれ程支えになった事かわかりません。お陰様で今でも古希をとうに過ぎた私ですが、まだ現役で他の事業所で働かせてもらっています。健康が第一！ それには心身ともに疲れを取り除いてくれる温泉が一番です
- ・人口が減ってきているこの状況下で、半分残すことにアンケートしましたが、Q4の間にあるその他の施設もある中で、共倒れになる可能性が心配かな？
- ・お年寄りのいこいの場のように思います。もちろん若い方々の利用もありますが、地域の交流の場にも値すると思います

- ・ゆとりおん大雄は近くにあるのですが、温泉の利用客が絶えずいる様子が駐車場などからわかり、それについてはすごいと思っています。”以下ゆとりおん大雄について”。周辺の高齢者の社交場の1つとなっているようで、施設はあると心身の健康維持への1つにもつながるように思われる。目の前のスタジアムや公園を見ていると静かで、個人的には好きですが、ここを巨大な複合施設（横手の地場産品やスポーツジム、温泉、公園や子育て施設、室内であそべる、道の駅と健康維持施設のようなもの（あそび場））があってもおもしろいように感じる。譲渡しても経営が立ち行かなくなり、返還となることがくり返されるようではいかなものかと思う
- ・ひとつの案として、地域で必要なものであれば、地域住民の管理運営が地域にもっとも合った管理運営の一つの方法では、今後地域自治会との話し合いも必要と思う。実施に当たっては、基本的に運営費用は自治体で、ただし行政による若干の補助と支援は必要と思う。施設の数も現在の半分位で良いのでは。地域バランスの取れたバランスで、今はもう地域の居場所として定着している施設もある事も十分に考慮して下さい
- ・温泉が少し多すぎると思います。しっかりと経営を見直して、市民にとって最も最適な温泉施設にしてもらいたいので、透明性のあるしっかりとした経営を市でやってもらいたいです。休んでいるうちに施設はどんどん壊れていきます。早く再び再開してもらいたいです

◇… 地域名無回答 …◇

- ・市が経営に携わってくれれば以前のように全ての温泉が再開できるのでは！と思っておりましたが、これまで投入してきた総額を見ると驚かされますね。個人的に鶴ヶ池荘にもう一度!!と思っておりましたが、ボイラーがどうのこうのというのも聞こえていたので、これ以上市で負担＝市民の負担となれば、子の時代になる頃の横手の財政はどんななんだろうと思います。それだったら返還なし！を決めて民間に譲渡した方が良いのかもしれないですね。アンケート後に別紙を見たので、アンケートとは別の意見を記入してすみません。ちなみに、このアンケートを市外の業者に委託するのはいかがなものか？と思います。市内では無理なのですかね？できれば市内にうるおいを!!
- ・雄川荘がんばって経営お願いします。横手市の中で一番いい風呂です
- ・駅前を開発し、大都市・中小都市の模倣をするのも大切ですが、食材の配達（免許返納者のため）や、認知症カフェや災害の避難訓練システムの構築、図書館機能の発展的な役割（図書館学として既に分野が確立してます）。日々の楽しみとなる温泉施設等、膨大巨額な費用かけずともできることがありますよね。東京オリンピック（2020）にむけ、購入した高額な卓球台数台等は、市民の税金でした。その後どうなりましたか
- ・近くにある温泉施設で会合の後の宴会として利用したいと思うが、料金も高めで料理なども他の飲食店よりかなり劣り利用はしていない。（今はコロナで宴会はないが）。従業員も他の民間の施設と違い、接待などでかなり悪い。（これも仕方ないか）
- ・税を利用しての温泉運営は必要ないと思う。利益を上げられるのなら良いが。ただ、中心部（旧横手地区）だけに集中するのは全地域を見た場合好ましくない。横手市内中心部のみに集約するのは良くない。線引は難しいと思いますが、格差が生ずると考えられる。効率を良くすることはいいことと思うが難しい問題です。この事は、温泉運営に限らず、すべてにおいて言えることですが、人口も中心部と利便性の良い立地に集中しています。この事においては、どこの地区においても同じだと思います
- ・人口減。高齢者はデイサービスのおふろ使用。利用者は増える見通しはないと思う。施設も古くなっており、経費が増す。市営で運営することは税金のムダになると思う

- ・私は故郷の温泉の良さに気づき、故郷を離れても温泉施設を利用してきました。その後、故郷に戻ってきてたどり着いた答えは、地元の温泉施設が一番好きだという結論です。郷里を離れて、地元の食や人の良さについて気づくように、温泉の良さに気づきました。私が幼少期から慣れ親しんだ施設は、山内の「鶴ヶ池荘」です。日替わりで変わる施設、露天風呂から見える景色の良さ。最近トレンドにもなっている「サウナ」に目覚めてからは、「鶴ヶ池荘のサウナも良いな」って事に気づきました。今、サウナは熱いですよ。備えている施設もたくさんあります。ここは観光施設にしてみてもいいでしょうか。いつまでも市町村で運営していくのではなく、稼げる施設になってもいいのではないのでしょうか。いや、ならない理由がないのです。もっと、サウナ業界にも目を向けて下さい。サウナを求めている人は老若男女あまたいます
- ・横手市内の温泉施設を早く再開をさせて欲しいです
- ・月に数回程度ですが、市の温泉施設を利用しています。地域の方と話をしたりする時もありますし、それでない時もありますが、温泉施設内で利用者同士コミュニケーションがあるのは事実で、大切なことだと思います。また、来客があった場合の宿泊施設、法事や会食があった場合の施設として必要な存在です。旧横手市内のように民間の施設がない地域にとっては、赤字であるものの公共温泉施設は必要な存在であると思います。赤字だけ残してほしいと要望を言うだけでなく、今後も存続してもらうためにも何か新しい取り組みをすることや、自分自身で利用を継続するなど、地域内外みんなで支えていかなければいけないと思う
- ・子供（10才、9才）を連れて行きました。土曜日 15:00 頃です。毎日来ている年配のグループがあるのか、あからさまに嫌な顔をされました。確かに子供は煩わしいと思うかもしれませんが、ルールを守り入浴しているのを「見たことがない顔」だけでジロジロ見られるのは嫌です。田舎のコミュニティなのかもしれませんが、横手市は子供を育てにくいです。温泉は大好きなのでそーゆー事が無くなれば良いと心から思います
- ・もう1市町村に1つという時代は過ぎたと思う。税金投入のたれ流しの時代は終わったと思う。温泉施設を廃止するか他に転用する決断の時期と思う。私も週1～2回雄川荘を利用しているが、客の中に”田子内”の人がたまに来ると言っていました。昔と違い各家庭に風呂があるのが当然ですが、車社会の中で岩城道の駅の港の湯でも、玉川温泉でも乳頭温泉でも気に入った所に行ける時代です。温泉施設の縮小も時代の流れです。他の住民の要望に予算を振りむける好期と思います

- ・温泉が好きでほぼ1日おきに利用しています。年齢を重ねるにつれ痛いところが一つ2つと増えてみました。しかし。温泉につかると痛みがやわらぐのを感じます。利用する人が少ないから料金を高くするのではなく、若干安くした方が利用する人は増えると思います。私ももう少し安く利用することが出来るのであれば、毎日利用したいと強く思っています。他県の施設もコロナ前には、度々行っておりましたが、料金は高いところもあれば、当県よりも安いところなど、幅広い金額となっています。料金の高い設備の良い所を利用するか、安価のところを毎日利用するか、個々の気持ち次第だとは思いますが、これから益々高齢化が進むなか、近くの温泉がいつまでも利用できるよう強く願っております
- ・地方からお客様がいらした時に、自慢して案内したい。そこで地域の食べ物なんかで喜んでもらいたい。何も無いのはとても寂しい
- ・近くの温泉はなくては困ります。先月もコロナで休館になり、雪下ろし雪投げの後などはすぐ温泉で体をほぐしたいのに、30分以上もかけて他市町村に行く事に！（ガソリンも高いのに!!）。毎日のように行っていたので、休館中は本当に困りました。温泉難民です。温泉施設は温泉だけでなく、産直だったり食堂のメニューにもあるように地元の産業にも貢献していると思います。温泉目的だけでなく、買い物、レジャー、体験、食事など、横手を全国にアピールできるようなアイデアを募って、今ある施設を存続できるようにはならないのでしょうか？ 私は温泉が大好きで県内の温泉はほぼ行っています。泉質はともかく、ゆっふるのりんご風呂、十文字ラーメン大好きです。ゆとりおんはかけ流しで水曜日ランチはお得です。さくら荘のお風呂は熱くて、秋の松たけ料理は最高です。鶴ヶ池荘は明るくて広い浴室や大広間、レストランからの鶴ヶ池の眺めは最高でした。日帰り温泉だけでも復活してもらえませんか？ ゆうらくも同じです。日帰りだけでも！無くなっては困るのです。もっともっと話したい事が沢山あります。毎日会う温泉仲間も同じ思いです。行く所がなくなるのです。市長お願いします
- ・民営化にしていかないと税金のムダ
- ・温泉が多すぎると思います
- ・私は市内で近くもあって「ゆとりおん」に行っています。ですが、一部の常連の客の態度が非常に悪いです。ゆっくりお風呂に入りたいのですが出来ません
- ・地域の公共性を考えると必要と思いますが、市の財政も厳しいと思いますので数を半数にする必要性があると思います

- ・今から 20～30 年前は休日の楽しみといえば温泉めぐりでしたが、近年新型コロナウイルス感染症が発症し、いやその前、合併前から温泉めぐりから別の楽しみ?と変わりました。時代と共に趣味趣向が変わるのは仕方ない事ですが、やはり昔から裸の付き合いというか、語らい、疲れを取り、心身ともにいやす場所はやっぱり温泉施設なので、全部失うことは反対です。温泉ブームの時は、ここほれワンワンと地盤沈下するほどあちこち掘って、温泉ブームが過ぎると閑散として惨め、哀れです。経営、運営する側にも、利用する側にも問題があるように思います。流行に乗ることは悪いことではありませんが、20 年、30 年先を見通した、人々が飽きないで老若男女集える施設を市民に提供してほしいです。老いも若きも今や幼児まで、ゲーム、パソコン、スマホと下ばかり見て、いつつまずくのかハラハラしています。胸を張って前を向き、地に足をつけ、たまには空を見上げて顔を見てお話ししましょう!!
- ・どう経営しようが、コロナが終息しない限り行くことはありません
- ・以前はよく温泉に行っていましたが、コロナをきっかけにほとんど行くことが無くなってしまいました。ただ、温泉はすきなのでどんな形であれ存続してほしいです
- ・わたしはこれまで「さわらび」を利用してきました。皆の集まる所として、小さい団体の集まりにも利用して来ました。知人・親類にも紹介して利用してもらってました。(いい温泉だと言ってくれていました) なくなったことで、知人・親類とも遠くなってしまいました。残念でなりません。知人などは、遠くから年 2 回ほど来て話し合っていました。亡き父はバスでわざわざ町外(増田以外)から、月何回も来ていました。いい湯だから長く付き合った方がいいと…こうなるとは、来る人も一旦辞めると来なくなります。市民の健康(特に年寄りにとっては)のため、いいかと思うが…收支の関係もあるかと思いますが…でも残念でなりません。秋田(地域)を宣伝して来たつもりです
- ・今のコロナ禍で、三密状況になりやすい温泉施設です。このような状況下で、このアンケート調査に疑問を感じます。今市民のみなさんは、コロナ禍の終息を一日も早く願っています。それにガソリン価格など各燃料の高騰や、生活必需品の高騰と横手市の税金の高さに苦しめられています。温泉施設?今は念頭にありません。市役所のみなさんは、公務員で生活は保障されていますが、我々市民はその日暮らしの年金生活者で、大豪雪に見舞われ今春に家の修繕費用に高額のお金がかかります。再び給付金が欲しいとはいいいませんが、温泉施設の有無を考える前に、もう少し市民一人一人の生活を考えてもらいたいです

- ・ふるさと創生資金で、日本のあちこちで温泉開発が実施され、今まで温泉施設が無かったところにも温泉施設が出来たというのが過去の経緯だと思いますが、立地的に周りは田んぼだらけ、温泉成分は極ありきたりで、無理に造った施設は人が欲しないのであれば、淘汰されるべきと考えます。それに比べると「さくら荘」は、少し歴史が長く少し高台にあるため、横手盆地を中心とした南北の平野を見渡せ、スポーツ施設も隣接しているので立地は最高です。「行政による温泉施設の運営は役割を終えつつ…」とありますが、先を急いで譲渡しても、返還されるのが過去の例を見てわかります。究極の選択は「気持ち良いものか」「気持ちよくないものか」で選択すると、温泉は気持ち良いものなので、地元で温泉施設があれば残して欲しいと願うのは当たり前ですが、市は思い切った決断をするしかないと考えます
- ・ほとんど利用する時は有りません。…が、自宅の入浴設備に不具合があった時等は入浴施設がないと困っちゃいます…
- ・鶴ヶ池温泉の復帰を希望します。とても良い源泉があるのに、温泉がなくなるのは残念すぎます。(どの地区でも)
- ・震災の時、お風呂に入れなくて初めて家族全員でゆっふるに行きました。本当に助かりました。その後も、急に冬お風呂こわれて、一週間横手市内の色々な温泉で利用させて頂きました。そんな時は本当に色々な温泉があつて良かったと思いましたが。経営するとなると経費がかかるんですね。残してほしい気持ちの方が大きいですが
- ・増田在住の私ですが、近くにある「ゆっふる」を利用させてもらってます。孫達が遊びに来た時は、毎回連れて行くのがあたりまえのようになっていて、特にりんごが入る時など大喜びです。私と父さんも農作業で疲れた時など、夕方に行き食堂で夜ご飯を食べて来るのが楽しみになっているくらいです。今年の正月過ぎなど、急に自宅の風呂ボイラーがこわれて、「ゆっふる」に3日ほど通いました。ほんとうに地元の温泉「ゆっふる」が大変ありがたいですし、貴重です。いろいろ事情はあると思いますし、大変とは思いますが、ぜひこのまま続けてもらいたいと、心からお願いします
- ・普段はなかなか温泉に行きたいと思っけていても、忙しかったりでなかなか利用することができません。先日お風呂が故障してしまい、しばらく温泉通いました。大変でしたが、やっぱり温泉はいいなとつくづく思いました。長くつづけてほしいと思います

- ・今は若い人の中でサウナが流行っています。横手市にはほとんどサウナ施設がありません。もう少しサウナ施設を作ってくれば、若い人も利用するようになるのではないのでしょうか
- ・民間へ譲渡したとしても、ある程度の援助は必要だと思う。(設備の維持等)
- ・コロナの感染が収まるまでは人出があまりないと思うので、市営にしても経営が難しいと思います。市民の福祉施設としてやってもらったらありがたいと思います
- ・施設をなくすのは簡単だけど、我々年寄りを思い、何かもっと知恵を絞るのが市の思いではないのでしょうか。なくすのは簡単です
- ・特別に住民負担を課しても、地域にある温泉施設を維持してほしい
- ・ぜひ温泉施設を復活させて下さい
- ・宿泊部門など、採算が合わないものはやめる。温泉は施設の清潔さが確保されていれば収益は見込めると思う。是非、鶴ヶ池荘は復活していただきたい。鶴ヶ池の宿泊施設をリニューアルして、トレーニングジムやボルダリングなど、温泉+αの考案も必要。山内名物いぶりがっこ専門店など。ゆとりおんは清潔さに若干難あり
- ・横手市では高齢者の方が多く、子供の生活に必要な施設が不足していると感じます。自然を活かした何か体力等向上させる事が出来ないか常に思います。子供を産んで心が豊かで過ごしやすい横手市であって欲しいものです。学力のみ報道されていますが、進学でみても収入がひくいせいか、偏差値の高い大学への進路にはいたっておりません。子供を育てる環境を整えていただきたいと切に思います
- ・年配の方々の楽しみである温泉施設の存続は大切だとは思いますが、活気の無い施設に税金を多く使うことになればこれも問題。有効にお金が使われて活気ある施設にしていくことは大切だと思います。”温泉”と”運動”と”デイサービス型”一体化を目指す。←シルバー世代は通所があたり前になり、若者も利用できるといいなと思います
- ・私の実家の母が「ゆとりおん大雄」が大好きで、生きがいのような感じなので、なんとか無くさないようにお願いします

- ・今はコロナなので温泉施設には心配で遠慮しています。けれども、コロナが収束したら行ってみたいと思っています。市内にこんなに温泉があるなんて、経営のことを考えると大変だとは思いますが、利用する方としては、近くにあると助かります
- ・よくテレビで風呂（温泉）の番組やってますが、なかなかしっくりくる所がない。個人温泉は昨年閉めてしまい、あまり行かなくなった。娯楽設備がなく、卓球場があるとか、バドミントン場などがあれば大変いい。食べてくるだけでは面白くない。少し色々他の場所も勉強したらと思います。県外の温泉は良く行きます
- ・横手市の業者さんに調査を依頼出来なかったのかと思った
- ・コンパクトシティを目指すうえで、公共温泉施設は全く必要ないと思います。その分の経費を民間の温泉施設の利用促進や、他の民間施設へ何らかの形で振り向ける方が有効だと思います。公共温泉のある地域では特に高齢者にとっては、かけがえのない大切な施設だということは少なからず理解できますが、多くの現役世代はそのように思っていないと思いますし、大して利用するわけでもない。（公共温泉の存続に寄与するほどお金を落としていない）にも関わらず、ただ単に「憩いの場」だとか「地域のつながりの場」だといった古い考えで公共温泉の存続を望む人々が不快にさえ思えます。そういった感情的な部分を排除し、もっとドライに横手市の存続に向けて、一心不乱に行政経営を担って欲しいと思います。がんばってください
- ・鶴ヶ池荘には近くに限らず、遠く県外からまた、大人から赤ちゃん、人の出合いが温泉を通じてあります。温泉へ入って皆で笑顔でお話できます。近くにテニスコートもあって、若い人の声、大人の人たちも利用してます。そのあと温泉へ入ってゆっくりして誰とでも”いい湯っこだったなあ”と話をして皆喜んでいきます。それはわかります。お金はかかる人も少なくなる。市もたいへんなのはわかりますが、ぜひ温泉だけでも続けてもらえれば、なんぼみんな喜ぶことやら。自然に出てきた湯っこありがたいことを忘れては申し訳ないと思う。ちなみに、私は、ばあちゃん（義母）来ました。50年前に来たのですがもう一度あの頃に戻りたい。心も体も。それには鶴ヶ池荘の湯っこです。乱筆乱文すみません
- ・管理能力のある会社（経営者）に委ねれば、収益改善も含め良好な施設として運営可能だと思う
- ・市内に温泉施設があるおかげで、大変ありがたく思っております

- ・市内の公共温泉施設の再編等の問題については、以前からとても関心を持って経過を見守ってきました。というのも、コロナの流行以前は私も地域の温泉施設のいくつかを、子供の頃から頻りに家族で利用させてもらっていたからです。今までどれだけ日々の疲労を癒やしてリフレッシュさせてもらったことか…。また、法要や職場の会合でもよく利用させていただいておりました。コロナの流行が落ち着けばまた、利用させていただきたいという思いはずっとあります。ですが厳しい現状もあるかと思いますので、全ての施設とはいかないかもしれませんが、できるだけ存続させてほしいと願っています
- ・美郷町や由利本荘市はうまくやっていると思う。参考にしてはどうか。初めから廃止ありきで進めないでほしい
- ・新型コロナの影響で、どこの施設も赤字が続く、続いていると思います。しかし、高齢化が進んでいるこの土地では、お年寄りの集いの場としての温泉施設も必要なのではないかと思います。私の小さい頃、祖母やご近所の人達と鶴ヶ池によく温泉に行き、大広間で遊んでいた記憶があります。お年寄りにとっては、ホテルと併用している温泉は敷居が高いというイメージがあるようです。会合などでも鶴ヶ池はよく利用していたという話を聞きます。あと、コロナなので地方から来られる方は今はいないのですが、コロナ以前は高橋優くんの地元という事もあり、わざわざレンタカーを借りて来られる方もいたようです。多少リスクもあると思いますが、地元から高橋優というスターが出ているのですから、横手市と優くんがタイアップして何かできるのではないのでしょうか。横手駅に飾ってある優くんの写真？などをわざわざ見に来てくれて、SNS などにあげてくれている方もいます。コロナなので今すぐとはいかないと思いますが、地元だけで収入を得る考えだけではなく、他方からも来てもらって収入を得るといった考えもあっていいと思います
- ・天下森スキー場、ふれあい農園を改装工事されることを嬉しく思っています。以前 SNS を見た若い女性 2 人が三平そばを食べに来てくれたと聞きました。情報の時代なので、温泉もピーアールの仕方で利用者があるのではと思います。ネット環境を整えればスキー場の利用客も増えると思います。（周囲の利用客でネット環境が悪いので、ジュネスに行くという人が多かったので）コロナ感染拡大で温泉の利用は控えましたが、落ち着いたら利用したいと思っています。宿泊でなくても、食事や温泉だけでもよいのでは。食事がおいしければ利用客（特に女性）が増えると思います。従来の運営の仕方を見直し、今の時代に合った運営を検討して欲しいです。お金がかかるのは分かりますが、市民が交流できる場所を奪わないで欲しいと心から思います

- ・温泉施設 経営していくのは大変だと思います。(人材、経営費…) ボランティアでもいいから何かおてつだいでできないでしょうか? ゆっくりと頭、体、リラックスしたい時にやはり温泉施設は必要なんです。市の方で運営されている温泉施設、ぜひ継続して下さいますようお願い致します
- ・温泉は地域のシンボルであり、無くなれば地域が疲弊してしまうので続けて欲しい
- ・温泉を利用する事がないため、お力にならずすみません
- ・アンケート調査以前に、横手市で民間譲渡する方針ならば、アンケート実施の意味はないと思う。希望としては温泉施設の存続であるが、行政主体であっても民間主体であっても、最後まで市が責任を負うべきだと考える。10年近くもこの議論が交わされてきて民間譲渡できない理由を考えず先送りして丸投げしている感が否めない。現状全施設の運営は厳しいだろうが、休館になっている鶴ヶ池荘やさわらびは存続できないだろうか。市の温泉施設の中でも景観、眺望素晴らしく、喧騒から離れられ小旅行気分を味わうことができる。そしてコロナ禍の時勢、有名温泉のようにいかないまでも、ワーケーション施設としての利用も検討できないだろうか。コロナで往来が無くなってしまった今、関係人口の創出にも繋がる。他市町村や隣県と比較しても、横手には屋内で楽しめるような施設も乏しい。あっても代わり映えしない。温泉施設、宿泊施設があることで、食事を提供する場が設けられれば、その食を目当てに、ひいては横手を目当てに人が集まってくる。地域を活性化できる起爆剤としての役割を大いに担うことになると思う
- ・昔のことではあるが、だれかれとなく「カントリーエレベーター」と言っていたが、それからなぜか時間がたったので、無人精米所がいたるところに乱立し、カントリーエレベーターが現実となると、無人精米所聞かなくなったということです



横手市商工観光部商工労働課

☎ : 0182-32-2115 FAX : 0182-32-4021